

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 Z280Csd	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日
お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お名前	様
お客様	〒
ご住所	TEL ()
販売店	店名・住所
上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やリモコン電池・ディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。



セパレートタイプ
GPS & レーダー探知機

Z280Csd

取扱説明書

12V車専用

ダウンロード対応



このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書はすぐに本機をご使用いただくための基本的な手順と、ご使用状況により機能をカスタマイズしたい場合の手順を分けて記載してあります。

- 本機を初めてご使用する場合は、この部分をお読みください。

4 確認とご注意

ページ

10 基礎知識

ページ

21 すぐに使う

ページ

55 表示について

ページ

75 警報について

ページ

- ity.MAPサービスとオービス・取締り系 & コンテンツデータ更新のご案内です。

49 ity.MAPサービス

ページ

- 機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらをお読みください。

88 カスタマイズして使う

ページ

- 「故障かな?と思ったら」が記載されています。例外的な手順はこちらをお読みください。

136 その他

ページ

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2000-A

確認とご注意

基礎知識

すぐに使う

表示について

警報について

カスタマイズして使う

その他

確認とご注意	
安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
基礎知識	
各部の名称と働き	10
付属品の確認・別売品のご案内	11
1. 付属品	11
2. 別売品	12
3. 付属品・別売品の追加購入について	14
SDカードアダプターの取り外し/装着	15
1. SDカードを本体から取り外す	15
2. SDカードを本体へ装着する	15
本機について	16
1. 測位可能な衛星の種類	16
2. GPSの測位機能について	16
3. 受信可能な電波	17
4. トンネル内の警報・警告について	18
5. 画面の明るさ調整 (フレックスディマー)	18
取締りのミニ知識	19
1. スピード違反の取締り方法	19
2. 取締りレーダー波について	19
3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合	20
4. ステルス型取締りについて	20
すぐに使う	
取り付け(本機)	21
1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで 取り付ける	21
2. 両面テープでダッシュボードに 直接取り付け	24
3. ダッシュボード取り付けステーで取り付け	24
4. 宙吊り取り付けステーで取り付け	25
取り付け(アンテナ)	26
1. アンテナ用取り付けステーで 純正ルームミラーに取り付ける	27
2. 両面テープでダッシュボードに 直接取り付け	28
3. アンテナを本体と接続する	29

取り付け(電源コード)	30
1. 電源直結コードによる配線	30
2. OBDⅡアダプターによる配線	32
メンテナンス(ヒューズの交換)	33
1. 電源直結コードのヒューズを交換する	33
2. OBDⅡアダプターのヒューズを交換する	34
警報システムとの接続	35
1. 衝突警報システム (FCW-L1)使用時の 本機の動作	36
わき見・居眠り運転警報器との接続	37
1. わき見・居眠り運転警報器 (EWS-CM1) 使用時の本機の動作	38
画面反転について	39
1. 画面を反転させる	39
初期値について	40
電源ON/OFF	41
1. 電源ONする	41
2. 電源OFFする	41
音量	42
1. 音量の調整	42
マナーモード	42
1. マナーモードにする	42
地図スケール	43
1. 地図スケールを変更する	43
起動音	44
1. 起動音をOFFする	44
マイキャンセル	45
1. マイキャンセルエリアを登録する	45
2. マイキャンセルエリアを解除する	45
マイエリア	46
1. マイエリアを登録する	46
2. マイエリアを解除する	46
投稿ピン	47
1. 投稿ピンを登録する	47
2. 投稿ピンを削除する	48
ity.MAPサービス	49
1. 今すぐ地図表示サービス (無料)について	49

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・ 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・ 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・ 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ



0120-998-036

ity.クラブやデータ更新に関するお問い合わせ



0120-958-955

本機のアップデート情報や最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

2. 地図閲覧サービス(無料)について	50
3. ログ機能[特許出願中]	50
4. オービス・取締り系&コンテンツデータ更新	53
公開取締り情報	54

表示について

画面表示について	55
1. 待受画面	55
2. 待受画面の変更方法	55
3. 待受画面の説明	56

警報について

警報画面について	75
1. 警報画面	75
2. マップの警報パネル表示について	76

取締りレーダー波を受信すると	77
1. ジングル	77
2. Wアラーム(ダブルアラーム)	77
3. オートクワイアット	77
4. 後方受信	77
5. ミュート機能	78
6. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)	78
7. ステルス波を受信すると	78
8. レーダー波3識別(IDSP)について	79

GPS ターゲットに接近すると	79
1. フルマップレーダースコープ	79

警報ボイスについて	80
1. 左右方位識別ボイス	80

各種無線電波を受信すると	85
1. 無線 14 バンド受信機能	85
2. ベストパートナー 6 識別	87

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法	88
待受	89
1. [警報画面] の説明	89
2. [マップ詳細設定] の説明	90
3. [クラシック詳細設定] 説明	92
4. [潮汐情報] の説明	93
5. [グラフ] の説明	93

6. [オート項目] の説明	94
7. [プリセット] の説明	95
8. [フォトフレーム] の説明	95
9. [ベースカラー] の説明	97

モード	98
1. [モード] の説明	98
2. マニュアルモードでのレーダー設定	101
3. マニュアルモードでの無線設定	102
4. マニュアルモードでの GPS 設定	103

警報	104
-----------	------------

画面・LED	106
---------------	------------

音声	107
-----------	------------

投稿	110
-----------	------------

リマインダー	113
---------------	------------

システム	114
-------------	------------

カスタム	115
-------------	------------

OBD	117
1. [OBD] の説明	117
2. 満タンスタート	119
3. 満タン補正	120
4. 係数補正	121

無線 LAN(WLAN)	122
---------------------	------------

1. [WLAN] の説明	122
2. 接続先設定	125
3. My Yupiteru	126
4. Google カレンダー設定	128
5. 月間記録を Google カレンダーに登録する	131
6. 端末から Google カレンダー設定をする	133
7. ファームを更新する	134

その他

故障かな?と思ったら	136
地図データ	140
仕様	142
アフターサービス	143
1. お客様ご相談センター	143
保証書	裏表紙

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

必ず実行していただく「強制」内容です。

してはいけない「禁止」内容です。

気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.143「アフターサービス」

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



本機を次のような場所に保管しないでください。

変色や変形、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

注意

結露したまま使い続けしないでください。故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。故障の原因となります。

本機は精密機械です。

静電気/電気のノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

警告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。

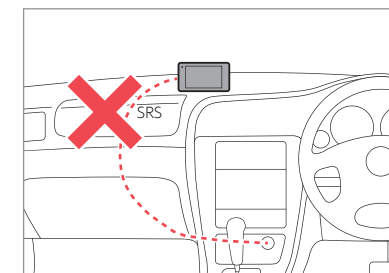
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。

粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



安全上のご注意

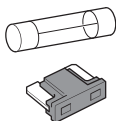
⚠ 注意

- ❗ 取り付けは確実に行ってください。
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。
- ❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 本機は車外に取り付けしないでください。
本機は防水構造ではありません。(防水構造のあるアンテナ部は除く)

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- ❌ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や感電の原因となります。



●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。
このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- ❌ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。
- ❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❌ 運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ❌ ペンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



●その他

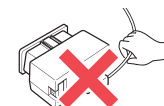
⚠ 注意

- ❗ 車両から離れるときや使用しないときは、電源OFFしてください。
バッテリー上がりの原因となります。

●OBDIIアダプター（別売品）について

⚠ 注意

- ❗ OBDIIアダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。
ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、OBDIIアダプターを抜いてください。
感電の原因となります。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からスピードの出し過ぎに注意し、安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによりダッシュボードおよび車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 表示部に関する注意

- ・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ 電源コードに関する注意

- ・電源直結コードは必ず付属品をご使用ください。
- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

■ 制限速度に関する注意

- ・本機の制限速度は、本機購入時以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、スピードを出し過ぎず交通規則に従い走行してください。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ レーダーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わる場合があります。
- ・狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本機の警報はあらかじめ登録されたオービスや取締エリアなどのGPSターゲットとお客様が登録した位置のみ警報します。

■ GPS測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

■ SDカードに関する注意

- ・付属品のSDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・SDカードの出し入れは、本機を電源OFFした状態で行ってください。
- ・SDカードは一方にしか入りません。無理に押し込むと、本機やSDカードが壊れることがあります。
- ・SDカードに保存した画像データや音楽データなどのデータが消失した場合でも、データなどの保証に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 取り付けに関する注意

- ・GPS衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉によりGPS衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーダー/アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサー/ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・取付位置によっては、本機のフレックスディマーを照度センサ+衛星情報にした場合にフレックスディマーが常時動作することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、フレックスディマーの設定をGPSにしてご使用ください。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 無線14バンド受信機能に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、受信した音声聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・カーロケータシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別は、はたきません。

■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面の時計表示は、GPS非測位中と電源ON直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。
- ・液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ OBDIIアダプター(別売品)で接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッションをOFFにしてから本機を電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機のOBDIIアダプターが抜けている場合があります。その際は再度OBDIIコネクターへ本機のOBDIIアダプターを挿し込んでください。

■ 保証に関する注意

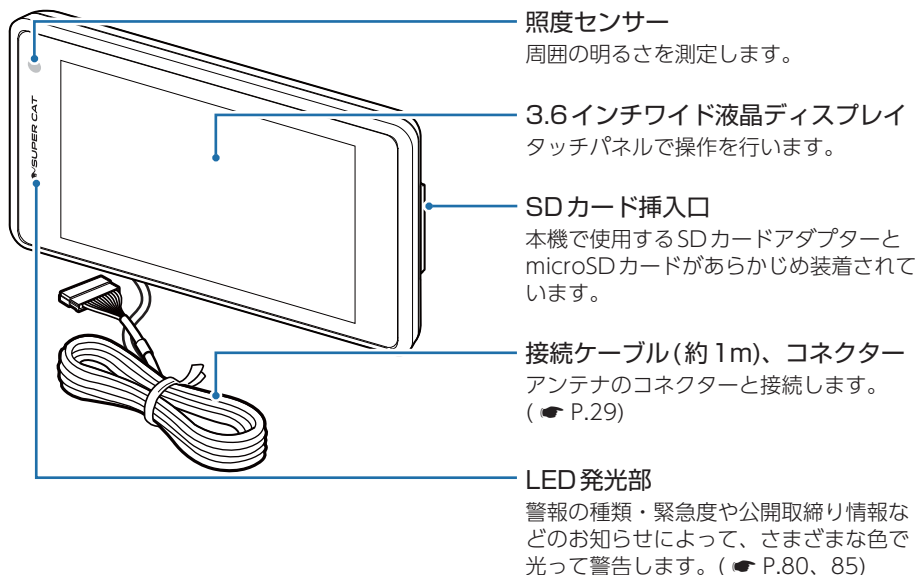
- ・本製品にはお買い上げ日から3年間の保証がついています。(ただし、リモコンや電源コードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

本機は安全運転を促進するためのものです。本機を取り付けての違法行為(スピード違反など)に関し、当社では補償いたしかねます。

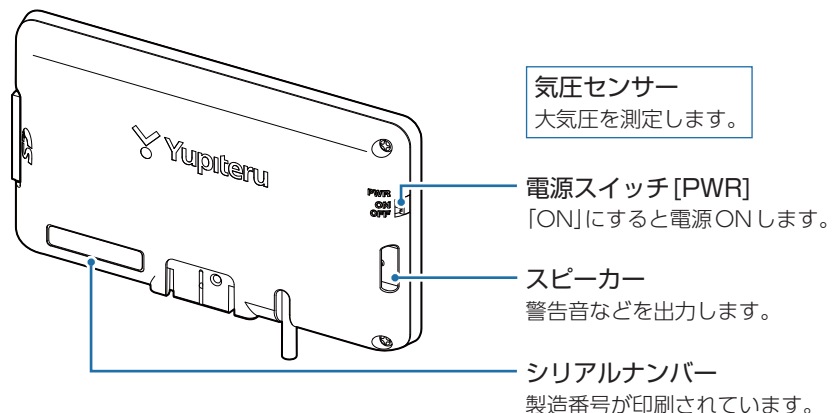
各部の名称と働き

■ 本体

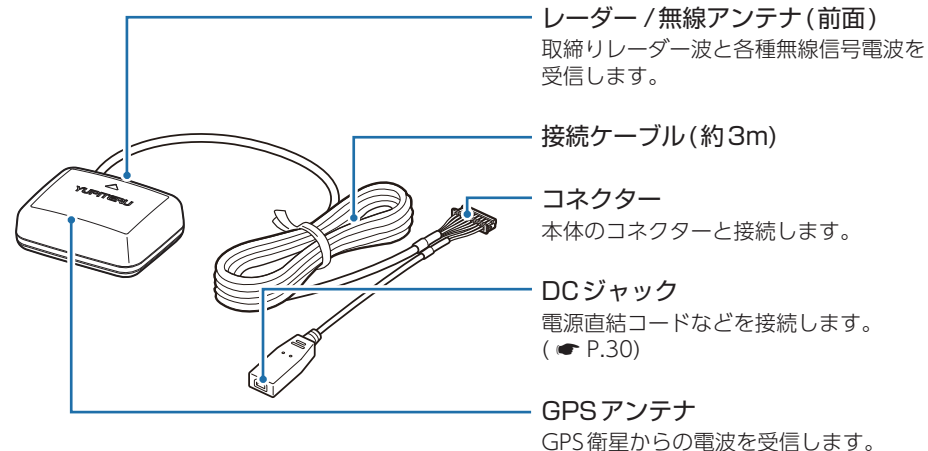
正面



背面



■ アンテナ



⚠ 警告

ⓘ アンテナ部の DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、パソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。

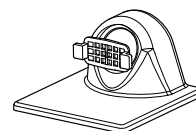
付属品の確認・別売品のご案内

つづく

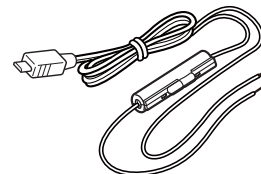
1. 付属品

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

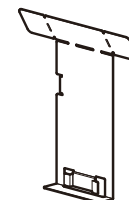
■ ダッシュボード取り付け用
ブラケット 1



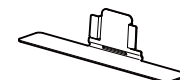
■ 電源直結コード(ストレートミニ
プラグ DC12V 出力) 約 3m 1



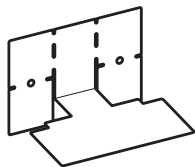
■ 宙吊り取り付けステー 1



■ ダッシュボード取り付けステー 1



■ アンテナ用取り付けステー ……1



■ 粘着シート ……1

■ 粘着マット ……1

■ 各種両面テープ ……3

(本体用：2、アンテナ用：1)

■ SDカードアダプター ……1

(本体にあらかじめ装着されています。)

■ microSD カード

(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 取扱説明書・保証書(本書) ……1

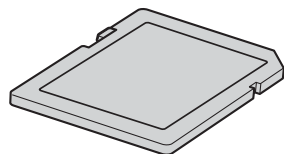
2. 別売品

■ 無線LAN機能付SDカード
OP-WLSD16 本体7,000円+税

無線LAN機能が付いたSDカードです。

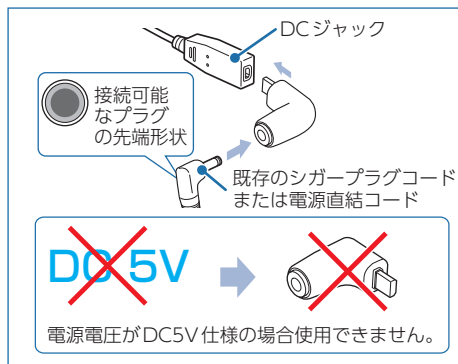
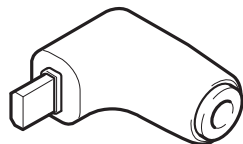
データ自動更新機能が付いており、無料の公開取締情報やオービス・取締り系&コンテンツデータ※、ファームを更新することができます。

※ 更新にはity.クラブへのご入会が必要となります。



■ DCプラグ⇒ミニプラグ変換コネクタ
OP-8U 本体800円+税

弊社レーダー探知機からのお買い換えなどの場合に、既存のシガープラグコードや電源直結コードを継続して使用していただけるように、本機接続側のDCプラグをミニプラグに変換するコネクタです。



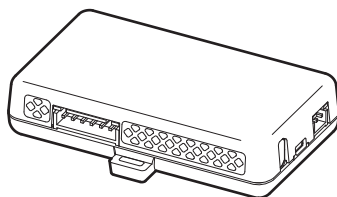
■ オプションアダプター OP-ADP20
本体14,500円+税

シガープラグコード(約1.5m) ……1

両面テープ ……1

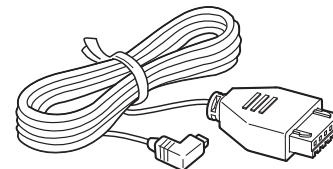
タイラップ ……2

別売品の衝突警報システム(FCW-L1)とわき見・居眠り運転警報器(EWS-CM1)を接続するためのアダプターです。OBDⅡアダプターと同時に使用でき、OBD情報の表示もできます。



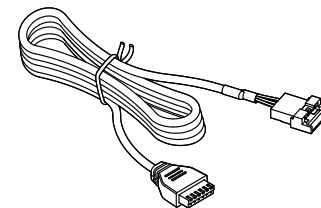
■ 通信ケーブル(約4m) OP-CB12
本体2,000円+税

アンテナとオプションアダプター(OP-ADP20)を接続します。



■ 接続ケーブル(約2m) OP-CB100
本体2,500円+税

わき見・居眠り運転警報器(EWS-CM1)とオプションアダプター(OP-ADP20)を接続します。



■ わき見・居眠り運転警報器
EWS-CM1 本体 オープン価格

取り付け台座 ……1

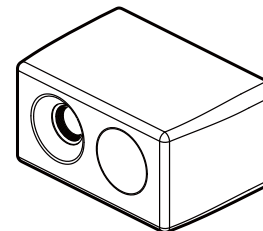
シガープラグコード(約4m) ……1

両面テープ ……2

粘着マット ……1

粘着シート ……1

ハンドルコラムなどに設置した本体(カメラ)で撮影した映像を画像処理し、顔の向き角度とまぶたの開閉を検出します。オプションアダプター(OP-ADP20)で本機(レーダー探知機)と接続すると、本機にて表示します。



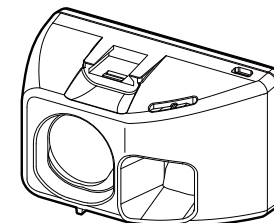
■ 衝突警報システム FCW-L1
本体 オープン価格

ブラケット ……1

シガープラグコード(約4m) ……1

通信ケーブル(約4m) ……1

レーザー光により先行車との距離を測定し、衝突警告やスタートインフォメーションなどをお知らせします。オプションアダプター(OP-ADP20)で本機(レーダー探知機)と接続すると、本機にて警報を表示します。



わき見・居眠り運転警報器接続時に必要なもの

わき見・居眠り運転警報器(EWS-CM1) ……1

オプションアダプター(OP-ADP20) ……1

シガープラグコード(オプションアダプター(OP-ADP20)付属品) ……1

通信ケーブル(OP-CB12) ……1

接続ケーブル(OP-CB100) ……1

衝突警報システム接続時に必要なもの

衝突警報システム(FCW-L1) ……1

オプションアダプター(OP-ADP20) ……1

シガープラグコード(オプションアダプター(OP-ADP20)付属品) ……1

通信ケーブル(OP-CB12) ……1

通信ケーブル(警報システム(FCW-L1)付属品) ……1

別売品のご案内

■ OBDⅡアダプター

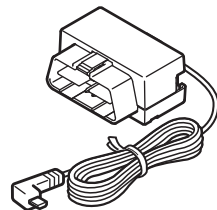
OBD12-MⅢ(約4m) 本体6,000円+税

国産8社に対応(トヨタ(ハイブリッド車含む)日産、ホンダ、三菱、ダイハツ、スバル、マツダ、スズキ)

OBD-HVTM(約4m) 本体8,000円+税

トヨタハイブリッド車専用

・アクティブ機能対応
(車速感応ドアロック、エマージェンシーシグナル)



電源直結コードのかわりに本機への電源供給を行うと同時に、OBDⅡコネクタから車両に関する情報を取り出して画面に表示させたり、より正確な警告を行うことができるようになるアダプターです。

本機は、OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ、OBD-HVTM、OBD12-MのOBDⅡアダプターに対応しています。

本書では、個別の機種名を表記せず、OBDⅡアダプターと表記します。

※ 適応車種については、店頭もしくは弊社ホームページのOBDⅡアダプター適応表にてご確認ください。

※ 適応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもあり、お客様のご判断で取り付けを行ってください。

※ ディーラーに入庫する際は、OBDⅡアダプターを取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。

トンネル内などGPS電波を受信できない場所では…

アダプターなし

GPS電波を受信できない

速度??

アダプターあり

赤色(非受信)

があると…

⚠ 注意

- ・OBDⅡアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDⅡアダプター適応表をご確認ください。
- ・OBDⅡアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDⅡアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

3. 付属品・別売品の追加購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト

<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードアダプターの取り外し/装着

付属品のmicroSDカードには本機を起動させるためのデータ、実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」(P.75)や警報画面(P.75)を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

本書では、特にことわりのない場合、「SDカードアダプター」「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※ 本機と市販品のSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※ 本機は、4GB以上、32GB以下のSDHCカードに対応しています。

⚠ 注意

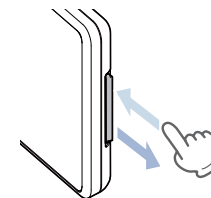
- ・SDカードアダプターの出し入れは、必ず電源OFFの状態で行ってください。
- ・SDカードアダプターは一方にしか入りません。下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体やSDカードアダプターが壊れることがあります。
- ・microSDカードのみを取り出さないでください。
- ・本体に付属品のmicroSDカード、SDカードアダプターが装着されていないと、本機は起動しません。必ず付属品を装着してお使いください。
- ・microSDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- ・microSDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センター(0120-998-036)にご相談ください。

1. SDカードを本体から取り外す

1-1 車両のエンジンをOFFする

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

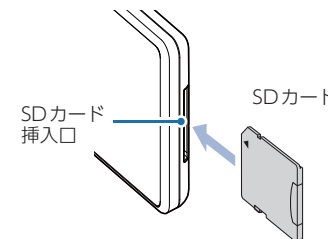


※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

本書では、特にことわりのない場合、「GPS」「みちびき」「グロナス」「ひまわり」「GAGAN」「GALILEO」を総称して「GPS」と表記しています。

1. 測位可能な衛星の種類

本機では、最大70基の衛星を受信することができます。

■ GPS(Global Positioning System)

衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

■ 準天頂衛星「みちびき」

「みちびき」からの信号を受信することにより、GPSのみによる測位に比べ、山間部や都心部の高速ビル街などでも、より正確な測位をします。

■ グロナス(Global Navigation Satellite System)

ロシアの衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ 運輸多目的衛星「ひまわり」

航空管制としての機能と気象観測の2つの機能を持つ静止衛星です。「ひまわり」からの信号を受信することにより、GPSの誤差を補正し、測位精度を向上します。

■ GAGAN(GPS Aided GEO Augmented Navigation)

インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

■ GALILEO(Global Navigation Satellite System)

EU(ヨーロッパ連合)の全地球航法衛星システムです。

2. GPSの測位機能について

GPSを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、54種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS54識別]

■ マップマッチングシステム

GPS・Gセンサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知。全国地図と照合し、ルートのをずれを補正します。

- ※ トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路ならびに国道のトンネルで、はたります。
- ※ 新しい道路などではマップマッチングしない場合もあります。
- ※ 状況によってはマップマッチングがはたらない場合があります。



■ ジャイロセンサー&Gセンサー&気圧センサー&照度センサー

ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します
Gセンサーで、自車の加減速の変化を計測します。
気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。
また、照度センサーで周囲の明るさを計測します。



■ クイック測位対応

前回電源OFFした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。



■ OBDII車速検知(※別売品のOBDIIアダプターで接続)

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。



マップマッチングシステム、気圧センサー&Gセンサー&ジャイロセンサー>、別売品のOBDIIアダプターを接続することによるOBDII車速度検知により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能となります。
次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機を電源OFFしてから6日間以上経過した場合。
- ・最後に本機を電源OFFした時と、次に電源ONした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある(存在する)場所で本機を電源ONした場合。

3. 受信可能な電波

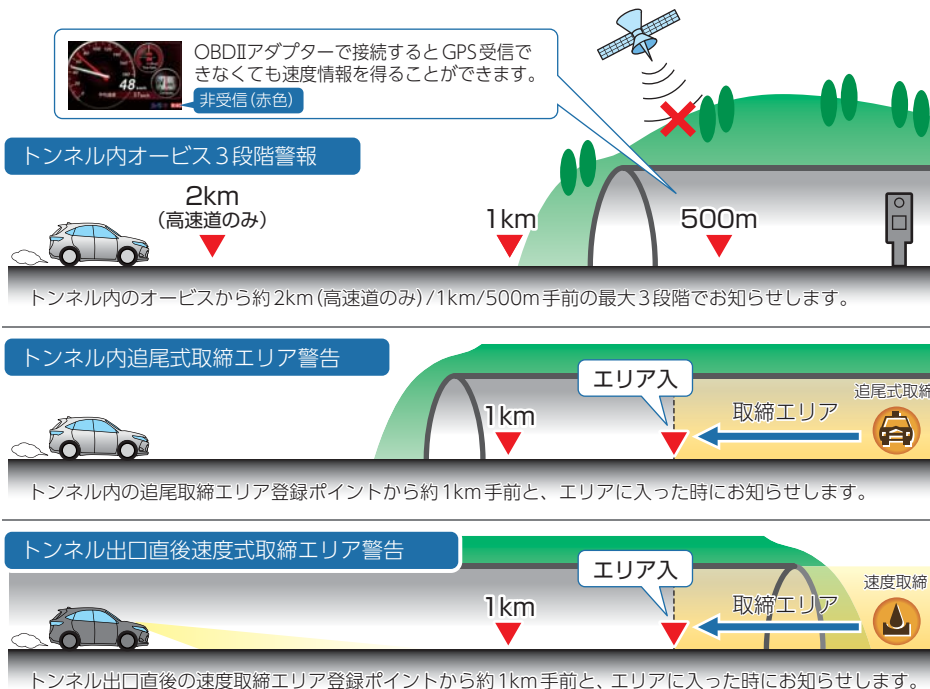
取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{衛星}} + \boxed{\frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}}} + \boxed{\text{無線14バンド}} = \boxed{17 \text{ BAND}}$$

4. トンネル内の警報・警告について

本機は、Gセンサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。さらに別売品のOBDIIアダプターで接続した場合は、OBDII車速検知により高精度な警報を行います。

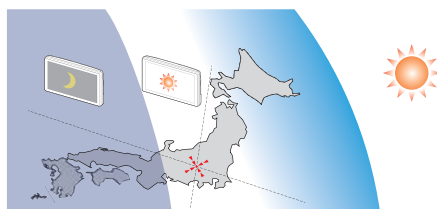
※ 走行状況によっては警報できない場合があります。



5. 画面の明るさ調整 (フレックスディマー)

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。また、照度センサーを搭載しているので、トンネルなどの急激な照度の変化にも対応しています。

また、OBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を接続し、イルミ信号を受信すると、本機の設定がイルミ連動になり、トンネルなどの急激な明るさの変化にも対応できます。



※ 図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさとは異なります。

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

■ レーダー波を使って算出する方法 (レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化 (ドップラー効果) で速度を算出します。



※ 対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

■ 距離と時間で算出する方法 (光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。



※ この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

■ 追走して測定する方法 (追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。



※ 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

2. 取締りレーダー波について

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

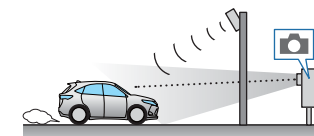
■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



■ 自動速度取締り機 (新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

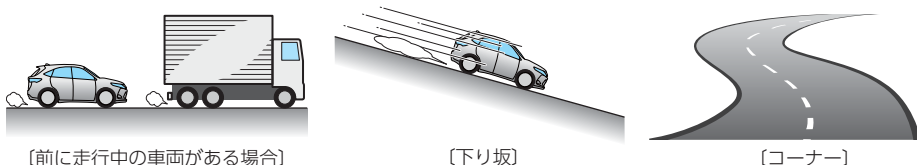
測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- ※ 対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- ※ 前に走行している車両（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



4. ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。



- ※ ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ※ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ※ ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

本機を使用する手順として「本機」「アンテナ」「電源コード」の手順に従って説明します。

まず本機を取り付けます。下記の4通りの取り付け方法があります。

1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける
2. 両面テープでダッシュボードに直接取り付ける
3. ダッシュボード取り付けステーで取り付ける
4. 宙吊り取り付けステーで取り付ける

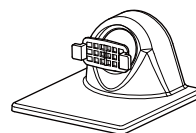
いずれかの方法で取り付けを行ってください。

あらかじめ、ダッシュボードの取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

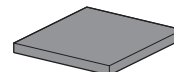
⚠ 注意

- ・貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。
- ・取り付けにより、車内・内装部品に跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ⚠ GPS衛星から電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に貼り付けてください。
- ・本体用両面テープは、宙吊り取り付けステーやダッシュボード取り付けステーと兼用になっています。貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け方法を変更する場合は、同等の両面テープ（市販品）をご用意ください。
- ・水がかかったり、温度差が激しい場所（エアコンの吹き出し口付近など）には、取り付けないでください。
- ・本体あるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったりはさまれないようにしてください。

1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける



ダッシュボード取り付け用ブラケット[特許 第6078725号]
自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。



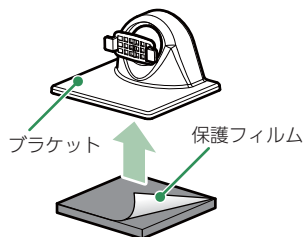
粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

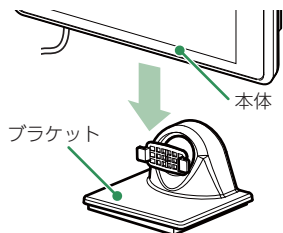
⚠ 注意

- ⚠ ・ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。

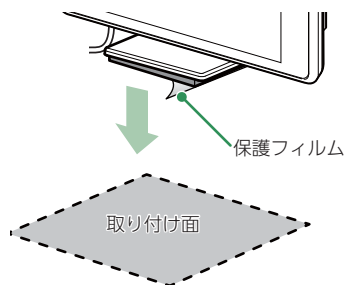
1-1 保護フィルムを片面だけをはがし、粘着マットをブラケットに貼り付ける



1-2 本体の溝をブラケットに合わせ取り付ける

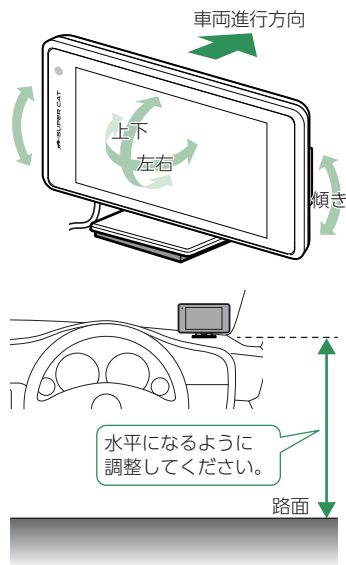


1-3 残りの保護フィルムをはがしダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



粘着マットは水洗いできます
ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

1-4 本体の向きを調整する

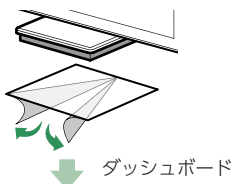


水平になるように調整してください。

Gセンサーやジャイロセンサーが正しく動作するように、本機の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。

粘着シート[特許 第5958927号]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属品の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し取り付けてください。

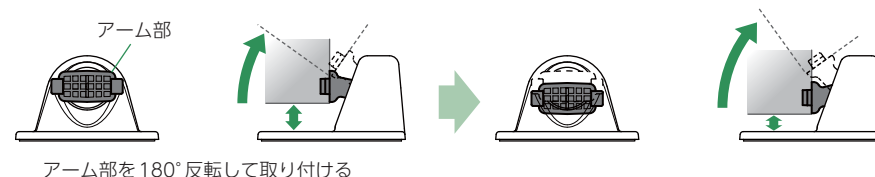


注意

- ・取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に十分気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際は、紛失に注意してください。

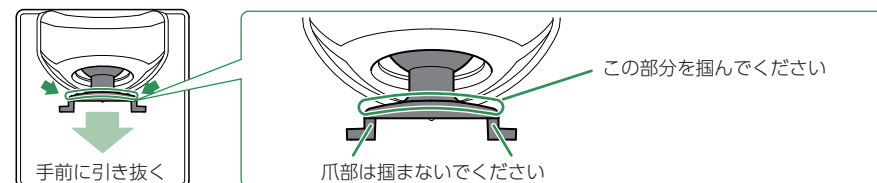
■ ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整

ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180度変えることで、本機の取り付け高さを抑えることができます。
アームの向きを変えると、本機を起こす方向は、より広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の取り付け角度は狭くなります。ダッシュボードの取り付け面の角度に応じて調整してください。



■ アーム部取り外し

アーム部ツバの部分の布などを布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部をつかむと爪が折れる場合があります。
※ 必ず布などのやわらかいもので保護してください。



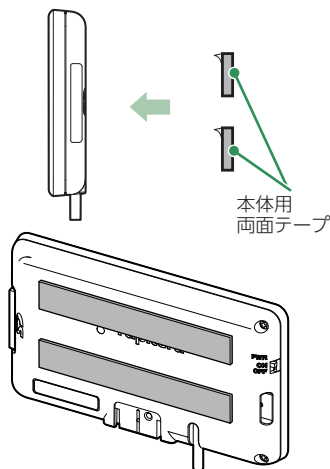
■ アーム部取り付け

アーム部を180°反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、まっすぐに押し込んでください。

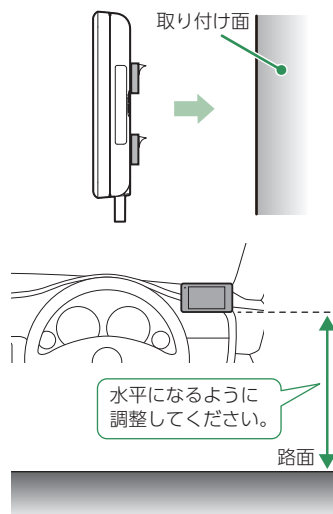


2. 両面テープでダッシュボードに直接取り付ける

2-1 本体用両面テープの保護フィルムを片側だけをはがし、本体の裏面に貼り付ける



2-2 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの取り付け面に貼り付ける

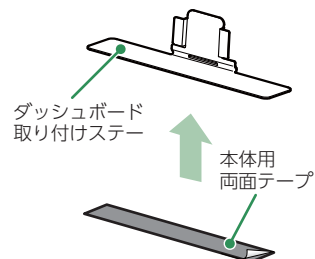


本体の背面を進行方向に向けて水平な路面と並行になるように取り付けてください。

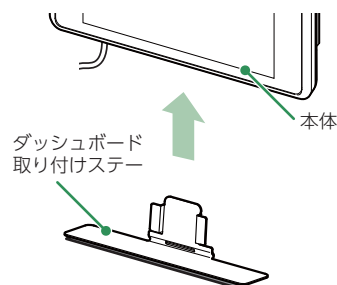
※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

3. ダッシュボード取り付けステーで取り付ける

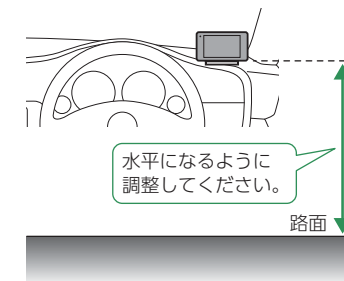
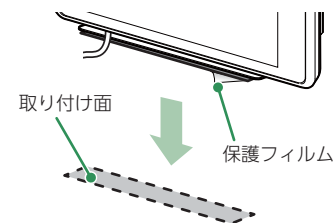
3-1 本体用両面テープの保護フィルムを片側だけをはがし、ステーの底面に貼り付ける



3-2 本体の溝をステーに合わせ取り付ける



3-3 残りの保護フィルムをはがしダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



本体の背面を進行方向に向けて水平な路面と並行になるように取り付けてください。

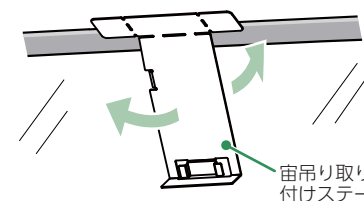
※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

4. 宙吊り取り付けステーで取り付ける

注意

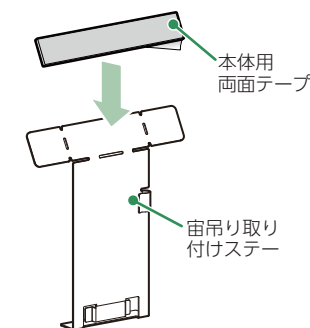
- ・ステアを折り曲げるときは、いったん本体から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- ・黒縁部分からはみ出さないように貼り付けてください。黒縁がない車両の場合は、ダッシュボードなどに本体を取り付けてください。
- ・突起部分などでケガをなさぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- ・折れてしまうことがあるので、ステアは繰り返し折り曲げないでください。

4-1 取り付け場所を確認する



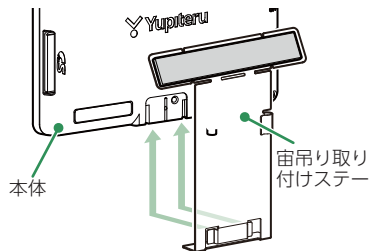
あらかじめ貼り付け場所を決めて見やすい角度になるようにステアを折り曲げ、角度の調整をしてください。

4-2 本体用両面テープの保護フィルムを片側だけをはがし、ステーに貼り付ける

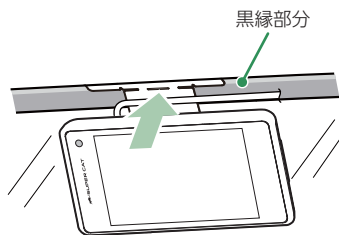


取り付け(本機)

4-3 本体の溝をステーに合わせ 取り付ける



4-4 残りの保護フィルムをはがし ステーをフロントガラスの 黒縁部分に貼り付ける



ステーをフロントガラスの天井の隙間に差し込み、黒縁部分に両面テープを押し当てながら貼り付けてください。

本体の背面を進行方向に向けて水平な路面と並行になるように取り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

取り付け(アンテナ)

下記の2通りの取り付け方法があります。

1. アンテナ用取り付けステーで純正ルームミラーに取り付ける
2. 両面テープでダッシュボードに直接取り付け

いずれかの方法で取り付けを行った後に P.29「3. アンテナを本体と接続する」を行ってください。

あらかじめ、取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

注意

- ・ 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。
- ・ 取り付けにより、車内・内装部品に跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 防水構造ではないため、ルーフなどの車外に設置しないでください。
- ・ 他の機器のアンテナの近くや、金属物のかけにならない場所にアンテナを固定してください。
- ・ 両面テープは貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・ 水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けしないでください。
- ・ 本機あるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったりはさまれないようにしてください。

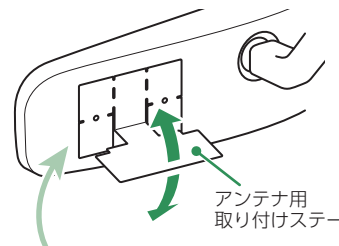
取り付け(アンテナ)

1. アンテナ用取り付けステーで純正ルームミラーに取り付ける

注意

- ・ ステーを折り曲げるときは、いったん本体から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- ・ なるべく凹凸の少ない場所に取り付けてください。接着面が少ないと、脱落の恐れがあります。
- ・ 突起部分などでケガをなさぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- ・ 折れてしまうことがあるので、ステーは繰り返し折り曲げないでください。

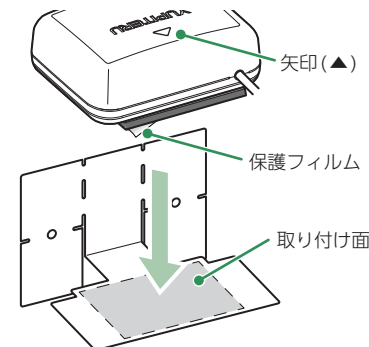
1-1 取り付け場所を確認する



あらかじめ純正ルームミラーの角度と貼り付け場所を決めておき、アンテナができるだけ道路に対して水平になるようステーを折り曲げて、角度の調整をしてください。

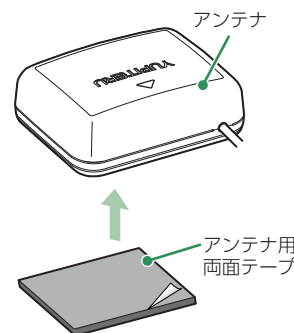
※ ステーの両面テープの保護フィルムは、はがさずに仮であてがってください。

1-3 残りの保護フィルムをはがし ステーに貼り付ける

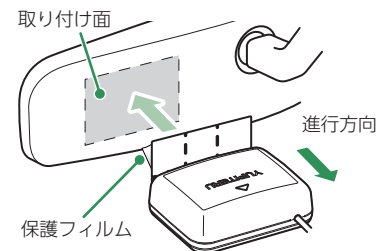


ステーを純正ルームミラーに取り付けた時に、アンテナの矢印(▲)が進行方向(前方)に向くように貼り付けてください。

1-2 アンテナ用両面テープの保護フィルムを片面だけをはがし、アンテナの低面に貼り付ける



1-4 ステーの保護フィルムをはがし、純正ルームミラーに貼り付ける

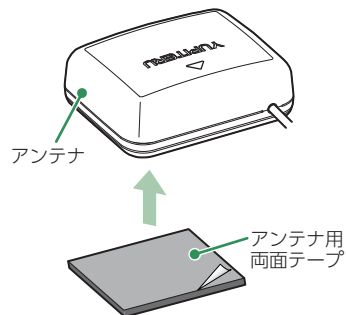


※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

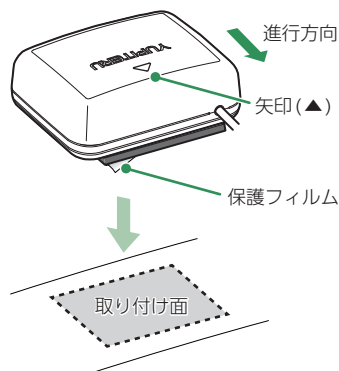
取り付け(アンテナ)

2. 両面テープでダッシュボードに直接取り付ける

2-1 アンテナ用両面テープの保護フィルムを片面だけはがし、アンテナの低面に貼り付ける



2-2 残りの保護フィルムをはがし、取り付け面に貼り付ける



アンテナが道路に対して水平に、また矢印(▲)を進行方向(前方)に向け、GPS電波が受信しやすい場所に取り付けてください。

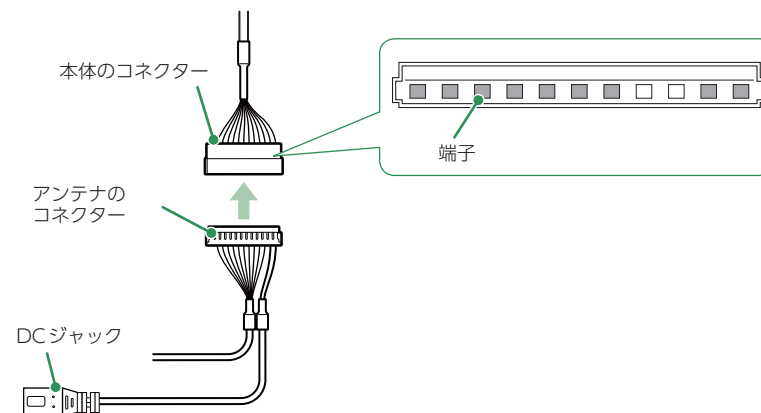
※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

3. アンテナを本体と接続する

⚠ 注意

- ・アンテナ部のDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。
- ! 本体とアンテナ部のコネクターを接続する時は、DCジャックにDCプラグが接続されていない状態で接続してください。DCプラグが接続された状態でコネクターを接続すると、故障や破損の原因となります。

3-1 アンテナ部と本体のコネクターを接続する

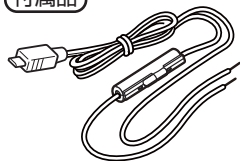


- ※ コネクターには極性があります。コネクター同士の表裏を合わせないと接続できません。
- ※ 極性を間違った状態で無理に接続しようとすると、コネクターが破損することがありますのでご注意ください。
- ※ 接続したコネクターを外す場合は、コネクターをつまんで外してください。ケーブルを持って外すと、ケーブルがコネクターから抜けて破損する場合があります。

3-2 電源コードを接続する(P.30)

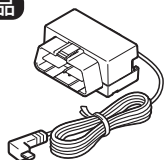
2種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。

付属品



①電源直結コード

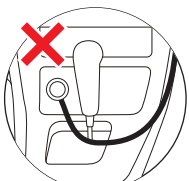
別売品



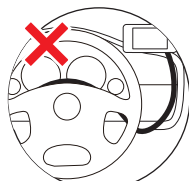
②OBDIIアダプター

■ご注意ください

特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



シフトレバー
操作の邪魔



ハンドル
操作の邪魔

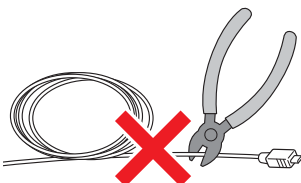


ペダル
操作の邪魔

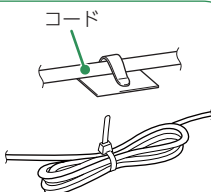


コードの
挟み込み

・コードが長くても、切って短くしないでください。



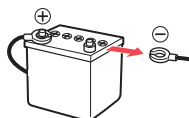
市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



1. 電源直結コードによる配線 (付属品)

⚠ 警告

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



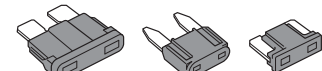
<準備するもの>

市販品



平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード

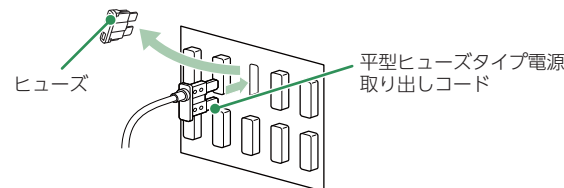
端子金具



ノーマルタイプ ミニタイプ 低背タイプ

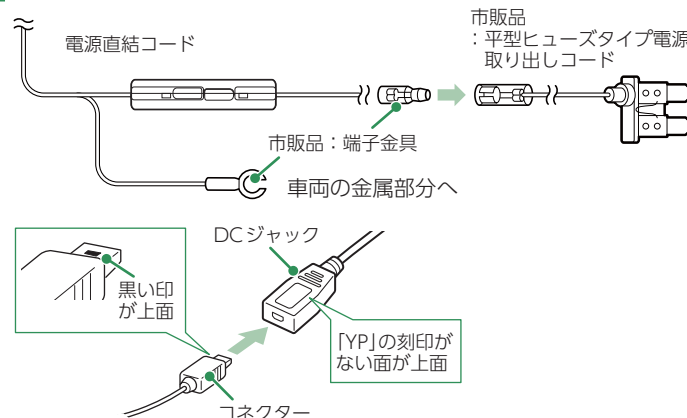
※ ヒューズボックスから電源をとることができる「平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)」を使用します。(ノーマルタイプ、ミニタイプ、低背タイプがありますので、あらかじめヒューズボックス内でサイズと容量をご確認の上、ご用意ください。)

1-1 ヒューズを抜き、市販品の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードを差し込む



ヒューズの交換先は必ず、エンジンキーをACCの位置にした時に電圧が12V、OFFで0Vになるヒューズと交換してください。

1-2 電源直結コードを接続する



電源直結コードをアンテナのDCジャックと市販品の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードに接続します。

- ※ ヒューズの交換先は必ず、エンジンキーをACC位置にした時に電圧が12V、OFFで0Vになるヒューズと交換してください。
- ※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2. OBDIIアダプターによる配線 別売品

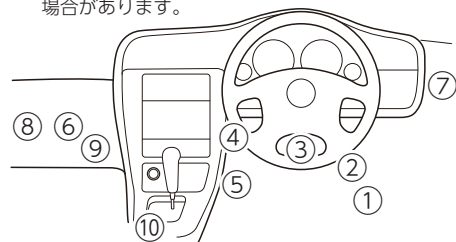
OBDIIアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDIIアダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の適応表をご確認ください。

⚠ 警告

- 故障の原因となりますので、必ずエンジンキーがOFFになっていることを確認してから、配線を行ってください。

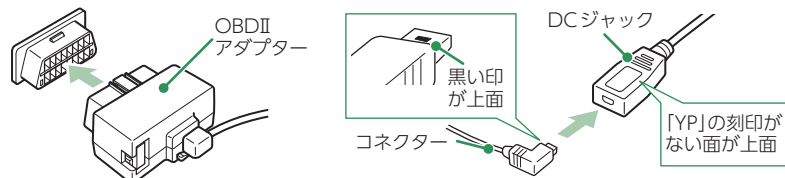
■ OBDIIアダプター設置箇所

※ カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

2-1 OBDIIアダプターを接続する



別売品のOBDIIアダプターをアンテナのDCジャックと車両のOBDIIコネクターに接続してください。

※ OBDIIアダプターのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

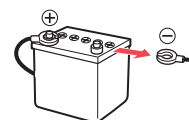
接続状態でエンジンキーをONし、本体の電源スイッチがONの状態でも電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

1. 電源直結コードのヒューズを交換する

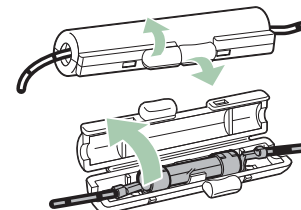
準備するもの: 管ヒューズ 1A(30mm×6.5mm)

⚠ 警告

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



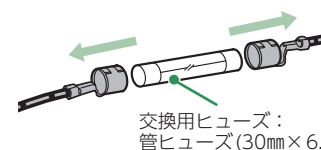
1-1 ヒューズを取り出す



ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出します。

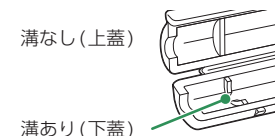
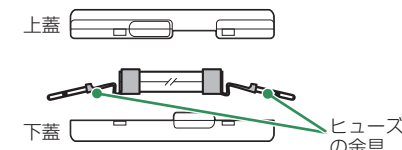
※ ヒューズは白線付き黒コードと一緒に取り外します。

1-2 ヒューズを交換する



白線付き黒コードからヒューズを取り外し交換します。

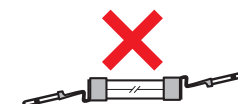
1-3 ヒューズをヒューズホルダーに入れる



下蓋に溝に合わせてはめ込んでください。

※ ヒューズの金具は、上蓋に接触しないように上図の向きにしてください。

ヒューズの金具は、必ず左右同じ方向に向けてください。



※ 上蓋の突起に接触し、破損・故障の原因となります。

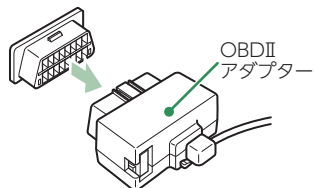
1-4 ヒューズを閉じる

2. OBDIIアダプターのヒューズを交換する

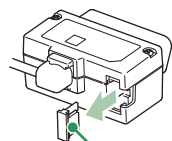
準備するもの：低背ヒューズ 2A

2-1 OBDIIアダプターを車両側OBDIIコネクターから外す

車両側OBDIIコネクター



2-2 新しいヒューズと交換する

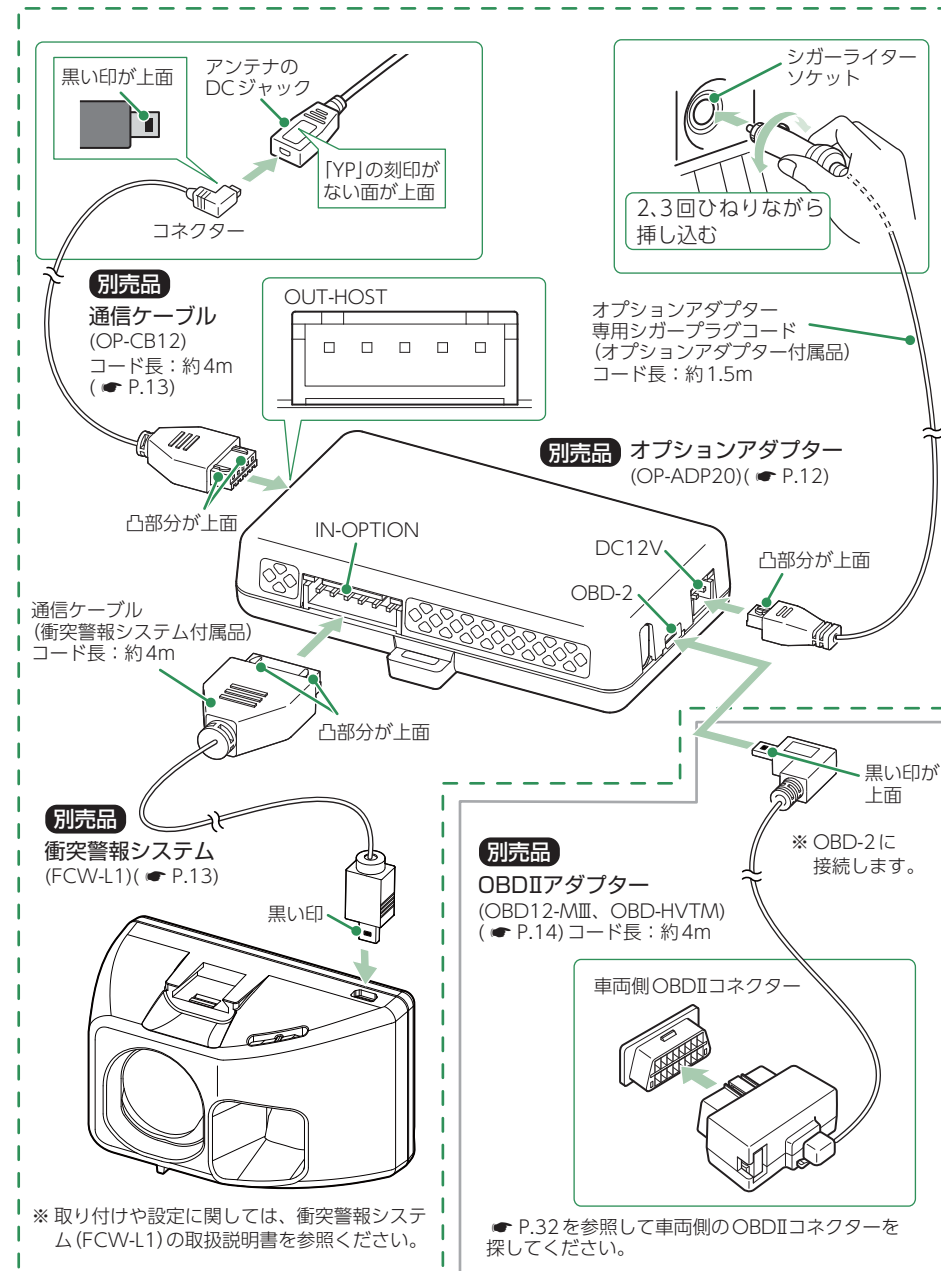


交換用ヒューズ：
低背ヒューズ2A

ペンチなどでヒューズを取り出し、新しいヒューズを差し込んでください。

--- 必ず接続してください。

— 必要に応じて接続してください。(P.36 「接近し過ぎ警告」)



警報システムとの接続

衝突警報システム (FCW-L1) を接続する場合に、オプションアダプター (OP-ADP20) が必要です。オプションアダプターには、OBD 端子があり、OBDⅡアダプターと同時に使用できます。

※ 別売品のわき見・居眠り運転警報器 (EWS-CM1) とは同時に使用できません。

1. 衝突警報システム (FCW-L1) 使用時の本機の動作

衝突警報システムが警告すると、本機で音と表示を5秒間行います。

※ 本機と衝突警報システム (FCW-L1) の両方で警告できます。

※ 本機では衝突警報システム (FCW-L1) の設定を変更することはできません。変更する場合は、衝突警報システム (FCW-L1) で行ってください。詳細は衝突警報システム (FCW-L1) の取扱説明書を参照ください。

※ 設定メニュー内 (P.88) では、警告を行いません。あらかじめご了承ください。

■ 衝突警告



停止している先行車両に接近した場合に、警告します。

■ スタートインフォメーション



先行車両が発進し、自車が止まったままの場合に警告します。

■ 接近し過ぎ警告

※ OBDⅡアダプター併用時のみ警告します。



走行中に先行車両と自車の車間距離が短い場合に警告します。

本機のブザー音	
衝突警告	ピロピロリン (3回)
スタートインフォメーション	ピンポン (3回)
接近し過ぎ警告	ピロピロリン (1回)

※ 警報システム (FCW-L1) のブザー音は衝突警報システム (FCW-L1) の取扱説明書を参照ください。

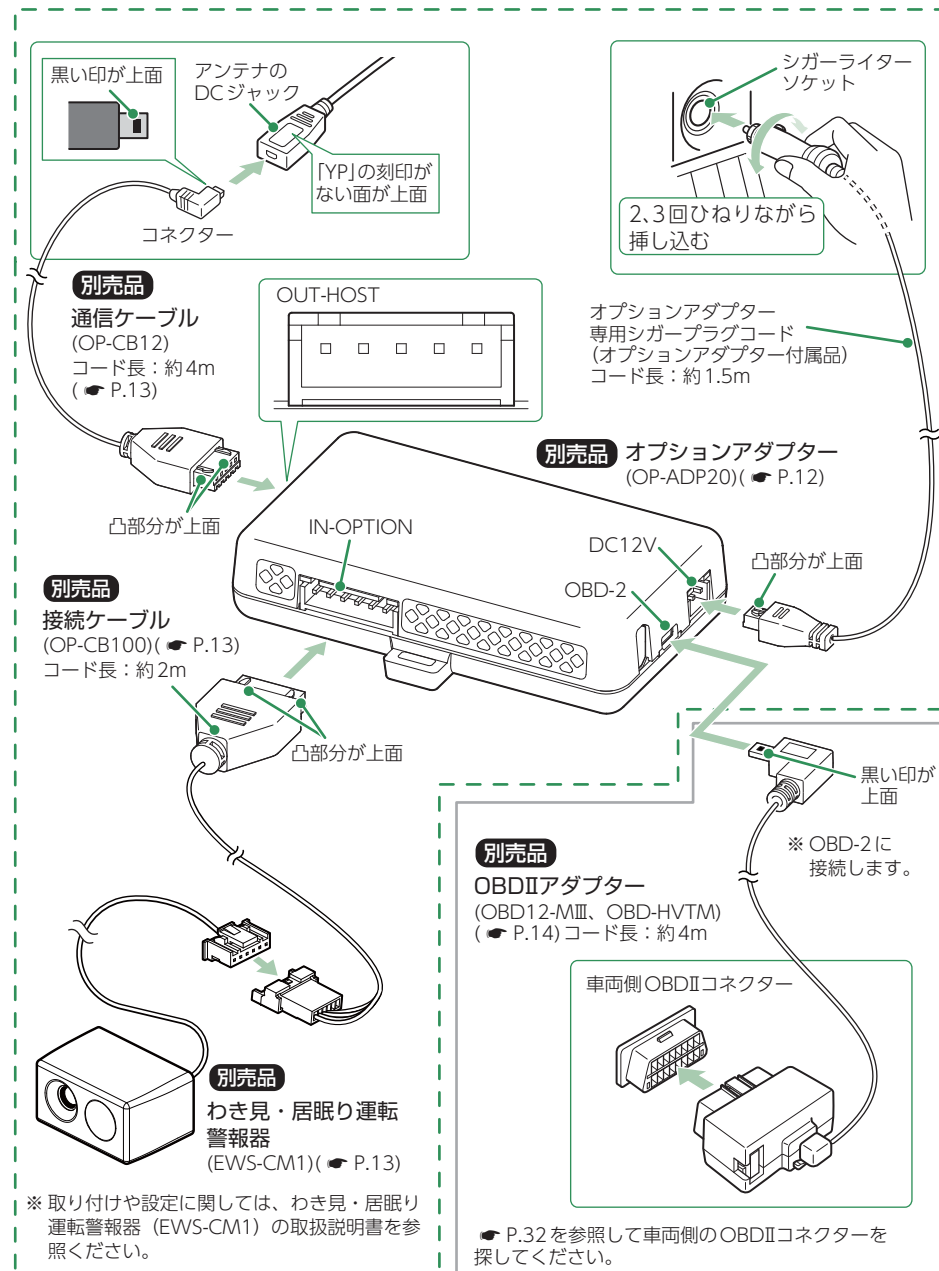
本機および衝突警報システムに付属している電源コードは使用しません。オプションアダプターに付属している、オプションアダプター専用シガープラグコードを使用します。

わき見・居眠り運転警報器との接続

つづく

--- 必ず接続してください。

— 必要に応じて接続してください。



わき見・居眠り運転警報器との接続

わき見・居眠り運転警報器（EWS-CM1）を接続する場合に、オプションアダプター（OP-ADP20）が必要です。オプションアダプターには、OBD端子があり、OBDIIアダプターと同時に使用できます。

※ 別売品の衝突警報システム（FCW-L1）とは同時に使用できません。

1. わき見・居眠り運転警報器（EWS-CM1）使用時の本機の動作

わき見・居眠り運転警報器が警告すると、本機で音と表示を5秒間行います。

※ 本機と接続時は本機のみで警告します。わき見・居眠り運転警報器（EWS-CM1）では警告しません。

※ 設定メニュー内（P.88）では、警告を行いません。あらかじめご了承ください。

■ わき見警告



時速30km/h以上で運転中に約3秒以上わき見をしている場合に、警告します。

※ GPS非測位時は、速度に関係なく警告します。
※ 別売品のOBDIIアダプターで接続している場合、GPS非測位時でも速度情報を得ることができるので、時速30km/h以上で警告します。

■ 居眠り警告(2回目)



1回目の居眠り警告後も両目を閉じている場合に、警告します。

■ 居眠り警告(1回目)



運転中にまぶたを閉じている（両目を約1秒以上閉じている状態）場合に、警告します。

本機のブザー音

わき見警告	ピロン
居眠り警告(1回目)	ピロピロ
居眠り警告(2回目)	ピロピロ (繰り返す)

本機およびわき見・居眠り運転警報器に付属している電源コードは使用しません。オプションアダプターに付属している、オプションアダプター専用シガープラグコードを使用します。

画面反転について

本機には画面を反転させる機能があります。取り付ける場所や使用用途によって切り替えてください。

※ 初期値は、「OFF」（反転しない）です。

1. 画面を反転させる

1-1 待受画面にタッチする



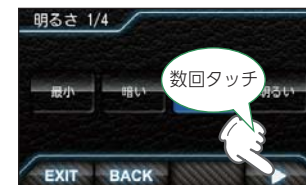
1-2 [設定TOP]にタッチする



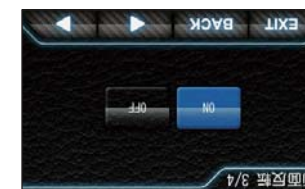
1-3 [画面・LED]にタッチする



1-4 [▶]に数回タッチして「画面反転 3/4」を表示する

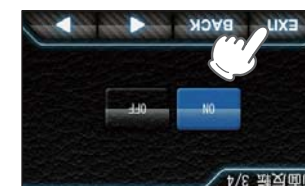


1-5 [ON]にタッチする



画面が反転します。

1-6 [EXIT]にタッチする



待受画面に戻ります。

画面を戻す場合は、手順「1-5」で[OFF]にタッチしてください。

初期値について

本機の初期値は次のようになっています。

設定項目	初期値	説 明	ページ
モード	ノーマル	機能同士のバランスを重視したモードです。	98
待受画面	警報画面 (マップ)	マップが表示されます。	55
マップパネル	1 パネル	画面全体にマップが表示され、警報時には小さな警報パネルによって警報されます。	90
レーダー受信 感度	AAC / ASS	時速 30km 未満では、取締りレーダーに対する警報を行いません。また、時速 30km 以上では、速度が上がるにしたがって段階的に受信感度が上がっていきます。	104
レーダー警報音	メロディ 1	警報の発生時、オリジナルのメロディが流れます。	107
無線警報音	ボイス	各種無線の電波を受信すると、その無線の種類を音声でお知らせします。	107
I キャンセル	ON	誤警報を行うと、同じ地点の 2 回目以降の警報を自動でキャンセルします。	101
道路選択	オート気圧あり	車両が一般道または高速道路どちらを走っているかを判別し、判別された道路の GPS ターゲットに対してのみ警報が行われます。 ※ 一般道と高速道が並行 / 交差している場所およびその周辺では、両方の警報を行うことがあります。また、渋滞等で高速道を低速走行すると、一般道と判別することがあります。	104
リラックス チャイム	2 時間	本機の連続電源 ON で、2 時間おきに『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声流れます。	107
時報	ON	毎時、正時に『午前 (午後) 〇〇時です。』と音声流れます。	107
明るさ	普通	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「普通」になっています。	106
地図スケール	3	地図スケール「1～5」の「3」(中間) で表示します。	43
起動音	ON	本体起動時に起動音が出ます。	107

※ 初期値を変更する場合は、 P.88～134「カスタマイズして使う」を参照ください。

電源 ON/OFF

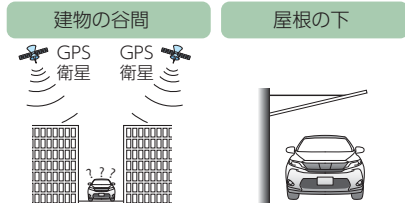
1. 電源 ON する

1-1 車両のエンジンを ON する



エンジンキーを ON にし、本体の電源スイッチを ON にしてください。
必ず『測位しました』のボイスを確認してから走行してください。
※ GPS の測位状況や無線の受信によっては待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。
※ GPS が非測位時は時計が赤くなります。
※ 初めて OBDII アダプターを車両に取り付けた場合、本体の起動に数分かかることがあります。
※ 起動時の音 (起動音)、画面 (起動画面)、測位時の音 (初期測位) は変更できます。(P.115)

■ 次のような場合、電源 ON してから『測位しました』と音声流れるまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。
その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。



2. 電源 OFF する

2-1 車両のエンジンを OFF する

本体の電源も連動して OFF になります。
※ 車種によってはエンジンキーを OFF にしても、電源 OFF にならない場合があります。その場合は、本体の電源スイッチを操作して電源 OFF してください。
※ OBDII アダプターで配線を行った場合、エンジンキーを OFF にしたあと、電源 OFF になるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、ODBI アダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源 OFF しないでください。

音量

1. 音量の調整

1-1 待受画面にタッチする



1-2 音量を調整する



[VOL▲]、[VOL▼]にタッチで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。
※VOL7(最大)からさらに[VOL▲]にタッチすると『ブッ』と鳴ります。

マナーモード

画面表示を消し、音声および画面によるすべての警報を行わないようにすることができます。

1. マナーモードにする

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [VOL▼]にタッチする



VOL0(消音)からさらに[VOL▼]にタッチします。



マナーモードになり、約2秒後に画面表示が消えます。
※解除する場合は、画面にタッチしてください。

地図スケール

1. 地図スケールを変更する

地図スケールを「1～5」の5段階で変更できます。
※初期値は、「3」(中間)です。

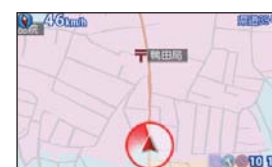
1-1 待受画面にタッチする



1-2 地図スケールを変更する



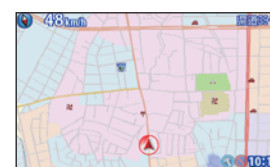
ジャンプウィンドウの[ズームイン](拡大)、[ズームアウト](縮小)にタッチで地図スケールを変更できます。



<「1」(最大)>



<「3」(中間)>



<「5」(最小)>



起動音

本体起動時に音を出すかON/OFFで設定することができます。

※ 初期値は、[ON]です。

1. 起動音をOFFにする

1-1 待受画面にタッチする



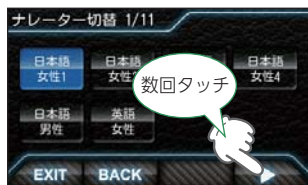
1-2 [設定TOP]にタッチする



1-3 [音声]にタッチする



1-4 [▶]に数回タッチして「起動音 11/11」を表示する



1-5 [OFF]にタッチする



1-6 [EXIT]にタッチする



待受画面に戻ります。

起動音を出す場合は、手順「1-5」で[ON]にタッチしてください。

マイキャンセル

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

※ 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア (● P.46)、アイキャンセル (● P.101)の合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS54識別 (● P.80)や無線14バンド識別 (● P.85)・ベストパートナー 6識別 (● P.87)の警報はキャンセルできません。

1. マイキャンセルエリアを登録する

1-1 登録したい地点で待受画面にタッチする



1-2 [MEMORY]にタッチする



※ MEMORY画面を約5秒間表示します。

1-3 約5秒以内に[キャンセルエリア]にタッチする



< MEMORY画面 >



「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし登録します。

※ GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは登録できません。

・マイキャンセルエリアに進入すると…

登録したマイキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに侵入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

※ キャンセルサウンド (● P.101)の設定がONの場合は、『キャンセル中です』とお知らせします。

2. マイキャンセルエリアを解除する

2-1 マイキャンセルエリア登録された地点で上記手順「1-1 ~ 1-3」を行う



「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

※ GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは解除できません。

マイエリア

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

※登録数は、マイエリア、アイキャンセル(●P.101)、マイキャンセルエリア(●P.45)の合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

1. マイエリアを登録する

1-1 登録したい地点で待受画面にタッチする



1-2 [MEMORY]にタッチする



※ MEMORY画面を約5秒間表示します。

1-3 約5秒以内に[マイエリア]にタッチする



< MEMORY画面 >



「マイエリアをセットしました」とお知らせし登録します。

※ GPSを受信できていない場合、マイエリアは登録できません。

・マイエリアに近づくと…

手前約1km / 500mと通過時の3段階で警告します。

(手前約1km(500m)のとき…)

「右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです」とお知らせします。

※ GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(「1km先」、「500m先」)を「この先」や「300m先／200m先／100m先／すぐ先」とお知らせすることがあります。

2. マイエリアを解除する

2-1 マイエリア登録された地点で上記手順「1-1 ～ 1-3」を行う



「マイエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

※ すべてのマイエリアを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(●P.114)を参照ください。

投稿ピン

つづく

「ここで取締りをやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録。携帯電話で、オービスや取締りの情報をお寄せください。

※登録数は、最大4箇所ピンを登録できます。

1. 投稿ピンを登録する

1-1 登録したい地点で待受画面にタッチする



1-2 [MEMORY]にタッチする



※ MEMORY画面を約5秒間表示します。

1-3 約5秒以内に[ピン設定]にタッチする



< MEMORY画面 >



※ ピンの数は最大4箇所、少ない番号から登録されます。

※ すでに4箇所のピンが登録されている場合は「ピン一杯です」と画面表示されて登録できません。

※ GPSを受信できていない場合、投稿ピンは登録できません。

・方向未確定のとき…

下側項目が「方位未確定です」と表示されて、選択することができません。GPSを測位して一度は走行し方位が確定すると、下側項目が「ピン設定」に変わり選択できるようになります。

2. 投稿ピンを削除する

■ 例としてピン2を消去します。

2-1 待受画面にタッチする



2-2 [設定TOP]にタッチする



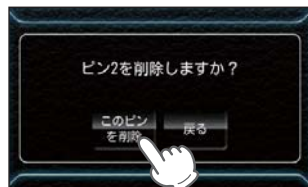
2-3 [投稿]にタッチする



2-4 [ピン2消去]にタッチする



2-5 [このピンを削除]にタッチする



「ピン2を削除しました」と画面でお知らせします。

※ 削除しない場合は[戻る]にタッチします。
※ すべての投稿ピンを解除（消去）したい場合は、「データ消去 3/5」（P.114）を参照ください。

1. 今すぐ地図表示サービス(無料)について

本機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

※ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。

※ バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。

※ 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

- ①「QRコードを表示する」を行い、QRコードを表示させます。
- ②バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。
- ③携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

■ QRコードを表示する

※ 必ず、車両を止めてから操作してください。

※ 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。

※ GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [MEMORY]にタッチする



※ MEMORY画面を約5秒間表示します。

1-3 約5秒以内に[ity.MAP]にタッチする



< MEMORY画面 >



QRコード、緯度、経度を表示します。

※ 画面にタッチで待受画面に戻ります。

※ 表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。

2. 地図閲覧サービス(無料)について

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

- ※ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ※ インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- ※ 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

- ① 携帯電話専用サイトにアクセスする。(http://www.yupiteru-itymap.com/mobile/)
 - ② 緯度(N)・経度(E)を表示させる。
 - ③ 携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。
 - ④ 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。
- ※ PC専用サイトでは緯度(N)・経度(E)は入力することができません。

・ PC専用サイト
http://www.yupiteru-itymap.com/pc/

詳しくは、弊社ホームページ「ity.MAPサービス」
(http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html)をご確認ください。

3. ログ機能[特許出願中]

ログ機能をONに設定すると、走行データ(約18時間分)を本機に記録します。記録したデータは、付属品(本体に装着済み)のSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

➡ P.51「① 走行データを記録する」→ ➡ P.51「② 走行データをコピーする」
→ ➡ P.52「③ 走行軌跡を確認する」の手順で行ってください。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

- ※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
- ※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。
- ※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。
- ※ 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- ※ ログの残量表示は「設定」→「システム」→「ログ機能」の画面下にパーセント表示されます。
- ※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- ※ 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ※ ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- ※ 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(➡ P.114)を行うまで、100%の表示は残ります。
- ※ 走行記録を消去する場合は、データ消去(➡ P.114)を行ってください。

・下記の条件を満たしたインターネットに接続が可能なパソコン

OS : Microsoft Windows 7 (32bit版/64bit版)、Vista (32bit版/64bit版)、XP (32bit版)
※ 64bit版は未対応、2000。

・ご用意いただくもの

- ※ SDカードリーダー(使用中のSDカードに対応のもの)
- ※ GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- ※ 弊社ホームページ(http://www.yupiteru.co.jp)をご覧くださいの上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConverter_setup.exe)をダウンロードしてください。

■ ① 走行データを記録する

3-1 待受画面にタッチする



3-2 [設定TOP]にタッチする



3-3 [システム]にタッチする



3-4 [ON]にタッチし、[EXIT]にタッチする



待受画面に戻ります。

3-5 走行して走行データを記録する

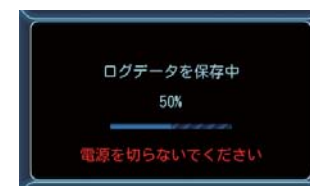
■ ② 走行データをコピーする

3-1 上記手順「3-1 ~ 3-3」を行う

3-2 [▶]にタッチして「SD出力 2/5」を表示する



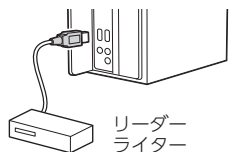
3-3 [ログ]にタッチする



付属品のSDカード(本体に装着済み)に走行データがコピーされます。

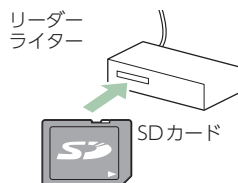
■ ③ 走行軌跡を確認する

3-1 リーダーライターをパソコンに接続する



リーダーライター

3-2 走行データをコピーしたSDカードをリーダーライターに接続する



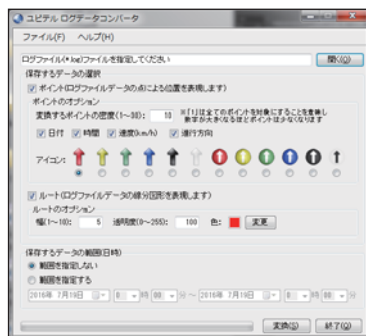
リーダーライター

SDカード

3-3 ユピテル ログデータコンバータを起動する



ユピテル ログデータコンバータ



「開く」ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(※.Log)を選択する。

3-4 保存する



「変換」ボタンをクリックしお好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。

※ アイコンなどの詳細な設定は弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp>) をご覧ください。

3-5 保存したファイルを開く

Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

※ 走行軌跡確認後は、SDカードを本体に装着してご使用ください。(● P.15)

※ 必要に応じて、SDカード内にコピーした走行データ(※.Log)を削除する場合は、他のデータを削除しないようにご注意ください。

4. オービス・取締り系&コンテンツデータ更新

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締り系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページをご覧ください。
<https://ity.yupiteru.co.jp/>

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ/ POWERED BY Yupiteru <https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記のフリーコールにてお願いします。

◆ユピテルity.クラブ窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

0120-958-955

※ 本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

表示について

※「フォトフレーム」、「OFF」では常時表示しません。

速度

大メーターで速度を表示します。赤い針は最高速度を示します。大メーター下に平均速度・最高速度を交互に表示します。メーターの項目は変更できません。

走行速度はGPSの情報に基づき表示しています。別売品のOBDIIアダプターで接続した場合は、OBDII車速情報に基づき表示しています。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。

※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。

※ 補正機能はありません。



- ①速度
車両の速度をアナログ針と数値で表示します。
- ②ヨーレート
車両の旋回方向の角速度を表示します。
- ③コンパス
車両の方位を表示します。

エコドライブ **ジャンプウィンドウ**

GPSの電波を受信して得られる速度データをもとに、「急加速のポイント」、「急減速のポイント」、「アイドリングのポイント」、「経済速度のポイント」の4項目から運転を総合評価します。また、現在の走行速度と、今回の平均速度も表示します。

※ GPS測位できない場合は、各項目の採点は行いません。

※ GPS電波を受信できない場合でも、各項目の採点を行います。

※ 速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。

※ エコドライブのデータ消去を行うと、各ポイントを初期値の70ptにリセットできます。(P.114)

※ いったんリセットすると、元には戻せませんので、ご注意ください。

※ 各ポイントを個別にリセットすることはできません。



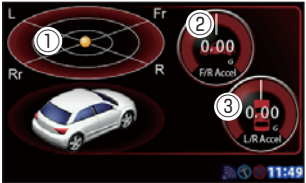
- ①加速・減速バー
- ②総合ポイント
- ③急加速・急減速・経済速度・アイドリング・走行速度・平均速度

急加速	急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
経済速度	時速60km前後での走行と判断するとポイント(pt)が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt) ※ 実際の交通規制に従って走行してください。
総合ポイント	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

加速度

加速度の方向と強さをボールの位置で表します。
Fr：前、Rr：後、R：右、L：左下の車両は、加速に応じて動きます。

※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。



- ①加速度
- ②前後の加速度
- ③左右の加速度

傾斜

大メーターの内側でピッチとロールの状態を表示し、外側のリングでコンパスを表します。

※ 傾斜の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。



- ①コンパス
- ②ロール
- ③傾斜(ピッチ)
- ④速度
- ⑤ヨーレート

潮汐情報 **ジャンプウィンドウ**

検潮地点名、月齢、潮名を表示し、周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。

<潮汐情報について>

待受機能に表示される潮汐情報は、レジャー向けに考えられたもので、航海用途には適しません。



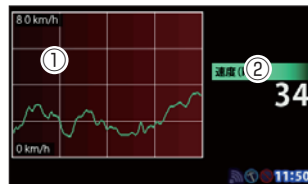
<潮汐推算に関わるデータ提供元>

- ・日本海洋データセンター
- ・気象庁

- ①地点・月齢・潮名
表の地点名および月の満ち欠け。
- ②潮位グラフ
棒グラフの高さで潮位を表し、黄色と青色の切り替わる時が日の出、日の入を示します。上部に日の出(黄文字)、日の入(青文字)時刻を表示します。赤ラインが現在時刻です。
- ③満潮・干潮
満潮・干潮の潮位と時刻を交互に表示します。

グラフ ジャンプウィンドウ

グラフの種類は、「速度」、「高度」、「気圧」、「加速度」、「ジャイロ」および「マニュアル」から選択します。画面にタッチし、種類を選択します。OBDIIアダプターで接続すると最大13種類(マニュアルでは最大21種類)から選択できます。グラフの上下に単位を表示し、複数表示するグラフの場合はラベル色(グラフ色)の単位が表示されます。



- ①グラフ表示エリア(例：速度表示)
数値の変化をグラフ上にリアルタイムに表示します。
- ②速度
車両の速度

プリセットA/B/C/D/E/F ジャンプウィンドウ

プリセットは、それぞれ配置、項目、背景を自由に選択でき、好みの画面を作ることができます。6種類(A/B/C/D/E/F)プリセットし、画面選択で呼び出すことができます。



警報画面	時計	速度	エコドライブ
加速度	傾斜	潮汐情報	グラフ
プリセットA ※配置1	プリセットB ※配置3	プリセットC ※配置4	プリセットD ※配置5
プリセットE ※配置6	プリセットF ※配置7	フォトフレーム	衛星情報
ハイブリッド1 ^{※1}	ハイブリッド2 ^{※1}	AUTO	OFF

※1：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

配置選択

配置は7種類から選択します。

●配置1(大メーター：1、小メーター：2)



※初期値
大メーター
・速度
小メーター
・コンパス
・時計

●配置2(中メーター：3)



※初期値
中メーター
・時計
・速度
・エコドライブ

●配置3(小メーター：6)



※初期値
小メーター
・時計
・速度0-180km/h
・コンパス
・前後加速度
・左右加速度
・ヨーレート

●配置4(小メーター：3、1/8表示：4)



※初期値
小メーター
・気圧
・速度0-180km/h
・エコドライブ
1/8表示
・前後加速度
・左右加速度
・平均速度
・最高速度

●配置5(小メーター：4、1/8表示：4)



※初期値
小メーター
・時計
・コンパス
・速度0-180km/h
・気圧
1/8表示
・前後加速度
・左右加速度
・平均速度
・最高速度

●配置6(1/8表示：8)



※初期値
1/8表示
・速度
・平均速度
・最高速度
・前後加速度
・左右加速度
・ピッチレート
・ロールレート
・ヨーレート

●配置7(1/14表示：14)



※初期値
1/14表示
OBDIIアダプター
を必要としない項目
をすべて表示

■配置選択方法

(例としてプリセットAの「配置1」を「配置2」に変更します。)

3-1 待受画面にタッチする



3-2 [プリセットA配置選択]にタッチする



3-3 [配置2]にタッチする



※選択中の配置は青色になります。

3-4 [EXIT]にタッチする



変更したプリセット画面を表示します。

■ 選択項目

項目選択にタッチすると、それぞれの配置で表示している項目が表示されます。変更したい位置の項目を選択すると、カテゴリ選択になり、現在表示しているカテゴリが青色になっています。表示したいカテゴリを選択すると、項目が表示されるので、表示する項目を選択します。選択できない(表示できない)項目は文字がグレーになり選択できません。

● 配置 1



● 配置 2



● 配置 3



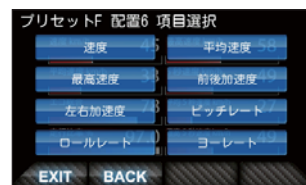
● 配置 4



● 配置 5



● 配置 6



● 配置 7



※ 配置7では、表示したい項目を選択可能な項目から選択します。選択項目は(緑色が点灯)すべて選択、すべて解除も可能です。15項目以上選択時は、スクロールして表示します。それぞれの項目の表示位置は選択できません。

■ 項目選択方法

(例としてプリセットAの配置1の大メーターの項目「速度0-180km/h」を「時計」に変更します。)

3-1 待受画面にタッチする



3-2 [プリセットA項目選択]にタッチする



3-3 [速度0-180]にタッチする



3-4 [時計カレンダー]にタッチする



※ 選択中の配置は青色になります。

3-5 [時計]にタッチする



3-6 [EXIT]にタッチする



変更したプリセット画面を表示します。

大メーター

配置1の左側に表示される大メーターは以下の種類が設定可能です。現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。OBDIIアダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。



大メーター

付加情報

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
時計	1	時計		時刻をアナログで表示します。
カレンダー	2	カレンダー		年月日、曜日表示します。
速度 加速度	3	速度 0-180km/h		速度を表示します。 (メーター最大値が180km/hまたは240km/h) 白針：速度、赤針：最高速度
	4	速度 0-240km/h		付加情報：①平均速度、②最高速度
	5	加速度		加速度待受 (P.59) の左側と同様の表示です。
傾斜・方位	6	傾斜・方位		傾斜待受 (P.59) の左側と同様の表示です。
圧力	7	気圧		現在の気圧を表示します。 付加情報：①最低気圧、②最高気圧
	8	インマニ圧 *1	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(相対圧) 白針：インマニ圧、赤針：最大インマニ圧 付加情報：最大インマニ圧
	9	ブースト圧 *1	要	ブースト圧を表示します。(相対圧) 白針：ブースト圧、赤針：最大ブースト圧 付加情報：最大ブースト圧
燃費・燃料	10	燃費 *2	要	燃費を表示します。 白針：瞬間燃費、赤針：平均燃費 付加情報：①平均燃費、②今回燃費、③生涯燃費
	11	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。 白針：燃料流量、赤針：最大燃料流量 付加情報：①平均燃料流量、②最大燃料流量
温度	12	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。 白針：エンジン水温、赤針：最高エンジン水温 付加情報：最高エンジン水温
	13	吸気温	要	吸気温度を表示します。 白針：吸気温、赤針：最高吸気温 付加情報：最高吸気温
	14	外気温 *3	要	外気温度を表示します。 白針：外気温、赤針：最高外気温 付加情報：最高外気温
	15	エンジン油温 *4	要	エンジンオイルの温度を表示します。 白針：エンジン油温、赤針：最高エンジン油温 付加情報：最高エンジン油温
エンジン	16	スロットル開度 *5	要	スロットルバルブの開度を表示します。 白針：スロットル開度、赤針：最大スロットル開度 付加情報：①平均スロットル開度、②最大スロットル開度
	17	エンジン負荷 *5	要	エンジンにかかる負荷を表示します。 白針：エンジン負荷、赤針：最大エンジン負荷 付加情報：①平均エンジン負荷、②最大エンジン負荷
	18	回転数 0-4000rpm	要	エンジン回転数を表示します。 (メーター最大値が4000rpm、6000rpmまたは8000rpm) 白針：回転数、赤針：最高回転数 付加情報：①平均回転数、②最高回転数
	19	回転数 0-6000rpm		
	20	回転数 0-8000rpm		

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
その他	21	OFF		大メーターを表示しません。
	22	衛星情報		衛星情報待受 (P.73) の左側と同様の表示です。
	23	マップ		現在地の地図を表示します。小メーターが右側に並びます。 ヘディングアップ、ノースアップの切替と地図色、マップデザインは、「マップ」の「マップ詳細設定」に従います。 警報パネル、ミニレーダースコープ、道路名、地名は表示しません。
	24	レーダースコープ		レーダースコープを表示します。小メーターが右側に並びます。 スコープ色は変化しません。道路名、地名は表示しません。
	25	HV *6	要	エンジン・モーター等の出力を表示します。 白針：HVシステムパワー、赤針：モーターパワー (HV FrモーターパワーとHV Rrモーターパワーを合わせた数値)、 黄針：HVエンジンパワー 付加情報：HV全電池量

- ※1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
- ※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
- ※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
- ※4：別売品のOBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。
- ※5：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
- ※6：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。

中メーター

配置2で表示される中メーターは以下の種類が設定可能です。現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。OBDIIアダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。また、OBDIIアダプターが必要な項目は、アダプターを取り付け後に有効になり表示されます。付加情報表示 [ON / OFF] が選択できます。付加情報は停車時、しばらくすると表示されます。



カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
時計	1	時計		時刻をアナログで表示します。 付加情報：日付、曜日
速度 加速度	2	速度		速度をアナログと数値で表示します。 付加情報：①平均速度 [AVESPD]、②最高速度 [MAXSPD]
	3	加速度		前後加速度、左右加速度をアナログと数値で表示します。 付加情報：①最大前進加速度 [MAXFWD]、②最大左右加速度 [MAXLR]
エコドライブ	4	エコドライブ		エコドライブモニターを表示します。ポイントの増減により、数秒間グラフの色が変化し、数字が点滅します。 acc：急加速、dec：急減速、idle：アイドリング、 esp：経済速度
傾斜・方位	5	傾斜		前後左右30°の車両の傾斜を、玉の動きで表示します。 車両の回頭運動を検出しているとき、玉の中に車両が出現します。
	6	コンパス		車両の進行方向を画面上方向として表示します。
圧力	7	気圧		現在の気圧を表示します。
	8	インマニ圧 *1	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(相対圧) 付加情報：最大インマニ圧 (MAXINM)
	9	ブースト圧 *1	要	ブースト圧を表示します。(相対圧) 付加情報：最大ブースト圧 (MAXBST)

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
リマインダー	10	リマインダー残日数		リマインダー通知までの残り日数を表示します。 ※リマインダーの登録が必要です。 項目：オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー
	11	リマインダー残距離	要	リマインダー通知までの残り距離を表示します。 ※リマインダーの登録が必要です。 項目：オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー
燃費・燃料	12	瞬間燃費 ※2	要	瞬間の燃費を表示します。
	13	今回燃費 ※2(注1)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 付加情報：最大今回燃費 [MAXAVE] ※1km走行後より ※電源ONごとにリセットされます。
	14	平均燃費 ※2(注1)	要	燃費の平均値を表示します。
	15	一般道平均燃費 ※2(注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	16	高速道平均燃費 ※2(注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	17	生涯燃費 ※2(注2)	要	オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	18	移動平均燃費 ※2(注1)	要	直近16km区間での燃費を数値で、消費燃料をグラフで表示します。グラフは過去16km区間の消費燃料を表示し、2kmごとに更新されます。 付加情報：最大移動平均燃費 [MAXMOV]
温度	19	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。グラフは消費燃料の量を表し、データ受信ごとに更新されます。 燃料流量0か継続すると「Fuel Cut」の文字が流れます。
	20	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。 付加情報：最高エンジン水温 (MAXENG)
	21	吸気温	要	吸気温度を表示します。 付加情報：最高吸気温 (MAXITK)
	22	外気温 ※3	要	外気温度を表示します。 付加情報：最高外気温 (MAXAMB)
エンジン	23	エンジン油温 ※4	要	エンジンオイルの温度を表示します。 付加情報：最高エンジン油温 (MAXOIL)
	24	スロットル開度 ※5	要	スロットルバルブの開度を表示します。 付加情報：①平均スロットル開度 (AVETHR)、 ②最大スロットル開度 (MAXTHR)
	25	エンジン負荷 ※5	要	エンジンにかかる負荷を表示します。 付加情報：①平均エンジン負荷 (AVELOD)、 ②最大エンジン負荷 (MAXLOD)
その他	26	回転数	要	エンジンの回転数をアナログと数値で表示します。 付加情報：①平均回転数 [AVERPM]、 ②最大回転数 [MAXRPM]
	27	OFF		指定した場所の中メーターを表示しません。
	28	潮汐情報		検潮地点名、月齢、潮名を表示します。 周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	29	衛星情報		衛星の受信状態を表示します。受信レベルにより、色が6色に変わります。進行方向が上方向です。
	30	警報パネル		警報発生時に警報の種類をお知らせします。登録されている場合は、実写警報に切り替わります。ターゲットの方向を周囲のリングで示します。
HV1	31	バッテリー電圧 ※4	要	バッテリーの電圧値を表示します。
	32	バッテリー電流 ※4	要	バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	33	HVシステムパワー ※6	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	34	HVFrモータパワー ※6	要	フロントモーターの出力を表示します。
	35	HVRrモータパワー ※6	要	リヤモーターの出力を表示します。
	36	HVRrトルク配分 ※6	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
HV1	37	HVバッテリー電流 ※6	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	38	HVバッテリー電圧 ※6	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	39	HV補機バッテリー電圧 ※6	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	40	HV補機バッテリー電流 ※7	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
HV2	41	HV全電池容量 ※6	要	バッテリーの充電率を表示します。
	42	HVエンジンパワー ※6	要	エンジンの出力を表示します。
	43	HV昇圧後電圧 ※6	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	44	HVアクセル開度 ※6 ※8	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	45	HVエアコン消費電力 ※6	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	46	HVジェネレータ発電量 ※6	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	47	HV滑空 ※6	要	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。

注1：「OBD設定」→「平均クリア」でリセットされます。
注2：「OBD設定」→「オールクリア」でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。
※1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※4：別売品のOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。
※5：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
※6：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。
※7：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ) を装着時のみ選択できます。
※8：アクセルペダルを踏んでいなくても0%にならない場合があります。

小メーター

例として配置1の右側に表示される小メーターは以下の種類が設定可能です。現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。OBDⅡアダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。また、OBDⅡアダプターが必要な項目は、アダプターを取り付け後に有効になり表示されます。



小メーター表示可能画面



カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度 0-180km/h		速度を表示します。
	2	速度 0-240km/h		(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
エコドライブ	3	エコドライブ		エコドライブポイントを表示します。
加速度	4	前後加速度		前後方向の加速度をグラフと数値で表示します。
	5	左右加速度		左右方向の加速度をグラフと数値で表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
傾斜・方位	6	ピッチ		前後方向の回転を表示します。
	7	ロール		左右方向の回転を表示します。
	8	コンパス(ヨー)		進行方向を表示します。
	9	ピッチレート		ピッチ角速度を表示します。
	10	ロールレート		ロール角速度を表示します。
	11	ヨーレート		ヨー角速度を表示します。
圧力	12	気圧		現在の気圧をグラフと数値で表示します。
	13	インマニ圧 ※1	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。(相対圧)
	14	ブースト圧 ※1	要	ブースト圧を表示します。(相対圧)
燃費・燃料	15	瞬間燃費 ※2	要	瞬間の燃費を表示します。
	16	今回燃費 ※2(注1)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※電源ONごとにリセットされます。
	17	平均燃費 ※2(注1)	要	燃費の平均値を表示します。
	18	一般道平均燃費 ※2(注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	19	高速道平均燃費 ※2(注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	20	生涯燃費 ※2(注2)	要	オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	21	移動平均燃費 ※2(注1)	要	直近16km区間での燃費を表示します。
	22	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
温度	23	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
	24	吸気温	要	吸気温度を表示します。
	25	外気温 ※3	要	外気温度を表示します。
	26	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度を表示します。
エンジン	27	スロットル開度 ※4	要	スロットルバルブの開度を表示します。
	28	エンジン負荷 ※4	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
	29	回転数 0-4000rpm	要	エンジン回転数を表示します。 (メーター最大値が4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
	30	回転数 0-6000rpm	要	
	31	回転数 0-8000rpm	要	
その他	32	OFF		小メーターを表示しません。
	33	時計		時刻をアナログで表示します。
	34	バッテリー電圧 ※5	要	バッテリーの電圧を表示します。
HV1	35	バッテリー電流 ※5	要	バッテリーの電流を表示します。
	36	HVシステムパワー ※6	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	37	HVFrモータパワー ※6	要	フロントモーターの出力を表示します。
HV1	38	HVRrモータパワー ※6	要	リヤモーターの出力を表示します。
	39	HVRr トルク配分 ※6	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	40	HVバッテリー電流 ※6	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	41	HVバッテリー電圧 ※6	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	42	HV 補機バッテリー電圧 ※6	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	43	HV 補機バッテリー電流 ※7	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
	44	HV 全電池容量 ※6	要	バッテリーの充電率を表示します。
	45	HV エンジンパワー ※6	要	エンジンの出力を表示します。
HV2	46	HV昇圧後電圧 ※6	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	47	HV アクセル開度 ※6 ※8	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	48	HV エアコン消費電力 ※6	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	49	HVジェネレータ発電量 ※6	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	50	HV滑空 ※6	要	モーター/エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。

注1：「OBD設定」→「平均クリア」でリセットされます。
注2：「OBD設定」→「オールクリア」でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。
※1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。
数値の補正はできません。
※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
※5：別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
※6：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HV/TM)を装着時のみ選択できます。
※7：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
※8：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。

1/8表示、1/14表示

1/8表示は配置4で上下に4項目、配置5で中央に4項目、および配置6で8項目表示されます。
1/14表示は配置7で14項目表示されます。
OBDⅡアダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。
また、OBDⅡアダプターが必要な項目は、アダプターを取り付け後に有効になり表示されます。



カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度		速度を表示します。
	2	平均速度		今回の速度の平均値を表示します。
	3	一般道平均速度	要	今回の一般道の速度の平均値を表示します。
	4	高速道平均速度	要	今回の高速道の速度の平均値を表示します。
	5	最高速度		今回の速度の最高値を表示します。
	6	5秒速度	要	発車から5秒後の速度を表示します。
	7	平均5秒速度	要	発車から5秒後の速度の平均値を表示します。
	8	最高5秒速度	要	発車から5秒後の速度の最高値を表示します。
走行時間 1	9	走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。
	10	1-20km/h 走行時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
	11	20-40km/h 走行時間	要	
	12	40-60km/h 走行時間	要	
	13	60-80km/h 走行時間	要	
	14	80-100km/h 走行時間	要	
	15	100km/h 以上走行時間	要	
	16	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。
	17	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。
	18	1000m ラップ	要	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	19	5000m ラップ	要	
	20	10000m ラップ	要	

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
走行時間 2	21	0-400m 時間	要	発車から各走行距離にかかった時間を表示します。
	22	0-1000m 時間	要	
	23	0-400m 平均時間	要	
	24	0-1000m 平均時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の平均時間を表示します。
	25	0-400m 最短時間	要	
	26	0-1000m 最短時間	要	
走行比率	27	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
	28	1-20km/h 走行比率	要	
	29	20-40km/h 走行比率	要	
	30	40-60km/h 走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	31	60-80km/h 走行比率	要	
	32	80-100km/h 走行比率	要	
	33	100km/h 以上走行比率	要	
	34	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	35	今回エンジン走行比率	要	
	36	生涯エンジン走行比率	要	
エコ ドライブ 1	37	エコドライブ総合		エコドライブ画面の総合ポイントを表示します。
	38	エコドライブ加速		エコドライブ画面の急加速ポイントを表示します。
	39	エコドライブ減速		エコドライブ画面の急減速ポイントを表示します。
	40	エコドライブ経済速度		エコドライブ画面の経済速度ポイントを表示します。
	41	エコドライブアイドリング		エコドライブ画面のアイドリングポイントを表示します。
	42	アイドリング停止時間 * ¹	要	今回アイドリングストップした時間の累積値を表示します。
	43	最小アイドル停止時間 * ¹	要	アイドリングストップした時間の最小値を表示します。
	44	最大アイドル停止時間 * ¹	要	アイドリングストップした時間の最大値を表示します。
	45	アイドリング時間	要	車速0でエンジンが掛かっていた時間を表示します。
	46	エンジン始動回数	要	今回エンジンを始動した回数を表示します。
エコ ドライブ 2	47	アイドリング停止回数 * ¹	要	今回アイドリングストップした回数を表示します。
	48	0-10秒停止回数 * ¹	要	アイドリングストップ時間が各範囲の回数を表示します。
	49	10-20秒停止回数 * ¹	要	
	50	20-30秒停止回数 * ¹	要	
	51	30秒以上停止回数 * ¹	要	アイドリングストップ時間が各範囲の比率を表示します。
	52	0-10秒停止比率 * ¹	要	
	53	10-20秒停止比率 * ¹	要	
	54	20-30秒停止比率 * ¹	要	
	55	30秒以上停止比率 * ¹	要	
加速度	56	前後加速度		前後方向の加速度を表示します。
	57	左右加速度		左右方向の加速度を表示します。
	58	最大加速度		加速度の最大値を表示します。
	59	最大減速度		減速度の最大値を表示します。
	60	最大左右加速度		左右加速度の最大値を表示します。
加速時間 1	61	0-20km/h 加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
	62	0-40km/h 加速時間	要	
	63	0-60km/h 加速時間	要	
	64	0-80km/h 加速時間	要	
	65	0-100km/h 加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
	66	0-20km/h 平均加速	要	
	67	0-40km/h 平均加速	要	
	68	0-60km/h 平均加速	要	
	69	0-80km/h 平均加速	要	
	70	0-100km/h 平均加速	要	

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
加速時間 2	71	0-20km/h 最短加速	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
	72	0-40km/h 最短加速	要	
	73	0-60km/h 最短加速	要	
	74	0-80km/h 最短加速	要	
	75	0-100km/h 最短加速	要	
傾斜・ 方位	76	ピッチ		前後方向の回転を表示します。
	77	ロール		左右方向の回転を表示します。
	78	方位		北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。
	79	ピッチレート		ピッチ角速度を表示します。
	80	ロールレート		ロール角速度を表示します。
	81	ヨーレート		ヨー角速度を表示します。
	82	最大ピッチレート		ピッチ角速度の最大値を表示します。
	83	最大ロールレート		ロール角速度の最大値を表示します。
圧力	84	最大ヨーレート		ヨー角速度の最大値を表示します。
	85	気圧		現在の気圧を表示します。
	86	絶対インマニ圧	要	インマニ圧の相対値を表示します。
	87	最大絶対インマニ圧	要	インマニ圧の相対値の最大値を表示します。
	88	絶対インマニ圧	要	インマニ圧の絶対値を表示します。
	89	最大絶対インマニ圧	要	インマニ圧の絶対値の最大値を表示します。
	90	ブースト圧	要	ブースト圧の相対値を表示します。
リマイン ダー	91	最大ブースト圧	要	ブースト圧の最大値を表示します。
	92	オイル残日数		オイル設定した期間の残日数を表示します。
	93	オイルエレメント残日数		オイルエレメント設定した期間の残日数を表示します。
	94	タイヤ残日数		タイヤ設定した期間の残日数を表示します。
	95	バッテリー残日数		バッテリー設定した期間の残日数を表示します。
	96	オイル残距離	要	オイル設定した距離の残距離を表示します。
	97	オイルエレメント残距離	要	オイルエレメント設定した距離の残距離を表示します。
	98	タイヤ残距離	要	タイヤ設定した距離の残距離を表示します。
	99	バッテリー残距離	要	バッテリー設定した距離の残距離を表示します。
燃費	100	瞬間燃費 * ²	要	瞬間の燃費を表示します。
	101	今回燃費 * ² (注1)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※電源ONごとにリセットされます。
	102	最大今回燃費(注1)	要	今回走行時の燃費の最大値を表示します。
	103	平均燃費 * ² (注1)	要	燃費の平均値を表示します。
	104	一般道平均燃費 * ² (注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	105	高速道平均燃費 * ² (注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	106	生涯燃費 * ² (注2)	要	オールリセットするまでの燃費の平均値を表示します。
	107	移動平均燃費 * ² (注1)	要	直近16km区間での燃費を表示します。
燃料	108	最大移動平均燃費	要	16km区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
	109	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
	110	平均燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。
	111	最大燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。
	112	残燃料	要	残りの燃料を表示します。
	113	燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)を表示します。
	114	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料を表示します。
	115	消費燃料(注1)	要	消費燃料を表示します。
	116	生涯消費燃料(注2)	要	オールリセットするまでの消費燃料を表示します。
距離	117	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離を表示します。
	118	走行距離(注1)	要	走行距離を表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
距離	119	生涯走行距離(注2)	要	オールリセットするまでの走行距離を表示します。
	120	今回エンジン走行距離	要	エンジンで走行した距離を表示します。
	121	生涯エンジン走行距離	要	オールリセットするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
温度	122	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
	123	最高エンジン水温	要	エンジン水温の最高値を表示します。
	124	吸気温	要	吸気温度を表示します。
	125	最高吸気温	要	吸気温の最高値を表示します。
	126	外気温 ※3	要	外気温度を表示します。
	127	最高外気温	要	外気温の最高値を表示します。
	128	エンジン油温 ※4	要	エンジンオイルの温度を表示します。
	129	最高エンジン油温 ※4	要	エンジン油温の最高値を表示します。
エンジン	130	スロットル開度 ※5	要	スロットルバルブの開度を表示します。
	131	平均スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
	132	最大スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。
	133	エンジン負荷 ※5	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
	134	平均エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。
	135	最大エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。
	136	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	137	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
	138	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	139	回転数	要	エンジンの回転数を表示します。
	140	平均回転数	要	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
	141	最高回転数	要	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
衛星	142	全衛星受信数		現在の全衛星受信数を表示します。
	143	GPS 受信数		現在のGPS 受信数を表示します。
	144	GLONASS 受信数		現在のGLONASS 受信数を表示します。
	145	QZSS 受信数		現在のQZSS 受信数を表示します。
	146	SBAS 受信数		現在のSBAS 受信数を表示します。
	147	GALILEO 受信数		現在のGALILEO 受信数を表示します。
その他	148	OFF(1/8表示のみ)		メーターを表示しません。
	149	カレンダー		カレンダーを表示します。
	150	高度		現在地の高度を表示します。
	151	バッテリー電圧 ※4	要	バッテリーの電圧を表示します。
	152	バッテリー電流 ※4	要	バッテリーの電流を表示します。
HV1	153	HV システムパワー ※6	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	154	HVFr モーターパワー ※6	要	フロントモーターの出力を表示します。
	155	HVRr モーターパワー ※6	要	リヤモーターの出力を表示します。
	156	HVRr トルク配分 ※6	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	157	HV バッテリー電圧 ※6	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	158	HV バッテリー電流 ※6	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	159	HV 補機バッテリー電圧 ※6	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	160	HV 補機バッテリー電流 ※7	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
	161	HV 全電池容量 ※6	要	バッテリーの充電率を表示します。
	162	HV エンジンパワー ※6	要	エンジンの出力を表示します。
	163	HV 昇圧後電圧 ※6	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
HV2	164	HV アクセル開度 ※6 ※8	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	165	HV エアコン消費電力 ※6	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	166	HV ジェネレータ発電量 ※6	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	167	HV 滑空 ※6	要	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。

- 注1：「OBD設定」→「平均クリア」でリセットされます。
- 注2：「OBD設定」→「オールクリア」でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。
- ※1：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ項目名が切り替わります。
- 42：今回アイドリングストップ時間→今回エンジンストップ時間
43：最小アイドリングストップ時間→最小エンジンストップ時間
44：最大アイドリングストップ時間→最大エンジンストップ時間
47：今回アイドリングストップ回数→今回エンジンストップ回数
48：0-10秒アイドルストップ回数→0-10秒エンジンストップ回数
49：10-20秒アイドルストップ回数→10-20秒エンジンストップ回数
50：20-30秒アイドルストップ回数→20-30秒エンジンストップ回数
51：30秒以上アイドルストップ回数→30秒以上エンジンストップ回数
52：0-10秒アイドルストップ比率→0-10秒エンジンストップ比率
53：10-20秒アイドルストップ比率→10-20秒エンジンストップ比率
54：20-30秒アイドルストップ比率→20-30秒エンジンストップ比率
55：30秒以上アイドルストップ比率→30秒以上エンジンストップ比率

今回アイドリングストップ時間 2:20

今回エンジンストップ時間 5:51
- ※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
- ※3：車両によっては、センサーの位置により車外気温と異なる場合があります。
- ※4：別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
- ※5：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
- ※6：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
- ※7：ハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
- ※8：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。

フォトフレーム

表示するデータは、本体にあらかじめ装着されているSDカードの所定のフォルダにパソコンなどで保存する必要があります。(P.95)



フォトフレーム画像
写真の切替時間、切替時の表示方法、写真の表示範囲、特殊効果の設定ができます。

衛星情報

画面左に、進行方向を上とした衛星位置、番号を表示します。

緑色：みちびき、ひまわり、GAGAN
橙色：グロナス
紫色：GALILEO
青色：GPS

画面右には、仰角の高い順に、6基の衛星情報を表示します。



衛星位置・方位
衛星の仰角と方位角を位置として表示します。外周に方位を示します。

衛星種類・受信レベル
電波を受信している衛星の種類と受信電波のレベルを表示します。

画面表示について

ハイブリッド1

ハイブリッド情報を表示します。

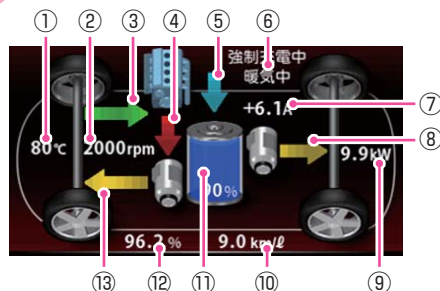
走行中はタイヤが回転します。また、エンジンやモーターが振動する場合があります。エンジンの色は状態により変化します。

白色：停止

緑色：アイドリング

赤色：駆動

水色：エンジンブレーキ



①エンジン水温

②回転数

③緑色(→)：エンジンブレーキ

黄色(←)：エンジン駆動

④赤色(↓)ジェネレータ発電

⑤青色(↓)：HVバッテリー充電

黄色(↑)：HVバッテリー放電

⑥強制充電中、暖気中の表示

⑦HVバッテリー電流

⑧*1 緑色(←)：リアモーター回生

黄色(→)：リアモーター駆動

⑨HV エアコン消費電力

⑩瞬間燃費

⑪バッテリー残量

⑫今回エンジン走行比率

⑬緑色(→)：フロントモーター回生

黄色(←)：フロントモーター駆動

※1：リアモーターが無い場合は表示しません。

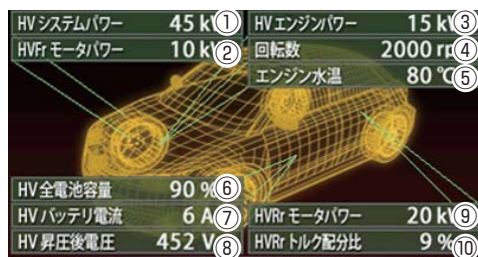
■ バッテリー残量

青色のレベルでバッテリー残量を表示します。

状態	80～100%	60～79%	40～59%	20～39%	0～19%
アイコン					

ハイブリッド2

ハイブリッド情報を表示します。



①HV システムパワー

②HV Fr モーターパワー

③HV エンジンパワー

④回転数

⑤エンジン水温

⑥HV 全電池容量

⑦HV バッテリー電流

⑧HV 昇圧後電圧

⑨*1 HV Rr モーターパワー

⑩*1 HV Rr トルク配分比

※1：リアモーターが無い場合は表示しません。

一定時間毎に背景が回転します。



警報画面について

つづく

1. 警報画面

取締レーダー波を感知したり、注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットから1km（高速道では2km）に近づく、[待受⇄警報画面切替 2/3] (P.89) で設定した場合は待受画面から「フルマップレーダースコープ」や「実写警報 (REAL PHOTO リアルフォト)」が表示される警報画面 (マップ・クラシック・シンプル) に切り替わります。



GPSターゲットが登録されていない場合は、警報画面に表示されません。

警報画面 警告ムービー 4色識別アラーム

レベル高



レベル低

- 赤** ループコイルなど「嚴重注意」ターゲットを赤色の背景で警告。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。
- 黄** 取締エリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。
- 青** 連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青色の背景で告知。
- 緑** ETCレーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせ。

実写警報 [REAL PHOTO (リアルフォト)]

オービス実写例



- 高速道路のみ約2km手前でも表示されます。(制限速度を超えている場合のみ)
- 実写内にオービスの一を矢印で表示します。
- 実写データが登録されていないポイントでは、実写は表示されません。

取締エリア実写例



- 実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。
- 一時停止取締エリアでエリア内でのみ表示します。

2. マップの警報パネル表示について

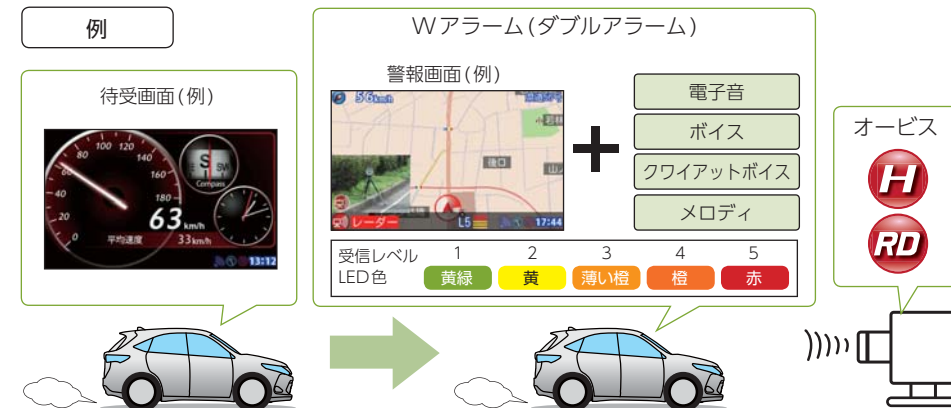
警報パネルは数秒表示したのち、登録されている地点では実写警報に切り替わります。

※ 警報画面(マップ)での警報時に表示される警報パネルの表示を切り替えることができます。(P.90)

※ 実写警報はON/OFFの設定ができます。(P.104)

パネルなし	1 パネル(初期値)	2 パネル
 マップのみで、警報パネルを表示しません。	 画面に小さな警報パネルが表示されます。	 画面の左右に小さな警報パネルが表示されます。警報距離内にある最大2件の警報を行います。miniレーダー上のアイコンと警報パネルは線でつながっていて、自車との位置関係がわかるようになっています。

取締りレーダー波を受信した場合、「待受⇄警報画面切換 2/3」で接近切替(1000/500m) (P.89) のときは警報・告知を行う警報画面に切り替わります。



1. ジングル

本機が警報やお知らせをする際に、お知らせする項目の前に鳴る注意喚起音のことです。



オービス

2. Wアラーム(ダブルアラーム)

音(電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

※ レーダー波受信時の音(レーダーメロディ)は変更できます。(P.107)

3. オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

4. 後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

取締りレーダー波を受信すると…

5. ミュート機能

警報中にジャンプウィンドウの「[MUTE]」にタッチすると、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。



6. 接近テンポアップ (電子音選択時のみ)

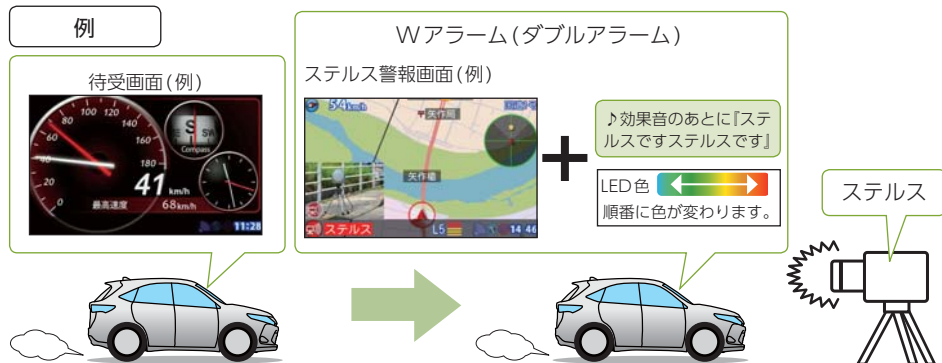
取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音	『ピロ・ピロ』 → 『ピーーーー』断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	 レーダー波の受信レベルが変化します。

電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディの設定については P.107を参照ください。

7. ステルス波を受信すると

「待受⇄警報画面切換 2/3」接近切替 (1000/500m) (P.89) のときは警報を行う警報画面と専用の警報ボイスで警告します。



『ステルスです。ステルスです。』と警報したあと、通常の警報音 (メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音) の警報になります。

8. レーダー波3識別 (iDSP) について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術 (Integrated Digital Signal Processing-Technology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル (P.101) により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

【ステルス識別】

【アイキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号】

※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

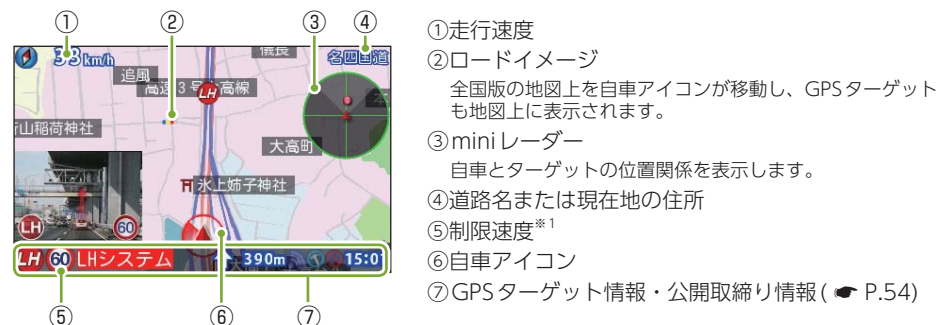


※ フルマップレーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
※ 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

GPS ターゲットに接近すると…

1. フルマップレーダースコープ

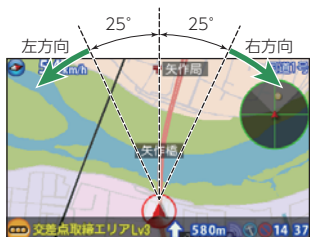
本機に登録されたGPSターゲットに近づく、[待受⇄警報画面切換 2/3] で接近切替 (1000/500m) (P.89) のときは待受画面から全国版フルマップ上でターゲットの存在をお知らせする警報画面に切り替わります。走行している道路の先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。



※ 1：制限速度表示は、オービス (ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス) と一部の取締りエリア警報時に表示します。

※ 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
※ 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
※ GPS非測位時、走行速度は表示しません。
※ OBDIIアダプターを接続するとGPS非測位時でも走行速度が表示されます。

1. 左右方位識別ボイス



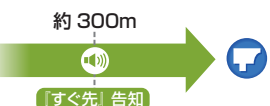
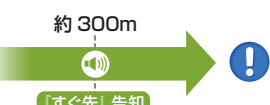
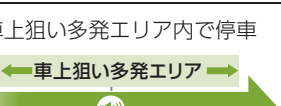
※ この画面のイラストは説明用です。
実際の画面とは異なります。

GPS 警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約 25° 以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

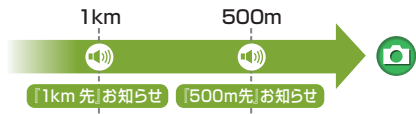
※ 「右方向」、「左方向」のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
※ ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離)						
		※ GPSの受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。						
オービス5段階警報		2km(高速道のみ)	1km	500m	直前	通過	※ 1km手前では制限速度もお知らせします。 普通自動車の制限速度をお知らせします。 事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。 ※ 500m手前ではカメラ位置もお知らせします。 直前では走行速度告知も行います。 ※ 制限速度切替告知は、高速道路の制限速度切替ポイントでお知らせします。LED色は黄色になります。	
 (ループコイル)								
 (新Hシステム)								
 (LHシステム)								
 (レーダー式) (小型オービス)								
LED色 		※ オービス警報時の音 (オービスジングル) は変更できます。(P.115)					制限速度切替告知	
※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。 ※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。 ※ トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。								
取締りエリア		1km	エリア進入	エリア脱出				
 (移動オービス)							※ 1km手前では左右方向もお知らせします。 ※ 本機に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。 ※ 「トンネル内追尾式取締りエリア」、「トンネル出口直後速度取締りエリア」から脱出した場合は、取締り圏外識別警告は行いません。	
 (速度取締り)							※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない取締りエリアは、制限速度告知も行いません。	
 (追尾式取締り)								
 (交差点取締り)								
 (その他取締り)								
LED色 		※ GPS警告時の音(警報ジングル)は変更できます。(P.115) ※ メッセージウィンドウの表示は  P.56を参照ください。						
 (一時停止取締り)							※ 本機に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。	
LED色 								

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPS の受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS 警告時の音 (警告ジングル) は変更できます。(P.115)	
検問エリア	1km エリア進入 エリア脱出	※ 1km 手前では左右方向もお知らせします。 ※ 本機に登録されている検問エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。
(シートベルト検問)	[1km 先] 警告 検問エリア 警告 検問圏外 識別警告	
(携帯電話検問)		
(飲酒検問)		
(その他の検問)		
LED色 黄		
(交差点監視ポイント)	約 300m	
LED色 黄		
(信号無視抑止システム)	約 300m	
LED色 黄		
(高速交通警察隊)	500m	
LED色 黄		
(駐禁監視エリア)	駐禁監視エリア内で停車	※ 本機に登録されている違法駐車取締りガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、お知らせします。 ※ マップ上には表示されません。
LED色 黄		
(一時停止注意ポイント)	サイレント警報	※ 東京都23区/名古屋市内/大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。
LED色 黄		
(マイエリア)	1km 500m 通過	※ 移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリアとして自由に登録できます
LED色 黄		

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS警告時の音(警告ジングル)は変更できます。(P.115)	
 (ゾーン30エリア) LED色 黄		※ ゾーン30エリアに入るとお知らせします。 ※ マップ上には表示されません。
 (ラウンドアバウト)	サイレント警報 MAP上でのアイコンで表示します。	
 (取締り情報(路線))		※ 取締り情報がある路線を走行するとお知らせします。 ※ 詳細は、P.54を参照ください。
 (Nシステム) LED色 青		※ Nシステム：自動車ナンバー読み取り装置
 (交通監視システム) LED色 青		※ 交通監視システム：画像処理式交通流計測システムなど
 (警察署) LED色 青		
 (交番) LED色 青		
 (事故多发エリア) LED色 青		
 (車上狙い多发エリア) LED色 青	車上狙い多发エリア内で停車 	※ 本機に登録されている車上狙い多发地域内で停車すると、お知らせします。 ※ マップ上には表示されません。

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS警告時の音(警告ジングル)は変更できます。(P.115)	
 (踏切)	サイレント警報 MAP上でのアイコンで表示します。	※ 本機に登録されている踏切ポイントのアイコンを表示します。
 (急(連続)カーブ(高速道路のみ)) LED色 青	カーブにさしかかったら 	※ マップ上には表示されません。
 (分岐(合流)ポイント) (高速道路のみ) LED色 青	分岐にさしかかったら 合流にさしかかったら 	※ GPSの受信状況やGセンサー/ジャイロセンサーの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。 ※ マップ上には表示されません。
 (ETCレーン) LED色 緑	ETCレーンにさしかかったら 	※ ETCレーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。
※ 実際の料金所ブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合は、実際の標識等にしながら進入してください。		
 (サービスエリア)  (パーキングエリア)  (ハイウェイオアシス) LED色 緑	1km 	※ サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせをOFFに設定すると、スマートインターチェンジ、ガステーションのお知らせも行いません。
 (長い(連続)トンネル) (高速道路のみ) LED色 緑	1km 500m 	
 (ハイウェイラジオ) (高速道路のみ) LED色 緑		※ ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPS の受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS 警告時の音(警告ジングル)は変更できます。(P.115)	
 (県境)(高速道路および主要一般道路のみ) LED色 緑		※ 県境に接近するとお知らせします。 ※ すべての道路の県境が登録されているわけではありませんので、あらかじめご了承ください。 ※ マップ上には表示されません。
 (道の駅) LED色 緑		
 (ビューポイントパーキング) LED色 緑		
 (駐禁エリア付近駐車場)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。	※ 本機に登録されている駐車場のアイコンを表示します。
 (消防署)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。	※ 本機に登録されている消防署のアイコンを表示します。
 (公衆トイレ)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。	※ 本機に登録されている公衆トイレのアイコンを表示します。

衛星 + $\frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}}$ + 無線14バンド = **17 BAND**

本機は、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません。

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線14バンド受信機能

※ 無線受信時の音(無線ジングル)は変更できます。(P.115 「カスタム」)

無線の種類	LED	無線の説明
カーロケ無線(カーロケーターシステム)  『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ圏外です』 ※ カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき	桃 黄 水色	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。 本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締無線  『取締無線です』	桃	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締り無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線  『デジタル無線です』	黄	各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締特小無線  『特小無線です』	水色	取締り現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ※ 取締りをしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。

無線の種類	LED	無線の説明
署活系無線 🔊『署活系無線です』	水色	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。
警察電話 🔊『警察電話です』	水色	移動警察電話（移動警電）ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線 🔊『警察活動無線です』	水色	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。
レッカー無線 🔊『レッカー無線です』	水色	主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。 ※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。
ヘリテレ無線 🔊『ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使用します。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 🔊『消防ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防無線 🔊『消防無線です』	黄緑	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線（携帯用400MHz帯）です。 ※ 消防本部等で広域に使用されているVHF帯（150MHz帯）の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 🔊『救急無線です』	黄緑	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 🔊『高速道路無線です』	黄緑	NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。
警備無線 🔊『警備無線です』	黄緑	主に警備会社が使用する無線です。

2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線（407.7MHz帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

[検問注意：特許 第4119855 号]

[並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262 号]

■「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」の設定 (P.100) をすべて「ON」にする

※ いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたしません。

無線の種類	LED	無線の説明
並走注意 🔊『スピード注意』(2回くり返し)	桃	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき
すれ違い注意 🔊『遠ざかりました』(2回くり返し)	桃	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき
取締り注意 🔊『取締り注意』(2回くり返し)	桃	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき
検問注意 🔊『検問注意』(2回繰り返し)	桃	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき
カーロケ遠近識別 🔊『カーロケ近接受信です』『カーロケ遠方受信です』	桃 黄	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別 🔊『カーロケ圏外です』	水色	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

設定メニューの表示方法

待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウを表示させ[設定TOP]にタッチします。変更したい項目を選択すると各種設定が細かく変更できます。



設定	
待受	▶ 「待受」
モード	▶ P.98
警報	▶ P.104
画面・LED	▶ P.106
音声	▶ P.107
投稿	▶ P.110
リマインダー	▶ P.113
システム	▶ P.114
カスタム	▶ P.115
OBD	▶ P.117
WLAN	▶ P.122

■ [EXIT]と[BACK]について

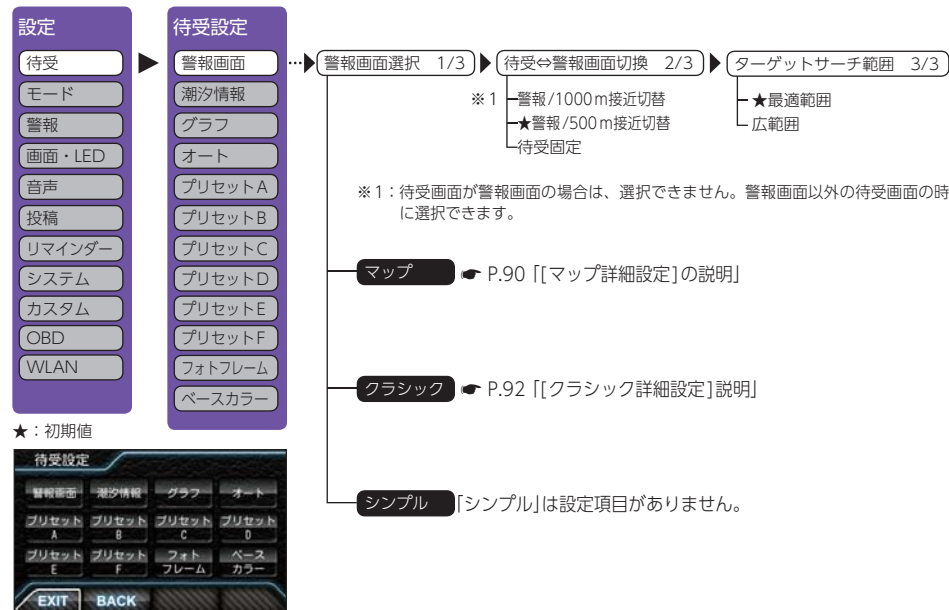
画面左下にある[EXIT]にタッチすると待受画面に戻ります。
[BACK]にタッチすると表示していた画面のひとつ前の画面に戻ります。



待受

つづく

1. [警報画面]の説明



■ 警報画面選択 1/3

- ・マップ 全国版の地図が表示され、その上を自転車アイコンが移動します。
- ・クラシック 自転車とターゲットの位置をシンプルな画面で表示します。
- ・シンプル 最小限の情報と大きな警報パネルで表示します。

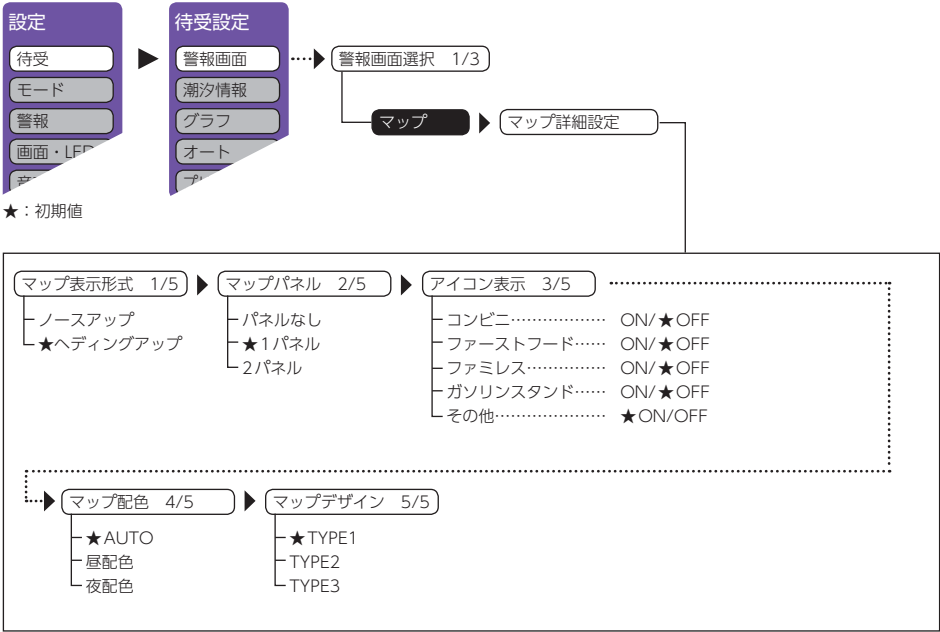
■ 待受⇄警報画面切換 2/3

- ・警報1000m(500m)接近切替 ... 警報音声発生時、またはターゲットが約1000m(500m)まで接近すると、待受画面が警報画面以外の場合は警報画面に自動的に切り替わります。
- ・待受固定 ターゲットが近づいても設定した待受画面で固定され、メッセージウィンドウによる警告を行います。
※「フォトフレーム」「OFF」ではメッセージウィンドウは常時表示されません。

■ ターゲットサーチ範囲 3/3

- ・最適範囲 ターゲットに応じて、最適な距離になってから表示を行います。
- ・広範囲 赤、黄ターゲットに対して広範囲な警告を行います。

2. [マップ詳細設定]の説明



■ マップ表示形式 1/5

- ノースアップ 常に北が上の状態で地図が表示されます。
- ヘディングアップ 常に進行方向が上の状態で地図が表示されます。

■ マップパネル 2/5(P.76)

- パネルなし マップのみを表示し、警報パネルを表示しません。
- 1パネル 画面の左側に小さな警報パネルが表示されます。
- 2パネル 画面の左右に小さな警報パネルが表示されます。mini レーダー上のアイコンと警報パネルは線でつながっていて、自車との位置関係がわかるようになっています。

■ アイコン表示 3/5

- ON / OFF 画面の地図上に表示される「コンビニ」、「ファーストフード」、「ファミレス」、「ガソリンスタンド」、「その他」のアイコンのON / OFF を設定できます。

■ マップ配色 4/5

- AUTO / 昼配色 / 夜配色 AUTOを選択すると、日の出～日没は昼配色、日没～日の出と照度センサーで暗いと判断された場合は夜配色になります。それぞれ配色を固定することもできます。



昼配色



夜配色

■ マップデザイン 5/5

- TYPE1 初期値の画面です。右上の表示欄には道路名称、または住所を表示します。
- TYPE2 道路のコントラストを重視した画面です。右上の表示欄には常に住所が表示されます。
- TYPE3 青色をベースにシンプルにした画面です。右上の表示欄には住所と道路名称の2つを表示します。
※TYPE 3にした場合、アイコンのデザインが変更されます。

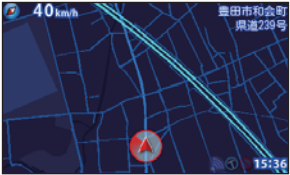
例：夜配色の場合



TYPE1

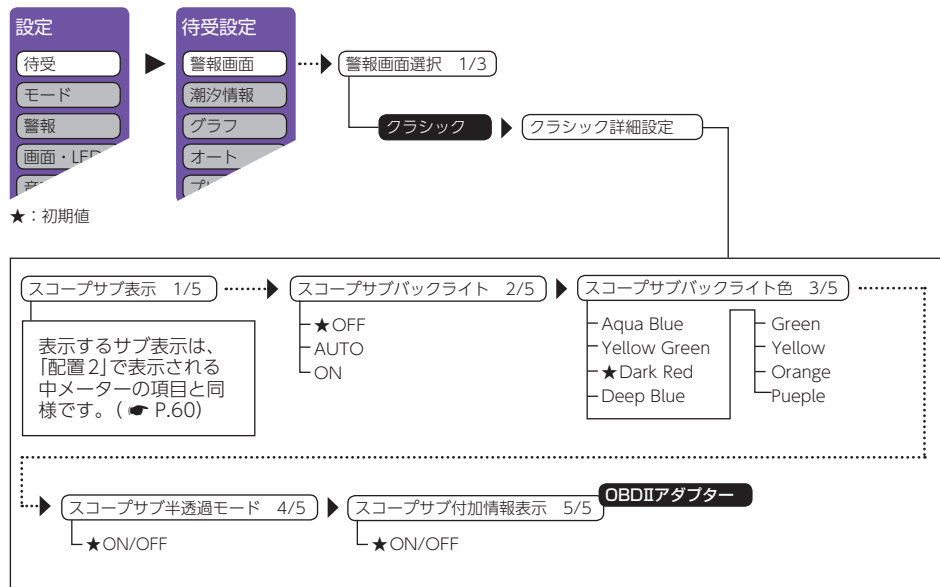


TYPE2



TYPE3

3. [クラシック詳細設定]説明



■ スコープサブ表示 1/5

スコープサブ表示を選択するとクラシック画面の左上にサブ表示がひとつ表示されます。表示するサブ表示は「配置2」で表示される中メーターの項目と同様です。(P.60)

警報パネルを選択して、警報が必要な距離に無い場合はスコープサブ表示は表示されません。また、画面下にも警報情報が表示されます。

■ スコープサブバックライト 2/5、スコープサブバックライト色 3/5

スコープサブ表示の背景色が、フレックスディマーにより夜間と判定された時や、トンネルなどで周囲が暗くなった時(画面・LEDの設定でフレックスディマーを「照度センサ+衛星情報」に設定が必要)、およびOBDIIアダプターによる接続時にGPSが受信できなかった場合(トンネル内など)にスコープサブ表示の背景色が変わります。また、背景色を8種類から選択できます。

※ スコープサブバックライト 2/5が「OFF」の場合、スコープサブバックライト色 3/5の選択ができません。スコープサブバックライトを「OFF」以外にしてから選択をしてください。

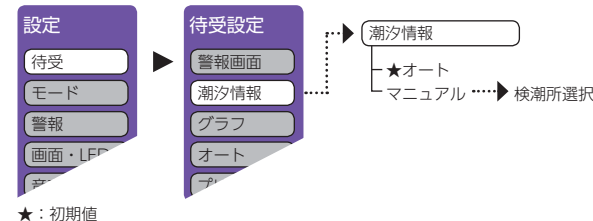
■ スコープサブ半透過モード 4/5

スコープサブ半透過モードをONにすると、スコープサブ表示の背景が半透明になります。

■ スコープサブ付加情報表示 5/5 OBDIIアダプター

スコープサブ付加情報表示をONにすると、車両が停車してしばらくすると今回の走行情報を表示します。車両が動き出すと、通常の表示に戻ります。OBDIIアダプターで接続すると有効になります。

4. [潮汐情報]の説明



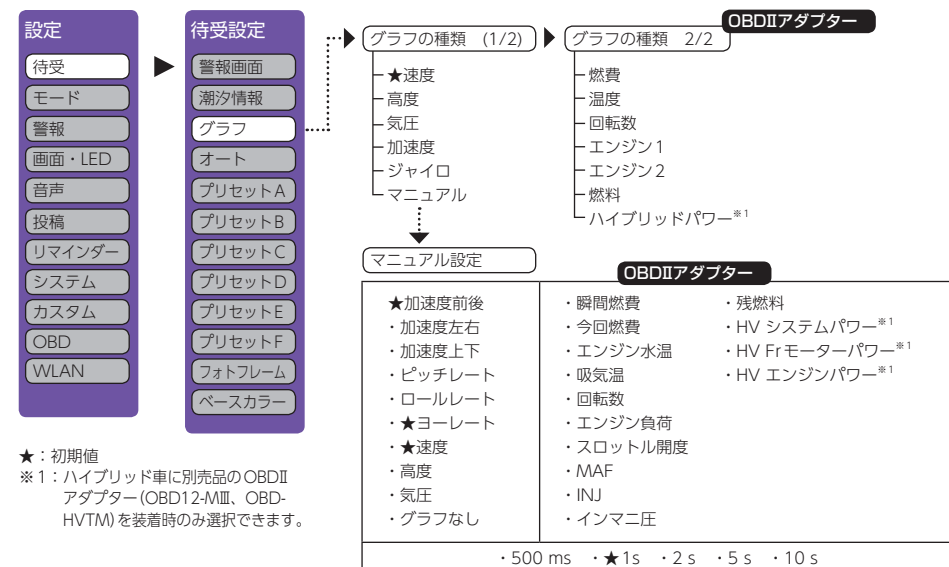
■ 検潮所自動選択

検潮所自動選択をオートにすると、GPS測位によって得られた現在地近辺の情報を表示します。マニュアルにすると、全国の登録された102地点から選択することができます。

全国登録地点(以下より選択可能)

・ 稚内	・ 宮古	・ 粟島	・ 横須賀	・ 八丈島	・ 師崎	・ 大阪	・ 高松	・ 浜田	・ 油津	・ 石垣島
・ 網走	・ 金石	・ 新潟西港	・ 大島(岡田)	・ 父島	・ 鳥羽	・ 神戸	・ 小松島	・ 徳山	・ 大泊	・ 与那国島
・ 花咲	・ 大船渡	・ 佐渡	・ 江ノ島	・ 南鳥島	・ 尾鷲	・ 洲本	・ 阿波由岐	・ 下関	・ 鹿児島	
・ 釧路	・ 鮎川	・ 大洗	・ 下田	・ 舞阪	・ 熊野	・ 富山	・ 室戸岬	・ 博多	・ 枕崎	
・ 小樽	・ 仙台新港	・ 銚子漁港	・ 石廊崎	・ 赤羽根	・ 浦神	・ 能登	・ 高知	・ 佐世保	・ 対馬	
・ 苫小牧西	・ 相馬	・ 勝浦	・ 内浦	・ 豊橋港	・ 串本	・ 三国	・ 土佐清水	・ 大浦	・ 福江	
・ 函館	・ 小名浜	・ 布良	・ 清水港	・ 形原	・ 白浜	・ 舞鶴	・ 宇和島	・ 長崎	・ 種子島	
・ 下北	・ 深浦	・ 千葉	・ 御前崎	・ 名古屋	・ 御坊	・ 宇野	・ 松山	・ 口之津	・ 奄美大島	
・ 竜飛	・ 秋田	・ 晴海	・ 神津島	・ 鬼崎	・ 和歌山	・ 呉	・ 境	・ 三角	・ 那覇	
・ 八戸	・ 酒田	・ 芝浦	・ 三宅島	・ 衣浦	・ 淡輪	・ 広島	・ 西郷	・ 大分	・ 南大東島	

5. [グラフ]の説明



★：初期値

※ 1：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。

・ 500 ms ・ ★1s ・ 2s ・ 5s ・ 10s

- グラフの種類 1/2(※ OBD II アダプターで接続すると[1/2]になります。)
- 車両の変化をグラフ表示します。マニュアルに設定すると最大3項目を同時に表示できます。
- 速度

高度

気圧

加速度

ジャイロ

マニュアル

速度の変化を表示します。

高度の変化を表示します。

気圧の変化を表示します。

車両の前後、左右、上下方向の加速度変化を表示します。

[「ピッチレート」「ロールレート」「ヨーレート」]の変化を表示します。

[「マニュアル」]にタッチすると、マニュアル設定が有効になります。最大3項目のグラフが表示でき、それぞれのグラフの更新時間を設定できます。

- グラフの種類 2/2 OBDIIアダプター
- 本機をOBD II アダプターで接続すると、さまざまなエンジン情報をグラフで表示できます。
- 燃費

温度

回転数

エンジン1

エンジン2

燃料

ハイブリッドパワー

車両の燃費の変化を表示します。

各種温度の変化を表示します。

エンジン回転数の変化を表示します。

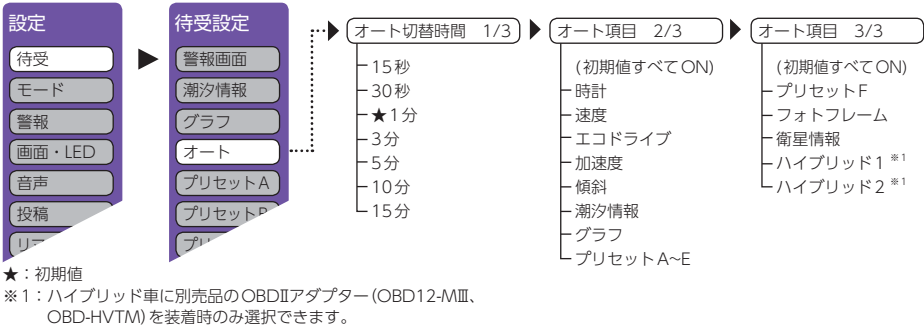
[「エンジン負荷」「スロットル開度」]の変化を表示します。

[「MAF」「INJ」「インマニ圧」]の変化を表示します。

[「残燃料」「燃料レベル」]の変化を表示します。

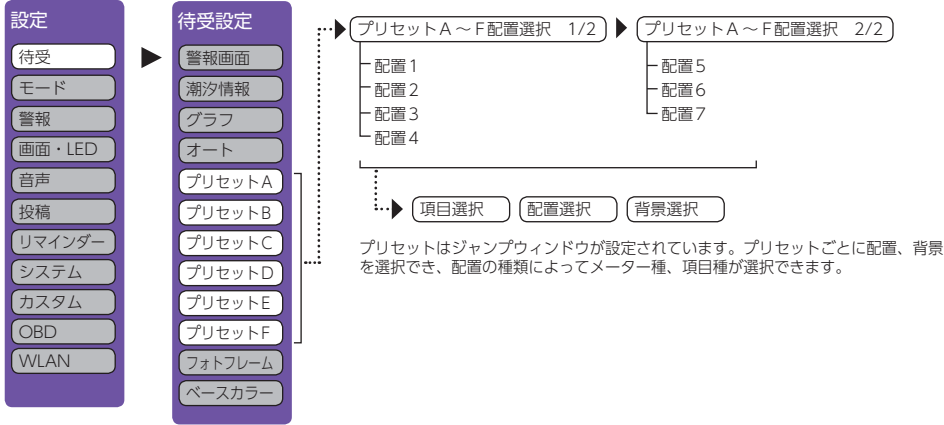
[「HVシステムパワー」「HVFr モーターパワー」「HVエンジンパワー」]の変化を表示します。
- ※ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
- ※車両により、表示できない項目があります。

6. [オート項目]の説明



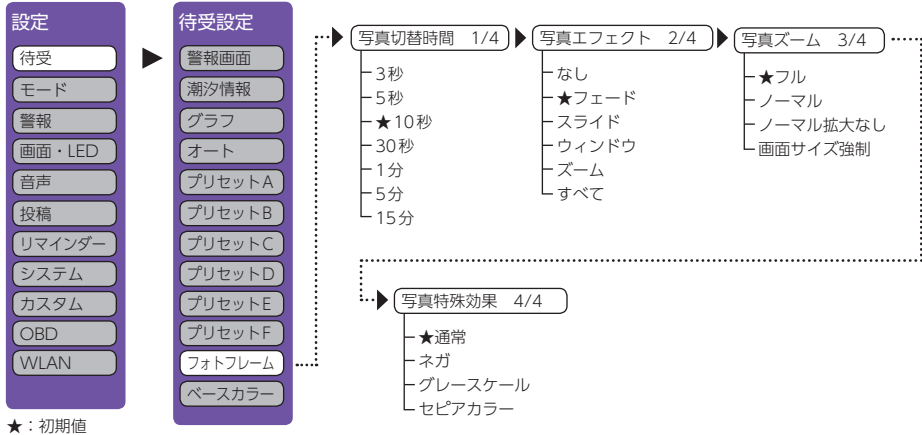
- オート切替時間 1/3
- 待受設定で「オート」を選択した場合に、待受画面の切り替わる時間を設定できます。
- オート項目 2/3、3/3
- 待受設定で「オート」を選択すると、選択した待受画面を順にスライド表示します。
- ※ 初期値は、すべて「ON」に設定されています。

7. [プリセット]の説明



- プリセットA～F
- プリセットA～Fに表示する配置をプリセットごとに設定できます。配置を選択し、表示された位置のメーター、項目をダイレクトに選択、変更できます。また、プリセットごとに背景を設定することもできます。配置は7種類から選択できます。項目はOBDIIアダプターで接続すると最大210項目以上から選択できます。
- ※ 車両により、表示できない項目は選択できません。
- ※ 背景画像を設定するには、あらかじめ付属品のSDカードに写真データを保存する必要があります。写真データの保存方法は、「フォトフレーム」の項目を参照ください。

8. [フォトフレーム]の説明



★：初期値

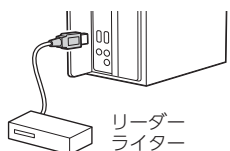
本機能は、あらかじめ本体に装着されているSDカード、または別売品の「無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)」の所定のフォルダに、パソコンなどで画像データを保存しておく必要があります。

画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。再生される写真の順番は、ほぼSDカードに書き込まれた写真の順になります。写真の削除・追加を繰り返すと再生する順序が入れ替わる場合があります。

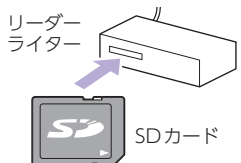
※ 本体に装着されていたSDカードには本機の機能に必要なデータが入っています。ファイルの保存時などに、誤ってSDカード内のデータを消去しないようご注意ください。

<保存方法>

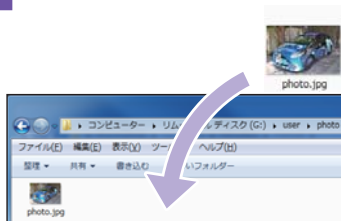
8-1 リーダーライターをパソコンに接続する



8-2 付属品のSDカードをリーダーライターに接続する



8-3 データを入れる



画像データをSDカードの「user」→「photo」フォルダに入れます。

※ 画像データ対応形式(拡張子)

- ・JPEG(.jpg)
最大画像サイズ
：幅または高さ8,000ピクセル
- ・最大保存ファイル数：最大100ファイル
(SDカードの容量を超えない範囲)
- ・最大ファイル容量
：約3MB(1ファイル)

■ 写真切替時間 1/4

SDカードに保持された写真データの表示を切り替える時間を設定できます。

3秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、15分の中から選択します。

※ 初期値は「10秒」に設定されています。

■ 写真切替エフェクト 2/4

写真データの表示を切り替える際の表示方法を選択できます。

- ・なし 現在の写真が瞬時に、次の写真に切り替わります。
- ・フェード 現在の写真が徐々に消えて、次の写真に切り替わります。
- ・スライド 横から次の写真がスライドして、次の写真に切り替わります。
- ・ウィンドウ 現在の写真が画面中央に表示範囲が小さくなって、次の写真に切り替わります。
- ・ズーム 現在の写真がズームアップするとともに徐々に消えて、次の写真に切り替わります。
- ・すべて 「なし」以外のエフェクトを順番に切り替えて写真が切り替わります。

■ 写真ズーム 3/4

写真データを表示する時の表示サイズを選択できます。

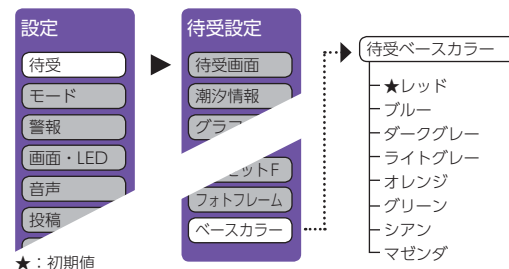
- ・フル 写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
- ・ノーマル 写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
- ・ノーマル拡大なし 写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように縮小します。
- ・画面サイズ強制 写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

■ 写真特殊効果 4/4

写真データの表示の見え方を変更できます。

- ・通常 写真データをそのまま表示します。
- ・ネガ ネガポジ反転して表示します。
- ・グレースケール 白黒写真にして表示します。
- ・セピアカラー セピア色にして表示します。

9. [ベースカラー]の説明



★：初期値

■ 待受ベースカラー

待受画面のベースカラーをレッド/ブルー/ダークグレー/ライトグレー/オレンジ/グリーン/シアン/マゼンダの8種類から選択できます。



1. [モード]の説明

本機には、カスタマイズを行うためのプリセットが4種類（「ノーマルモード」、「ミニマムモード」、「スペシャルモード」、「オールオンモード」）と、お好みによりすべての機能を個別に設定できる「マニュアルモード」が用意されています。



★：初期値

ノーマルモード

機能同士のバランスを重視したモードです。

ミニマムモード

レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけを ON に設定します。

スペシャルモード

取締りに関する項目を重視した内容に設定されています。

オールオンモード

すべての機能を ON に設定します。

マニュアルモード

すべての機能を個別に ON / OFF が設定できます。

●レーダーの設定

項 目	画面表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
I キャンセル	キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	101
キャンセルサウンド		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
反対キャンセル	キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	

●GPSの設定

項 目	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
オービス		ON	ON	ON	ON	ON	80
直前速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	
制限速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	
カメラ位置告知		ON	ON	ON	ON	ON	

●GPSの設定

項 目	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
通過告知		ON	ON	ON	ON	ON	80
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON	
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	
取締エリア		レベル3以上	OFF	全て	全て	レベル3以上	
検問エリア		レベル3以上	OFF	全て	全て	レベル3以上	
交差点監視ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
信号無視抑止システム		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
高速交通警察隊		ON	OFF	ON	ON	ON	
駐禁監視エリア ^{*1}		ON	OFF	ON	ON	ON	
一時停止注意ポイント		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
Nシステム		OFF	OFF	ON	ON	ON	
交通監視システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	
警察署		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
交番		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
事故多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
車上狙い多発エリア ^{*1}		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
踏切		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
急(連続)カーブ ^{*1}		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
分岐合流ポイント ^{*1}		OFF	OFF	ON	ON	OFF	
ETCレーン ^{*1}		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
SA(サービスエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
PA(パーキングエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
ハイウェイオアシス		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
スマートIC		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
ガソリンスタンド		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
トンネル		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
ハイウェイラジオ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
県境 ^{*1}		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
道の駅		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

●GPSの設定

項 目	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
ビューポイント パーキング		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	80
駐車場		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
消防署		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
公衆トイレ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
ゾーン30 ^{※1}		ON	OFF	ON	ON	ON	
ラウンドアバウト		OFF	OFF	ON	ON	ON	

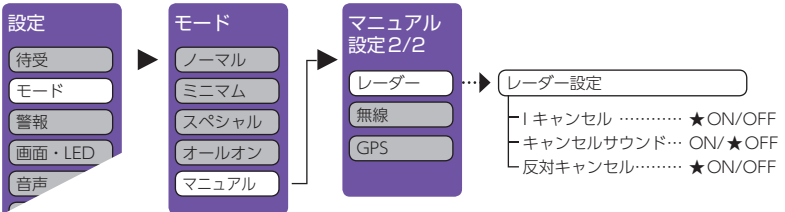
※1：マップ上には表示されません。

●無線の設定

項 目	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
受信感度		LO	LO	HI	HI	LO	85
カーロケ無線	 カーロケ近接	ON	ON	ON	ON	ON	
取締無線	 取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	
デジタル無線	 デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	
取締特小無線	 特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
署活系無線	 署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
警察電話	 警察電話	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
警察活動無線	 警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
レッカー無線	 レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
ヘリテレ無線	 ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
消防ヘリテレ無線	 消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
消防無線	 消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
新救急無線	 新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
JH(高速道路)無線	 高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
警備無線	 警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

2. マニュアルモードでのレーダー設定

※ マニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



★：初期値

※マニュアルにタッチすると「モード1/2」になります。

■アイキャンセル(Iキャンセル)[特許 第3902553号、第4163158号]

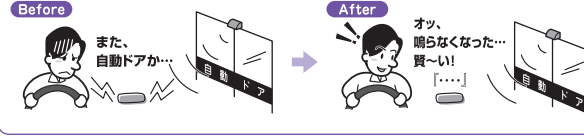
自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

登録数は、アイキャンセル、マイエリア(P.46)、マイキャンセルエリア(P.45)の合計で10,000箇所まで可能です。

10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

・アイキャンセルのしくみ

- ①取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。【1回目】
- ②取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。【2回目以降】



※ GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
※ キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
※ 「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
※ 自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源OFFしても記憶されています。
※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(P.114)を参照ください。

■キャンセルサウンド(アイキャンセルサウンド)

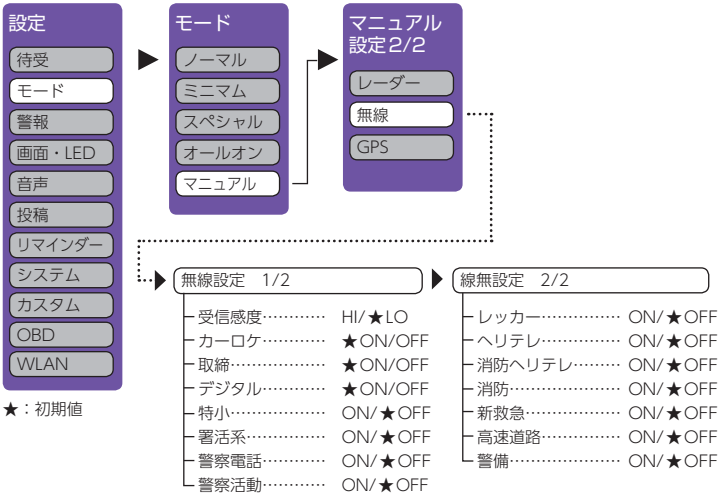
アイキャンセル中、マイキャンセル中に、『キャンセル中です』と10秒に1回音声を発する機能です。

■反対キャンセル(反対車線オービスキャンセル機能)

GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

3. マニュアルモードでの無線設定

※ マニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。

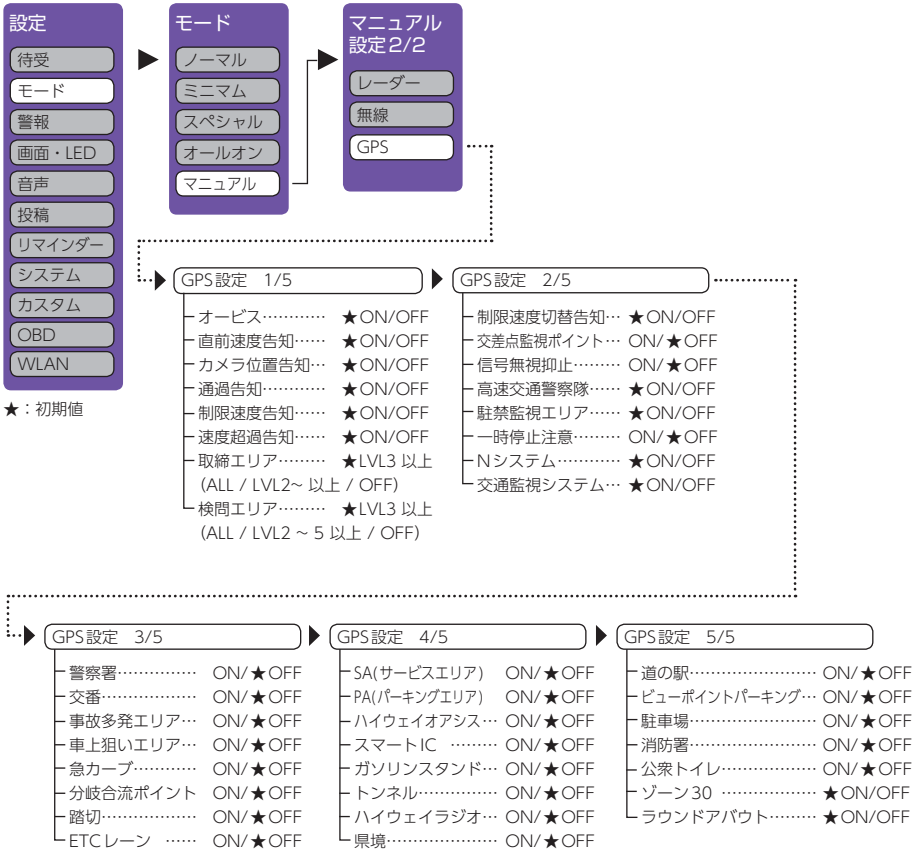


★：初期値

設定項目の詳細説明は「無線 14 バンド受信機能」(P.85) を参照ください。

4. マニュアルモードでのGPS設定

※ マニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



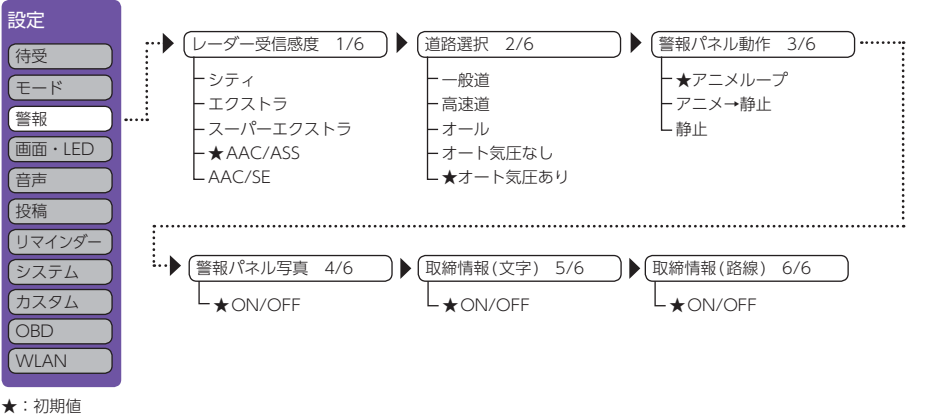
★：初期値

設定項目の詳細説明は「警報ボイスについて」(P.80) を参照ください。

カスタマイズ
して使う

カスタマイズ
して使う

1. [警報]の説明



■レーダー受信感度 1/6

レーダー受信感度を選択できます。

※ 受信感度が高いほど速くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

●「シティ」・「エキストラ」・「スーパーエキストラ」

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエキストラ	高速道路
↑	エキストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

●「AAC/ASS」

GPS測位機能(別売品のOBDIIアダプターで接続されている場合はOBD車速検知)によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択が働きます。

- ・AAC/不要警報カット
走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。
- ・ASS/最適感度選択
走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。
※ GPS測位機能(別売品のOBDIIアダプター(P.14)で接続されている場合は、OBDII車速検知)によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたります。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km～29km		警報しない
30km～39km	シティ	警報する
40km～79km	エキストラ	
80km～	スーパーエキストラ	

※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はスーパーエキストラになります。

※ 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエキストラに変化します。(別売品のOBDIIアダプター(P.14)で接続されている場合を除く。)

●「AAC/SE」

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカット(AAC)し、時速30km以上は受信感度がスーパーエキストラに固定されます。

[AAC/SEの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km～29km		警報しない
30km～	スーパーエキストラ	警報する

※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーエキストラに固定されます。(別売品のOBDIIアダプター(P.14)で接続されている場合を除く。)

■道路選択 2/6

GPS警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「オート気圧なし」「オート気圧あり」から選択することができます。

※ GPS54識別警報のハイウェイオアシスは「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし オート気圧あり	走行道路(一般道が高速道)をGPSの位置情報と気圧の変化で自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ・一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 ・GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ・高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ・渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

■警報パネル動作 3/6

警報時に表示される警報パネルの動作を設定できます。

- ・アニメループ 警報パネルのアニメーションを警報終了まで繰り返します。
- ・アニメ→静止 警報パネルのアニメーションを行った後は、警報パネルの静止画を表示します。
- ・静止 警報パネルのアニメーションを行わず、警報パネルの静止画を表示します。

■警報パネル写真 4/6

警報時に表示される警報パネルを表示した後に、「実写警報 REAL PHOTO」の表示を行うかの設定ができます。「ON」に設定すると、警報パネルを表示した後に実写警報パネルに切り替わります。「OFF」に設定すると、警報パネルを警報終了まで表示し、実写警報パネルに切り替わりません。

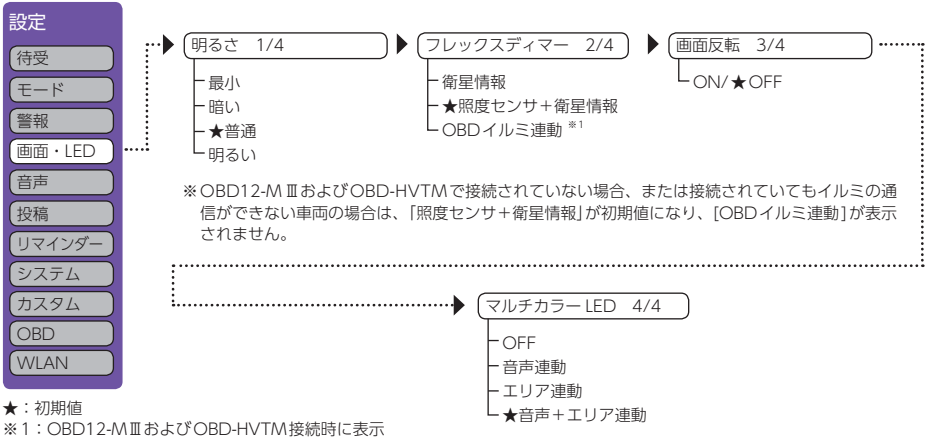
■取締情報(文字) 5/6(P.54)

メッセージウィンドウに表示される取締り情報のON/OFFを設定できます。

■取締情報(路線) 6/6(P.54)

地図上の路線に表示される取締り情報のON/OFFを設定できます。

1. [画面・LED]の説明



■ 明るさ 1/4

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「普通」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

■ フレックスディマー 2/4

画面明るさの「昼照度」「夜照度」を切り替えるために衛星による時間・位置で切り替えるか、周囲の明るさ[照度センサ]と衛星による時間・位置で切り替えるかを選択します。初めてOBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) で接続し、本機を取り付けた場合などに[OBDイルミ連動]が表示されませんが、イルミ信号を受信すると表示されます。

※ 取付位置によっては、設定を「照度センサ+衛星情報」にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、設定を「衛星情報」にしてご使用ください。

■ 画面反転 3/4(P.39)

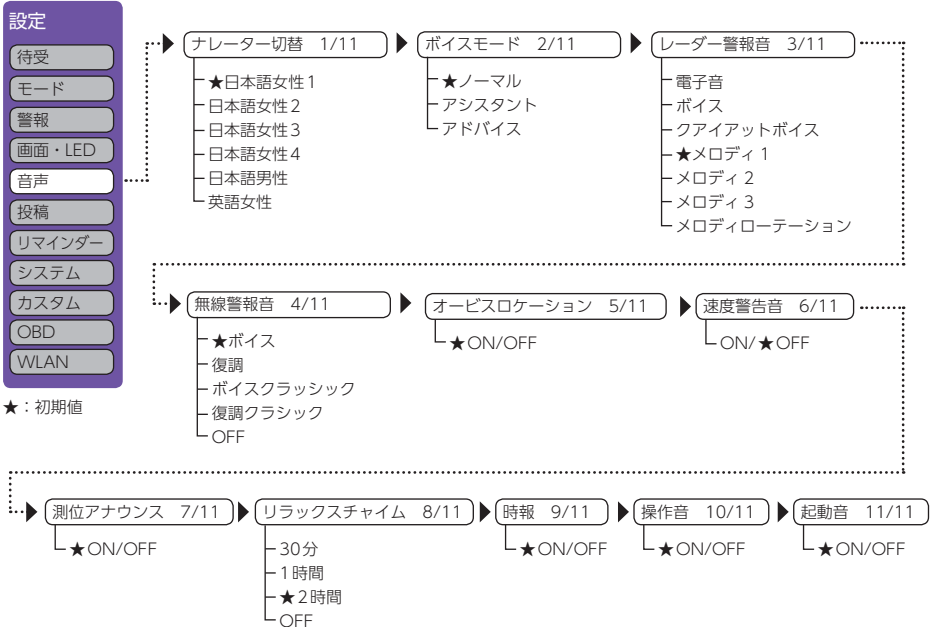
「ON」に設定すると、画面表示の上下を反転することができます。

■ マルチカラー LED 4/4

警報の種類によりLEDの色、明るさで警報をお知らせします。

OFF	警報時に一切点灯しません。
音声連動	警報の種類によって決まった色のLEDが点灯し、音の大きさに応じて明るさ変化します。
エリア連動	警報するターゲットからの距離、状況によって、各警報色のLEDを点灯します。優先度の高い警告が優先されます。ターゲットとの距離により点滅し、接近するにつれて点滅が速くなります。
音声+エリア連動	音声連動の光り方が優先され、音声連動の警告条件が成立しない場合は、エリア連動で光ります。音声連動、エリア連動両方の警告条件が成立しなかった場合は点灯しません。

1. [音声]の説明



■ ナレーター 1/11

警告時やお知らせ時の口調を6種類から選べます。お好みに応じて選択してください。

日本語女性 1 ~ 4 日本語男性 英語女性	お好みに応じて選択してください。
------------------------------	------------------

■ ボイスモード 2/11

ボイスモードを切り替えると本機のお知らせ内容を切り替えることができます。

ノーマル	従来のレーダー探知機と同様の警報を行います。
アシスタント	ノーマルに加え、「あいさつ」「ベストパートナー+ (プラス)」「日没告知」「リマインダー告知」「オービスカウントダウン (残り距離 400m から)」を追加します。
アドバース	アシスタントに加え、「オービスカウントダウン (残り距離 900m から)」「その他」を追加します。

- ※ 追加ボイスについて
- ・ベストパートナー+ (プラス) : 従来の電波受信での警報に加え、レーダー波・無線・GPSの複合で判断します。
 - ・日没告知 : GPSによって計算された日没時間になるとお知らせします。
 - ・リマインダー告知 : リマインダーを設定し、設定に到達したときに、画面とともに音声でもお知らせします。
 - ・オービスカウントダウン : オービスに接近したときに、100mごとに残り距離をお知らせします。カウントダウン中に他の警報が発生した場合は、警報が優先されカウントダウンはスキップされます。
 - ・あいさつ : 電源ONにし、GPSを測位したときに、時間や日付によりあいさつします。
 - ・その他 : 安全やエコに関するお知らせをします。
「照度低下告知 (周辺が暗くなったとき)」「
「エコドライブ告知 (エコドライブのポイントが満点になったときや減点になったとき)」

カスタマイズ
して使う

カスタマイズ
して使う

■ レーダー警報音 3/11

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ...』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ1)で警報します。
メロディ2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ2)で警報します。
メロディ3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム(メロディ1→メロディ2→メロディ3の順)で警報します。

■ 無線警報音 4/11

各種無線の警報を「ボイス警報」「復調」「ボイスクラシック」「復調クラシック」「OFF」の中から選択することができます。

※「OFF」に設定すると、すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。

「ボイス」設定のとき

- 各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。
- ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調」設定のとき

- 各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。
- 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
- 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- 無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- カーロケ無線(🔊 P.85)とベストパートナー6 識別(🔊 P.87)は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。

「ボイスクラシック」設定のとき

- 各無線を受信すると、電子音とボイスが1フレーズ鳴ります。無線の種類によって電子音の種類が違います。
- 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。
- ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調クラシック」設定のとき

- 各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを電子音とボイスでお知らせします。
- 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
- 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- 各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- カーロケ無線(🔊 P.85)とベストパートナー6 識別(🔊 P.87)は、復調を行わず、電子音とボイスによるお知らせのみとなります。

■ オービスロケーション 5/11

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

■ 速度警告音 6/11

時速110km/hを超えると電子音で速度オーバーを警告します。GPSが非測位の時は警告できません。
OBDⅡアダプターで接続した場合はGPSが非測位の時でも警告を行います

■ 測位アナウンス 7/11

「測位アナウンス」のON/OFFが選択できます。ビルの谷間など衛星の電波の受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『衛星を受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源ONにしてから、しばらく衛星を受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。

■ リラックスチャイム 8/11

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源ON後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています 休憩しませんか?』とお知らせします。

■ 時報 9/11

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。「午前(午後)〇〇時です」。

■ 操作音 10/11

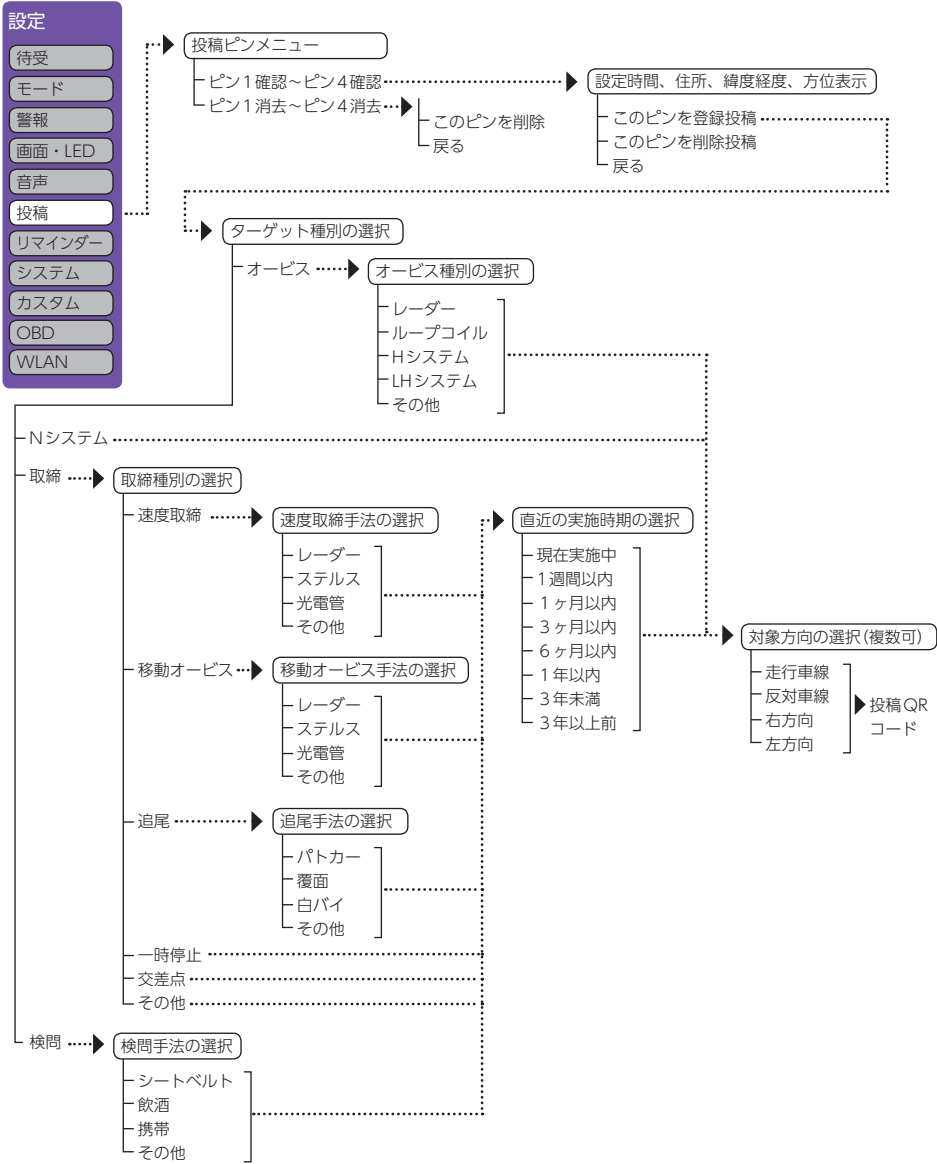
「ON」に設定すると、操作時の確認音が出ます。

■ 起動音 11/11

「ON」に設定すると、本体起動時に起動音が出ます。

1. [投稿]の説明

投稿ピンメニューに沿って、投稿のためのQRコードを表示できます。
設定→投稿ピンメニューから投稿するピンを選択します。最大4箇所のピンが登録でき、それぞれ個別にピンを削除できます。登録されたピンの項目が有効になります。



■ 投稿ピンメニュー

登録されているピンの項目が有効になっているので、投稿するピンの項目にタッチします。
設定された日時、住所、緯度経度、方位が表示されます。
「このピンを登録投稿」にタッチすると、投稿情報の編集画面に移動します。
「このピンを削除投稿」は、以前取締り機があったが撤去された場合などに使用します。

■ ターゲット種別の選択

投稿するターゲットの種類を選び、項目にタッチします。

オービス	道路脇や道路上にカメラが固定・設置されている自動速度違反取締装置。
Nシステム	道路上に設置されている「自動車ナンバー自動読取装置」を指します。
取締	人が道路脇などに測定装置を設置して行う取締りや、車両に測定装置を積載しての取締り、車両による追走、現場で人による一時停止違反や交差点での信号無視などの取締り。
検問	すべての通行車両を停止させての検問や、特定の車両を停止させる検問など。

■ オービス種別の選択

オービスの種類を選択します。

レーダー	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。本機ではレーダー波を受信すると、「レーダー」と表示されます。
ループコイル	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。
Hシステム	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。レーダー波を発信する四角いアンテナが車線上に設置されています。
LHシステム	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。測定装置付近にパトランプが設置されています。
その他	上記に当てはまらない、またはよく分からない場合

■ 対象方向の選択(複数可)

投稿するターゲットがどの方向に設置されていたかを選択します。

走行車線	自車の進行方向に向かって設置されています。
反対車線	自車の進行方向と反対方向(反対車線)に設置されています。
右方向	自車に対して右方向の道路に設置されています。
左方向	自車に対して左方向の道路に設置されています。

■ 取締種別の選択

取締りの種類を選択します。

速度取締	歩道や道路脇などに測定装置を設置し、走行する車両に向けてレーダー波を発射し速度を測定する取締り。道路脇にパトカーを停車し、測定する場合もあります。
移動オービス	ワンボックス車などの車両に設置された測定装置により写真を撮影する取締り。
追尾	車両により、走行中の自車を追尾しての取締り。
一時停止	一時停止違反の取締り。
交差点	信号無視などの取締り。
その他	上記に当てはまらない場合。

投稿

速度取締、移動オービス手法の選択

- ・レーダー：レーダー波を用いた取締り
- ・ステルス：計測する瞬間だけ電波を発射する取締り
- ・光電管：道路の一定間隔に測定装置を設置し、通過時間により速度を算出する取締り
- ・その他：上記以外の手法による取締り

追尾手法の選択

- ・追尾が行われた手法を「パトカー」「覆面(パトカー)」「白バイ」「その他」から選択します。

■ 直近の実施時期の選択

取締りが行われていた時期を選択します。「現在実施中」「1週間以内」「1ヶ月以内」「3ヶ月以内」「6ヶ月以内」「1年以内」「3年未満」「3年以上前」から選択します。

■ 検問手法の選択

検問の種類を選択します。

シートベルト	シートベルト検問。
飲酒	飲酒運転検問。
携帯	携帯電話検問。
その他	上記以外の検問。

■ 投稿QRコード

QRコードの読み取り以外に、WLAN経由での投稿もできます。
あらかじめ、接続先設定とMy Yupiteru ID、パスワードの設定
が必要です。
WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]を選択するとサー
バーへ接続し、投稿を行い、以下が表示されます。



成功：「投稿完了 投稿ありがとうございました」

My Yupiteruにログインできないとき：「ID又はパスワードが違います」

表示される投稿データのアイコン

警報の種類によって、警報レベルや実写表示(実写はイメージ画像になります)、投稿データ用ジングル警報します。

取締り・検問レベルによって、アイコンの色が決まっています。	表示するアイコンの種類			
	取締り		検問	
	 速度取締り	 交差点	 シートベルト	 その他
	 移動オービス	 追尾	 飲酒	
 レベル1～3 銀色アイコン	 一時停止	 その他	 携帯	

リマインダー

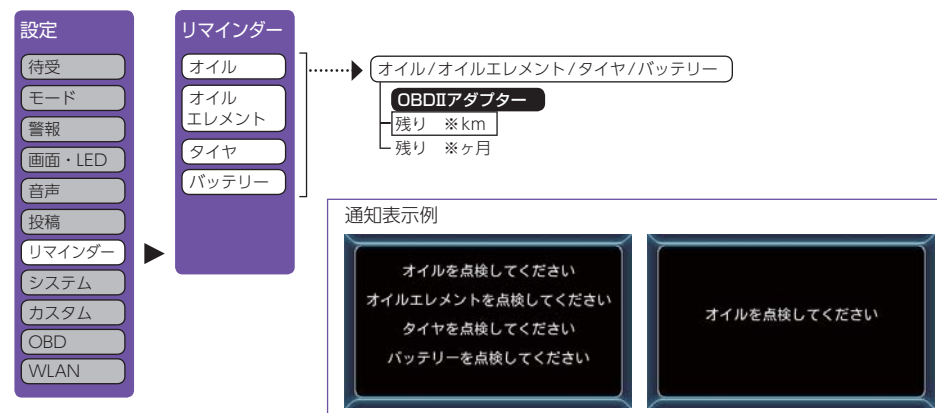
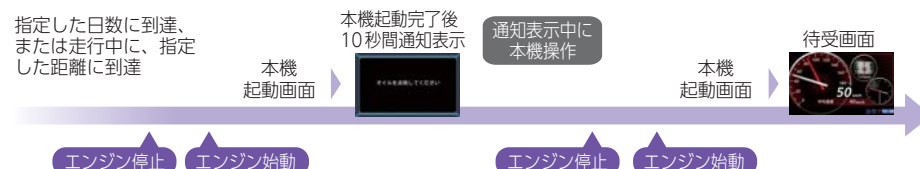
1. [リマインダー]の説明

設定メニューに沿って、リマインダー設定の各種設定変更ができます。各項目について日数で通知をおこないます。OBDIIアダプターで接続すると距離での通知が可能になります。

通知は指定した日数、または距離到達後のエンジン始動時（本機起動後）に約10秒間、最大3回通知されます。通知が表示されている時に操作を行うと通知が消え、次回起動時に通知が表示されなくなります。

※ ハイブリッド車にOBDIIアダプターで接続した場合は、「オイル」「オイルエレメント」の項目は、エンジンが
始動した状態で走行した距離によってリマインダー距離が計算されます。

●通知確認操作…通知表示中に本機の操作をすると、3回通知前でも次回から表示されません。



■ オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー

各項目について、設定した日数による通知が設定できます。OBDIIアダプターで接続すると設定した距離による通知が設定可能になります。「0 ヶ月」に設定するとOFFになります。(OBDIIアダプターで接続した場合は「0 km」「0 ヶ月」でOFFになります。)

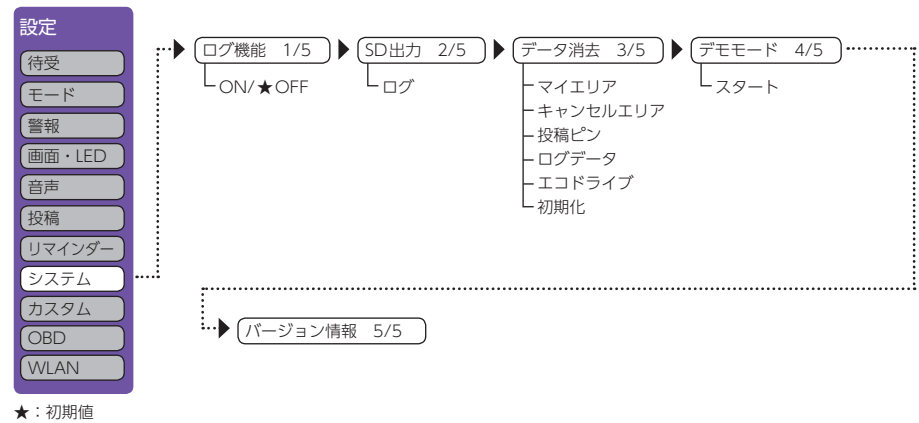
※ 初期値は「OFF」に設定されています。

※ 設定単位は、距離は1,000km単位、日数は1ヶ月単位になります。

※システム設定の「データ消去」→「初期化」を行うと設定した日数、距離もクリアされ、OFFになります。

※ 日数、距離を再設定した場合は、再設定した時点で通知前(通知中)の残り日数、残り距離はリセットされ、再設定後の日数、距離での通知になります。

1. [システム]の説明



■ ログ機能 1/5

「ON」に設定すると、約18時間分の走行データを記録することができます。(P.50)
※ 測位状況および走行の状況により異なります。

■ SD出力 2/5

ログ機能で記録した走行データを付属品(本体に装着済み)のSDカードにコピーします。
※ ログを選択するとコピーを開始します。

■ データ消去 3/5

「マイエリア」「キャンセルエリア(アイキャンセル・マイキャンセルエリア)」「投稿ピン」「ログデータ」「エコドライブ」のデータを消去・クリアすることができます。また、「初期化」すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。
※ 消去したい項目(マイエリア、キャンセルエリア、投稿ピン、ログデータ、エコドライブ)を選び、「はい」を選択するとデータが消去・クリアされます。
※ いったん消去・クリア・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。
※ 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

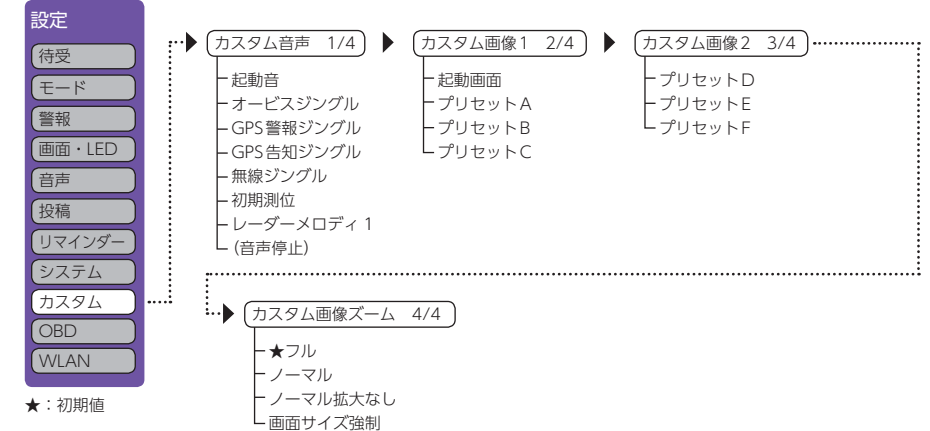
■ デモモード 4/5

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。
※ スタートを選択するとデモモードが始まります。
※ デモモード中に画面タッチするとデモモードは終了します。
※ OBDⅡアダプター(P.14)で接続されていない場合でも、OBDⅡ関連の待受画面が表示されます。

■ バージョン情報 5/5

収録データの「オービスデータ」-「実写データ」-「公開取締情報」公開日-「リアルタイム配信」(投稿により収集された情報)-「地図データ」-「プログラム」(ソフトウェアのバージョン)が表示されます。
※ 公開取締り情報とリアルタイム配信はデータが入っていない場合空白になります。

1. [カスタム]の説明



■ カスタム音声 1/4

本機能は、あらかじめ本体に装着されているSDカード、または別売品の「無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)」の所定のフォルダに、パソコンなどで音楽データを保存しておく必要があります。
起動時や各警報時などに流れる音をお好みの音楽などに変えることができます。再生中に音を停止するときは[音声停止]にタッチします。
※ 再生できないファイルの場合は、ファイルが存在していても通常音になります。その場合は違うファイルでお試しください。
※ 保存するファイルは下記のファイル名、拡張子のルールに従ってください。下記以外のファイル名、拡張子では対応しません。ファイル名、拡張子はすべて半角文字にしてください。全角文字では再生できません。
例(起動音)： 1.mp3(「1」がファイル名、「.mp3」が拡張子になります)

保存ファイル名

- ・起動音：1.mp3(再生時間上限なし)
- ・オービスジングル：2.mp3(再生時間上限15秒)
- ・GPS警報ジングル：3.mp3(再生時間上限15秒)
- ・GPS告知ジングル：4.mp3(再生時間上限15秒)
- ・無線ジングル：5.mp3(再生時間上限15秒)
- ・GPS初期測位：6.mp3(再生時間上限15秒)
- ・レーダーメロディ：7.mp3(再生時間上限なし)

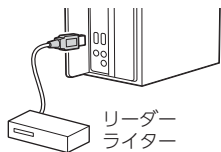
※ ステレオのファイルでもモノラルで再生されます。
※ 起動音で設定した音楽ファイルは、起動時に曲の最後まで再生した後、通常のレーダー探知機の音声が始まります。
※ レーダー受信警報やオービス警報など緊急なものは割り込んで警報します。割り込み警報があった時点で起動音の再生は停止します。

カスタマイズして使う

カスタマイズして使う

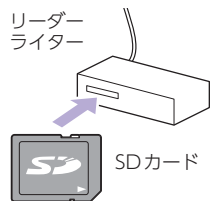
<保存方法>

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する



リーダー
ライター

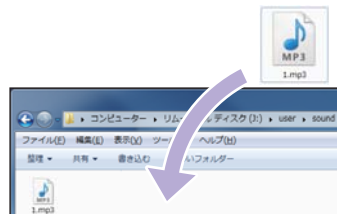
1-2 付属品のSDカードをリーダーライターに接続する



リーダー
ライター

SDカード

1-3 データを入れる



音楽データをSDカードの「user」→「sound」フォルダに入れます。

■ カスタム画像 1 2/4、カスタム画像 2 3/4

「起動画面」「プリセット A～F」の背景画面が選択できます。画像ファイルの保存方法は P.95 「[フォトフレーム]の説明」を参照ください。

SDカードに保存した画像ファイルを削除したり、入れ替えたりした場合は、背景に設定されている画像が変更されることがあります。その場合は、再度画像を選択してください。

「起動画面」には4種類のオープニングムービーが収録されています。

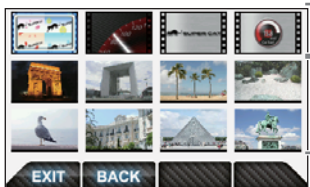
①季節(春夏秋冬で切り替わります)※初期値

②大メーター

③SUPER CATロゴ

④小メーター

※写真をオープニングにすることもできます。



オープニング
ムービー

写真データ

「プリセット A～F」には4種類の背景画像が収録されています。

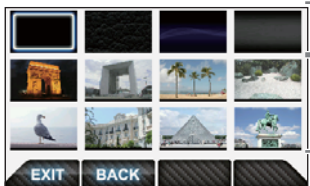
①黒※初期値

②革

③波

④黒木目写真を背景にすることもできます。

※収録されている写真データ以外の写真を設定するには、あらかじめ付属品のSDカードに画像データを保存する必要があります。



背景画像

写真データ

■ カスタム画像ズーム 4/4

「カスタム画像」で背景にする画像を表示する時の表示サイズを選択できます。

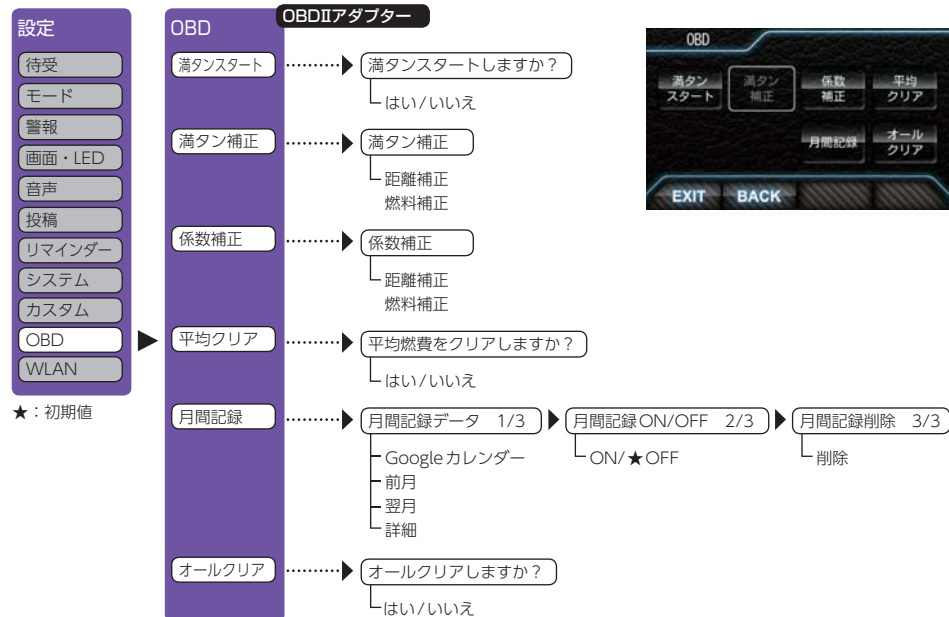
- フル 写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
- ノーマル 写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
- ノーマル拡大なし 写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。
- 画面サイズ強制 写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

OBD

つづく

1. [OBD]の説明

ご購入状態のままでは走行距離/給油量で計算した燃費(実燃費)と本機が表示する燃費に誤差が発生しています。「満タンスタート」「満タン補正」、「係数補正」を行うことで、平均燃費数値の精度を高めることができます。また、「平均クリア」を行うと、画面内の平均燃費の数値をリセットし、「オールクリア」を行うと、本機内のOBDIIアダプターから受け取った車両に関連する数値をリセットします。



★：初期値

■ 満タンスタート (P.119)、満タン補正 (P.120)

実走行による走行距離・給油量により燃費数値の精度を高めます。この手順で取得される補正係数は本機に自動登録されます。一度行えば、給油時に同じ手順を繰り返す必要はありません。

■ 係数補正

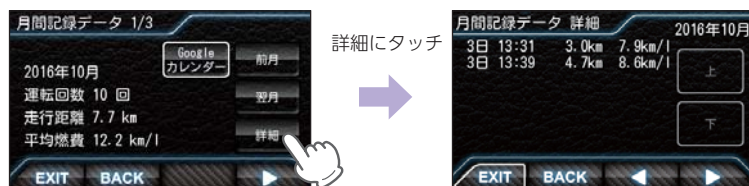
係数補正は、燃費計算を行う上での本機内の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、「オールクリア」をした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができます。また、すでにOBDIIアダプター対応の弊社製品をお使いの場合、違う機種に買い替えた場合など係数補正を行うことにより「満タンスタート・満タン補正」が不要になります。

■ 平均クリア

平均クリアは、画面内の「平均燃費」の項目をリセットすることができます。「満タン補正」の直後に行くと、これまでの平均燃費がクリアされることによって、新たに計算を開始させることができます。(平均クリアを行っても補正係数はクリアされません。)

■ 月間記録データ 1/3

[月間記録]を選択すると、その月の月間記録データが表示されます。手動でGoogleカレンダーに月間記録を登録する場合は、[Googleカレンダー]にタッチしてください。(P.132)
[前月]、[翌月]でデータの表示月を変更することができます。[詳細]を選択すると、月の記録データの詳細が表示されます。ひと月に記録できる件数は、最大2,000件です。



■ 月間記録 ON/OFF 2/3

月間記録のON/OFFが設定できます。



■ 月間記録削除 3/3

記録された月間記録を削除できます。



■ オールクリア

オールクリアは、OBDIIアダプターから受け取った車両に関連する本機内の数値をリセットします。(車両側OBDIIに影響はありません。)

オールクリアを行うと、燃費の補正係数もクリアされるので、「満タンスタート・満タン補正」または「係数補正」を行う必要があります。行わないと正確な燃費が表示されません。そのため、オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。

※ オールクリアを行い、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

2. 満タンスタート

2-1 満タン給油する



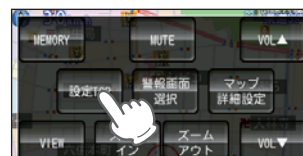
油面の位置を覚えておいてください。

※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

2-2 待受画面にタッチする



2-3 [設定TOP]にタッチする



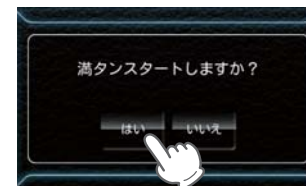
2-4 [OBD]にタッチする



2-5 [満タンスタート]にタッチする



2-6 [はい]にタッチする



2-7 [OK]にタッチする



※ [OK]にタッチしなくても自動で画面が移行されます。

2-8 車両のトリップメーターをリセットし走行する



満タン補正進捗率が100になり「満タン補正」アイコンが点灯するまで走行してください。

※ 「満タン補正」アイコンが点灯したまま長く走れば、それだけ補正制度が向上します。

3. 満タン補正

満タンスタート後に行ってください。

3-1 満タン給油する



前回給油時の油面位置まで給油してください。

3-2 P.119手順「2-2～2-4」を行う

3-3 [満タン補正]にタッチする



3-4 [距離補正]にタッチする



3-5 走行距離を入力し[OK]にタッチする



※ 走行距離はトリップメーターで確認してください。

3-6 [燃料補正]にタッチする



3-7 給油量を入力し[OK]にタッチする



※ 給油量は給油伝票で確認してください。

3-8 [OK]にタッチする

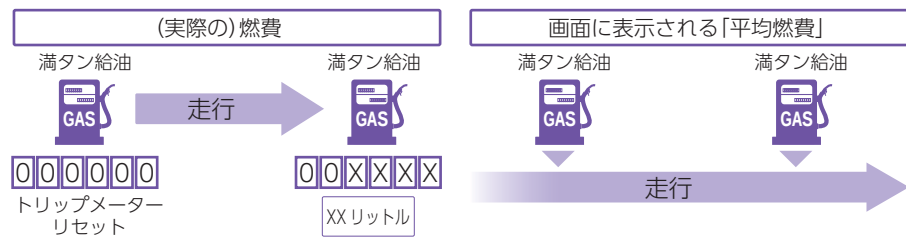


3-9 [EXIT]にタッチする



待受画面に戻ります。

※ 実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するものではありません。



4. 係数補正

※ あらかじめ「満タンスタート・満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限りです。
 ※ 他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

4-1 P.119手順「2-2～2-4」を行う

4-2 [係数補正]にタッチする



4-3 [距離補正]にタッチする



4-4 [距離係数]を入力し、[OK]にタッチする



4-5 [燃料補正]にタッチする



4-6 [燃料係数]を入力し、[OK]にタッチする

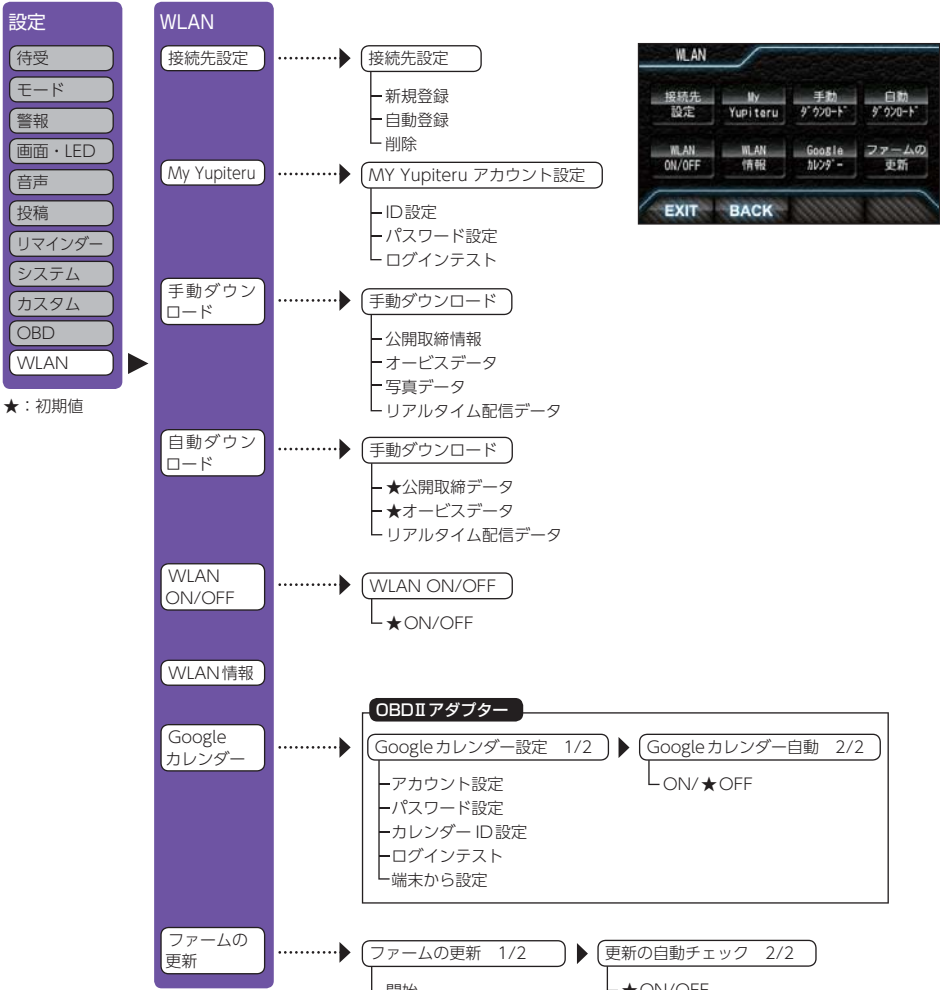


より正確な数値に修正されます。
 ※ 待受画面に戻る場合は、[OK]にタッチ後、[EXIT]にタッチしてください。

1. [WLAN]の説明

本機能は別売品の「無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)」をご購入いただき、本体にあらかじめ装着されている、SDカードと入れ替えてご使用ください。

※ 別売品の「無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)」を装着しないと、[WLAN]は表示されません。



ダウンロード項目	ダウンロード制限	手動	自動
公開取締情報	制限なし	○	○
オービス/コンテンツデータ	My_Yupiteru 有料会員のみ (ご利用機種でのIttyクラブの加入も必要です。)	○	○
写真データ	My_Yupiteru 有料会員のみ (ご利用機種でのIttyクラブの加入も必要です。)	○	—
リアルタイム配信データ	制限なし	○	○
WLAN経由の投稿	My_Yupiteru 会員	○	—

※ WLANで接続している場合、メッセージウィンドウにアイコンが表示されます。



■ 接続先設定

本機にWLAN機器(接続先)を登録するには、「新規登録(パスワード認証) (P.125)」と「自動登録(プッシュ認証) (P.126)」の2種類の方法があります。いずれかの方法で登録してください。接続先は8件まで登録できます。

一度設定しておけば、以降は自動的に接続が行われます。

本機では、ログインが必要な無線LANサービス用のアクセスポイントに接続はできても、無線LANサービスへのログイン画面表示および入力ができないため、通信することはできません。

■ MY Yupiteru (MY Yupiteru アカウント設定)(P.126)

ID、パスワードを入力して、My Yupiteruにログインします。

■ 手動ダウンロード

各項目でダウンロードを行います。

写真データはデータ量が大きいため、ダウンロードに時間が掛かります。写真データのダウンロードは手動ダウンロードのみ可能です。ダウンロード中に電源OFFすることは避けてください。

※ My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、[オービスデータ]と[写真データ]が選択できません。



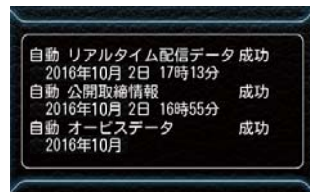
■ 自動ダウンロード

あらかじめ、ダウンロードする項目を設定しておくことで、WLAN接続が確立されていれば、電源ONのたびに、ダウンロードサーバーに最新のデータの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードを行います。WLAN接続が確立されていれば、最初のデータ確認から30分ごとに自動的にダウンロードサーバーに最新データの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードします。自動ダウンロード中は、警報を行いません。

※ My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、[オービスデータ]が選択できません。



- ・自動ダウンロードが終了し、本機にデータが取り込まれるとデータの情報を表示し、自動的に通常の画面に戻ります。



■ WLAN ON/OFF

WLANの機能をOFFにしたいときに使用します。

※ 初期値はONです。

■ WLAN 情報

WLAN情報を表示します。

接続先……………: 現在接続しているアクセスポイント名 (SSID)

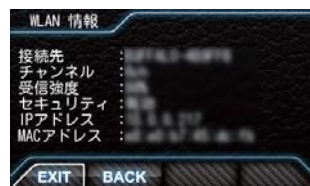
チャンネル……………: 現在接続しているチャンネル

受信強度……………: 現在の受信強度

セキュリティ……………: 現在の接続のセキュリティが有効か無効かを表示

IPアドレス……………: 本機に割り当てられているIPアドレス

MACアドレス ……: 本機無線LANの物理アドレスを表示します。(OP-WLSD16の裏面に「MAC:」の後ろに記載されています。アクセスポイントでMACアドレスによる制限を設定してある場合は、この値をアクセスポイント側で許可してください。



■ Google カレンダー、Google カレンダー設定 1/2(👉 P.128) OBDIIアダプター

Google アカウント、Google パスワード、Google カレンダー ID を入力することで月間記録データをGoogle カレンダーに登録できます。

[端末から設定]にタッチすることでQRコードを表示し、読み込むことでスマートフォンなどでGoogle アカウント、Google パスワード、Google カレンダー ID を設定することもできます。登録される月間記録データは、運転開始日時、運転終了日時、距離、燃費、緯度、経度になります。

■ Google カレンダー自動 2/2 OBDIIアダプター

[ON]に設定すると、月間記録を自動でGoogle カレンダーに登録できます。

※ 月間記録はGoogle アカウント、Google パスワード、Google カレンダー ID が本機に設定されていない場合はGoogle カレンダーに登録できません。

■ ファームの更新 1/2(👉 P.134)

[開始]にタッチすることでダウンロードサーバーに最新のバージョンの有無を確認し、最新のバージョンがある場合は更新や更新内容の確認ができます。

■ 更新の自動チェック 2/2

[ON]に設定すると、WLAN接続が確立されていれば、電源ONのたびにダウンロードサーバーに最新のバージョンの有無を確認し、最新のバージョンがある場合は待受画面のメッセージウィンドウに、「ファームの更新があります」と一定時間表示します。



2. 接続先設定

■ 新規登録の場合(パスワード認証)

2-1 待受画面にタッチする



2-2 [設定TOP]にタッチする



2-3 [WLAN]にタッチする



2-4 [接続先設定]にタッチする



2-5 [新規登録]にタッチする



2-6 アクセスポイントにタッチする



※ アクセスポイントがSSID非公開の場合は[Manual]にタッチし、SSIDを入力してください。

2-7 パスワードを入力し、[接続]にタッチする



2-8 接続結果を確認する



成功した場合



失敗した場合

※ 失敗した場合は再度、手順「2-5」から行ってください。

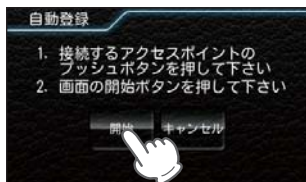
■ 自動登録の場合(プッシュ認証)

2-1 P.125手順「2-1 ～ 2-4」を行う

2-2 [自動登録]にタッチする



2-3 [開始]にタッチする



接続するアクセスポイントのプッシュボタンを押して、[開始]にタッチしてください。

接続したくない接続先がある場合は、手順「2-2」の[削除]で削除してください。本機メニュー[初期化](P.114)では、接続先は削除されません。

2-4 接続結果を確認する



成功した場合



失敗した場合

※ 失敗した場合は再度、手順「2-2」から行ってください。

3. My Yupiteru

機種登録があっても、無料会員の場合は、(機種名)データ更新プラン:無効と表示されます。※ My Yupiteruのアカウント登録は、あらかじめパソコンなどを使用して行っておく必要があります。本機での登録は行えません。

※ [オービスデータ][写真データ]のダウンロードには、「My Yupiteruのアカウント」、ご利用機種での「Ityクラブのプラン加入」が必要です。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

※ 本機を廃棄したり、人に譲ったりする際など、ID・パスワードを削除したい場合は、[BS]で文字を全部消去して[設定]を選択してください。ID・パスワードが残ったままだと、悪用される恐れがあります。

3-1 P.125手順「2-1 ～ 2-3」を行う

3-2 [My Yupiteru]にタッチする



3-3 [ID設定]にタッチする



3-4 My YupiteruのIDを入力し [設定]にタッチする



3-5 [パスワード設定]にタッチする



3-6 My Yupiteruのパスワードを入力し [設定]にタッチする



3-7 [ログインテスト]にタッチする



※ WLAN接続ができていない場合、[ログインテスト]はタッチできません。

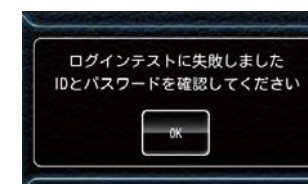
3-8 接続結果を確認する



My Yupiteru有料会員の場合



My Yupiteru有料会員でない場合



失敗した場合

※ 失敗した場合は、My YupiteruのIDとパスワードを確認し、再度ログインテストを行ってください。

4. Google カレンダー設定

パソコンや端末 (スマートフォンなど) を使用して Google カレンダー設定を行ってください。
 「① Google カレンダーを作成する」※1 → P.129 「② Google カレンダーセキュリティを設定する」※1 → P.129 「③ Google カレンダー設定をする」の手順で行ってください。

※1：パソコンや端末 (スマートフォンなど) のブラウザ等で行ってください。

■ ① Google カレンダーを作成する (パソコンで設定する場合)

※ あらかじめお使いの Google カレンダーを使用する場合は新しくカレンダーを作成する必要はありません。
 P.129 「② Google カレンダーセキュリティを設定する (パソコンで設定する場合)」へ進んでください。

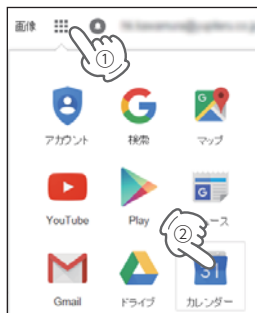
4-1 Google にログインする



パスワードを入力し、Google にログインしてください。

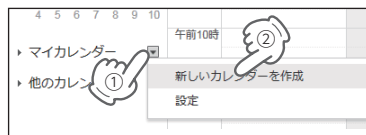
※ Google アカウントの登録を行う場合は、パソコンや端末 (スマートフォンなど) で行ってください。

4-2 カレンダーをクリックする

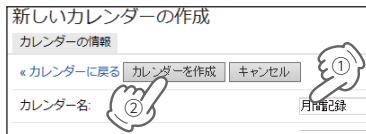


☰をクリックし、カレンダーをクリックします。

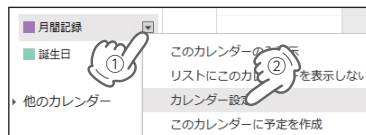
4-3 新しいカレンダーを作成する



マイカレンダーの▼をクリックし、「新しいカレンダーを作成」をクリックします。



カレンダー名に「月間記録」と入力し、「カレンダーを作成」をクリックします。



月間記録の▼をクリックし、「カレンダー設定」をクリックします。

4-4 Google カレンダー ID を確認しメモする



※ 本機の登録で必要になります。必ずメモしてください。

■ ② Google カレンダーセキュリティを設定する (パソコンで設定する場合)

4-1 Google にログインする



パスワードを入力し、Google にログインしてください。

4-2 セキュリティの設定をする



☰をクリックし、アカウントをクリックします。

4-3 「接続済みのアプリとサイト」をクリックする

■ ③ Google カレンダー設定をする

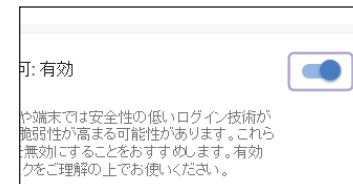
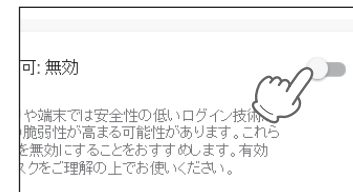
※ 端末 (スマートフォンなど) から設定を行うこともできます。(P.133)

4-1 P.125 手順「2-1 ~ 2-3」を行う

4-2 「Google カレンダー」にタッチする



4-4 「安全性の低いアプリの許可」のスイッチをクリックし有効にする



※ 「無効」ではログインテストが成功しません。



4-3 [アカウント設定]にタッチする



4-4 Googleアカウントを入力し[設定]にタッチする



※ 入力したGoogleアカウントはカレンダーID設定に反映されます。

4-5 [パスワード設定]にタッチする



4-6 Googleパスワードを入力し[設定]にタッチする

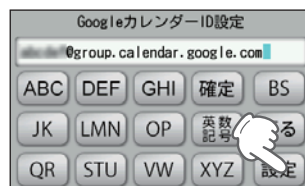


4-7 [カレンダーID設定]にタッチする



※ 初めからあるGoogleカレンダーを使用する場合は、手順[4-9]へ進んでください。

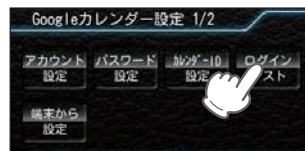
4-8 GoogleカレンダーIDを入力し[設定]にタッチする



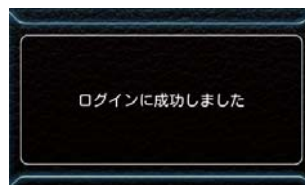
☞ P.128手順[4-4]でメモしたGoogleカレンダーIDを入力してください。

※ 初めからあるGoogleカレンダーを使用する場合は、GoogleアカウントがGoogleカレンダーIDになります。

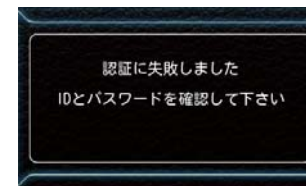
4-9 [ログインテスト]にタッチする



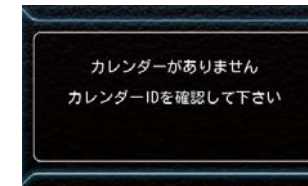
4-10 接続結果を確認する



ログイン成功の場合



ログイン失敗の場合



ログイン失敗の場合

※ ログインに失敗した場合は、画面表示を確認し、再度ログインテストを行ってください。

5. 月間記録をGoogleカレンダーに登録する

※ 月間記録はGoogleアカウント、Googleパスワード、GoogleカレンダーIDが本機に設定されていない場合はGoogleカレンダーに登録できません。

■ 自動で行う場合

5-1 ☞ P.125手順[2-1 ~ 2-3]を行う

5-2 [Googleカレンダー]にタッチする



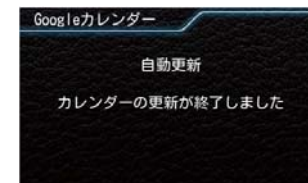
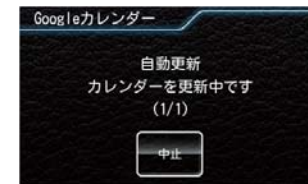
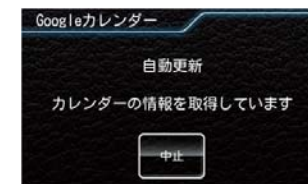
5-3 [▶]にタッチする



5-4 [ON]にタッチする



※ ネットワークに接続すると、画面が自動で切り替わり更新開始します。



更新終了後、元の画面に戻ります。
※ 更新途中で中止する場合は、[中止]にタッチしてください。

■ 手動で行う場合

5-1 P.125手順「2-1 ～ 2-2」を行う

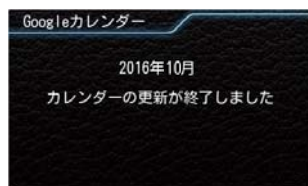
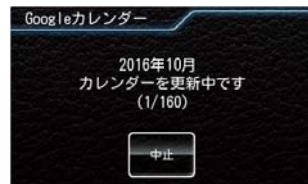
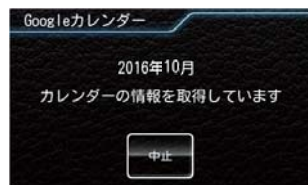
5-2 [OBD]にタッチする



5-3 [月間記録]にタッチする



5-4 [Googleカレンダー]にタッチする



更新終了後、元の画面に戻ります。
 ※ 更新途中で中止する場合は、[中止]にタッチしてください。
 ※ 登録済みの場合は、「すでに登録済みです」と表示されます。

6. 端末からGoogleカレンダー設定をする

本機と端末(スマートフォンなど)がテザリングで接続されている、または同じ無線LAN親機でネットワークに接続されている場合に端末からGoogleカレンダー設定を行うことができます。

※ 設定できる項目は、[アカウント設定][パスワード設定][カレンダー ID 設定]です。

6-1 P.125手順「2-1 ～ 2-3」を行う

6-2 [Googleカレンダー]にタッチする



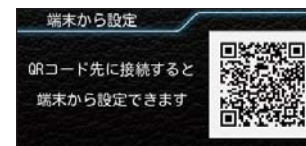
6-3 [端末から設定]にタッチする



QRコードを表示します。

※ 接続に失敗した場合は、「ネットワークに接続していません」と表示されます。接続を確認し、[BACK]にタッチし再度、[設定QRコード]にタッチしてください。

6-4 QRコードを読み込む



端末(スマートフォンなど)で表示されたQRコードを読み込むとブラウザが開きます。

※ 本機の設定は読み込まれません。

6-5 設定する



アカウント、パスワード、カレンダーIDを入力してください。

6-6 本機に設定を反映する



設定終了後、[送信]にタッチしてください。



「転送に成功しました」と表示され、設定が本機に反映されます。[閉じる]にタッチして終了してください。

※ 接続に失敗した場合は、「失敗しました」と表示されます。接続を確認し、[閉じる]にタッチし再度、[送信]にタッチしてください。

7. ファームを更新する

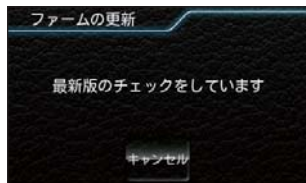
※ ファームの更新中は電源OFFしないでください。

7-1 P.125手順「2-1 ～ 2-3」を行う

7-2 [ファームの更新]にタッチする

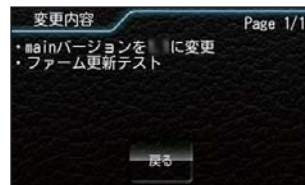
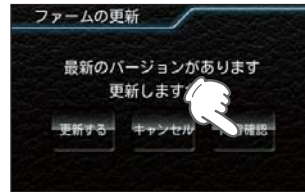


7-3 [開始]にタッチする



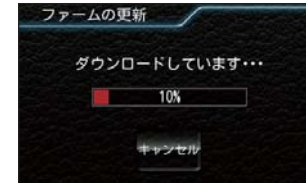
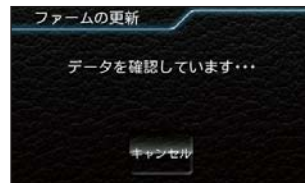
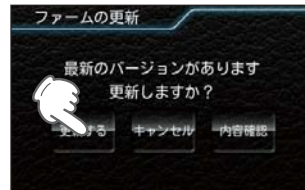
最新バージョンの有無を確認します。
※ 接続に失敗した場合は、「ネットワークに接続していません」と表示されます。接続を確認し再度、[開始]にタッチしてください。
※ 本機のバージョンが最新の場合は、「すでに最新です」と表示されます。

7-4 [内容確認]にタッチする

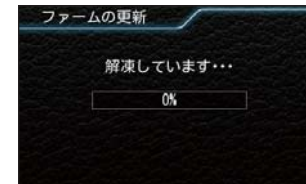


ファームの更新内容を確認して[戻る]にタッチしてください。

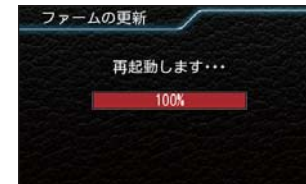
7-5 [更新する]にタッチする



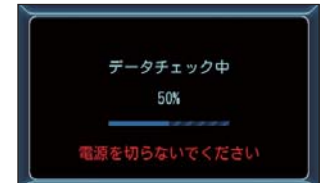
ファームのダウンロードが始まります。



ファームの解凍が始まります。



ファームの解凍が終了すると自動で再起動します。



ファームの書き込みが始まります。



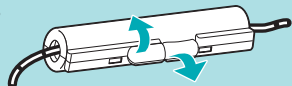
7-6 バージョンを確認する

☛ P.114「バージョン情報 5/5」でプログラム(ソフトウェアのバージョン)を確認してください。
※ ファームの更新に失敗した場合は再度、☛ P.134手順「7-5」から行ってください。

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

- ☐ 電源スイッチが ON になっていますか。(P.41)
- ☐ 電源直結コードが外れていませんか。
- ☐ 電源直結コードのヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出します。



- ☐ 付属品の SD カードアダプター (microSD カード) を装着していますか、または抜けかけていませんか。
本機は付属品の SD カードアダプター (microSD カード) を装着していないと起動しません。
- ☐ 初めて OBDIIアダプターを車両に取り付けていませんか。
初めて起動する場合、起動に数分かかることがあります。

電源がOFFにならない

- ☐ OBDIIアダプターを車両に取り付けていませんか。
エンジンをOFFしてから本体が電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。OBDIIアダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源OFFしないでください。

OBDIIアダプターを接続中に突然電源 OFF になった

- ☐ OBDIIアダプターのコネクターが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクターが緩むことがあります。

何も表示しない

- ☐ マナーモードになっていませんか。
待受画面にタッチして解除してください。
- ☐ 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。
待受画面にタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VIEW]にタッチし待受画面を変更してください。

画面が常に暗い

- ☐ フレックスディマーの設定で「照度センサ+衛星情報」に設定すると、設定場所によっては常にフレックスディマーが動作する場合があります。その場合は、取付場所を変更するか設定を「衛星情報」にしてご使用ください。

音が出ない

- ☐ 音量「0」になっていませんか。
待受画面にタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VOL▲]にタッチして音量を調整してください。

GPS 警報しない

- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

速度表示が車両の速度計と異なる

- ☐ 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※ 補正機能はありません。

レーダー警報しない

- ☐ 電源 ON になっていますか。
- ☐ 取締りレーダー波が発射されていましたか。
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。
- ☐ マイキャンセル登録したエリアではありませんか。
- ☐ アイキャンセルしていませんか。
- ☐ 受信感度モードが「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速 30km 未満のときは警報しません。
- ☐ マナーモードになっていませんか。
待受画面にタッチして解除してください。

取締りもしていないのに警報機能がはたらく

- ☐ 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器

電波式の自動ドア、防犯センサー/電波式のセンサーを搭載した自動販売機/信号機の近くに設置されている車両通過計測器/NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部/気象用レーダー、航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取付け位置を変えてみてください。

故障かな？と思ったら

地図がズレる

- ☐ GPS 測位していましたか。障害物や遮蔽物の無い、視界の良い場所へ移動してみてください。
- ☐ マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

一般道を走行中に高速道路のターゲットをGPS 警報する

- ☐ 「道路選択」の設定を「オール」でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(● P.104)
- ☐ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ☐ ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。

ひんぱんに無線警報する

- ☐ 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

取締り現場なのに350.1MHzを受信しない

- ☐ 「取締無線」を「ON」に設定していませんか。
- ☐ 取締り現場での連絡が無線方式で行われていませんか。
連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

警報の途中で警報音が小さくなる

- ☐ レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
● P.77「オートクワイアット」

誤警報がキャンセルされない

- ☐ 「アイキャンセル」の設定は「ON」になっていませんか。
- ☐ スペシャルモードになっていませんか。スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にすることができません。
- ☐ GPS 測位していませんか。
- ☐ 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- ☐ 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

OBDIIアダプター接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

- ☐ 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

OBDIIアダプター接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない

- ☐ 車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。

OBDIIアダプター接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

- ☐ 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

Google カレンダー設定ができない

- ☐ 別売品のOBD II アダプターを接続していますか。
Googleカレンダー設定をする場合、別売品のOBDIIアダプター(● P.14)が必要になります。

Google カレンダー設定のログインテストに失敗する

- ☐ Google のセキュリティの「安全性の低いアプリの許可」の設定が「無効」になっていませんか。(● P.129)

衝突警報システム、わき見・居眠り運転警報器の警告しない

- ☐ 衝突警報システムの設定または、わき見・居眠り運転警報器の顔検出はしていませんか。それぞれの取扱説明書をご確認ください。
- ☐ 衝突警報システムまたは、わき見・居眠り運転警報器のケーブルが外れていませんか。
- ☐ 時速30km/h未満では、わき見警告はしません。(● P.38)

背景地図(Top,Middle,Base)

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
(c)2009-2015 一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (測量法第44条に基づく成果使用承認) [2016年3月発行データ使用]
- ©2016 INCREMENT P CORPORATION

詳細背景地図(City)

- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号) 小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。(平成12年 養建第1902号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平10. 近公. 第34号
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16堀第5417号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用し調製したものです。(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号)指令宇都第13号 平成18年5月15日承認
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号)指令宇都第14号 平成18年5月31日承認
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号)周防建設第56号 平成18年5月12日承認
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。 承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。 承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用し調製したものである。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。 使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。 承認番号 18林第492号(平成18年10月6日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-1 平成18年12月5日)

- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-2 平成19年3月7日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第360号)
- この地図は、高知町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。(承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947)
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平21樽港第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号)H22 幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第246号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23田街第55号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。(承認番号 平26情使、第74号-55号)
- このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成26年12月10日撮影)」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平27情使、第199号-55号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平27情使、第308号-55号)
- ©2016 INCREMENT P CORPORATION

道路ネットワーク

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
(c)2009-2015 一般財団法人日本デジタル道路地図協会 (測量法第44条に基づく成果使用承認) [2016年3月発行データ使用]
- ©2016 INCREMENT P CORPORATION

仕 様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)	
消費電流	本機	待機時：230mA以下 最大：350mA以下
	FCW-L1(別売品)併用時	最大：450mA以下
	EWS-CM1(別売品)併用時	最大：650mA以下
受信方式	GPS部：32チャンネル/パラレル受信方式	
	レーダー部：スweepオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	
測位更新時間	最短0.2秒	
表示部	液晶ディスプレイワイド3.6インチ	
受信周波数	GPS部：1.6GHz 帯	
	レーダー部：Xバンド/Kバンド	
	UHF部：336～470MHz 帯	
	VHF部：154～163MHz 帯	
動作温度範囲	-20℃～+85℃(UHF/VHF部：-10℃～+60℃)	
外形寸法	本機：106(W)×60(H)×12(D) mm(突起部除く)	
	アンテナ部：61(W)×21(H)×49(D) mm(突起部除く)	
	OP-ADP20(別売品)：70(W)×40(H)×16(D) mm(突起部除く)	
	FCW-L1(別売品)：74(W)×45(H)×35(D) mm(突起部除く) ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時 77(H) mm(窓ガラス25°想定の場合)	
	EWS-CM1(別売品)：60(W)×31(H)×39(D) (突起部除く)	
重量	本機：約98g(接続ケーブル、SDカード含む)	
	アンテナ部：約107g(接続ケーブル含む)	
	OP-ADP20(別売品)：約35g	
	FCW-L1(別売品)：約47g	
	EWS-CM1(別売品)：約140g(ケーブル含む)	

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

・オープンソースソフトウェア

zlib

本製品はZIPファイルのデコードに「zlib」を使用しています。

・ゾーン30のデータについて

本機で使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を使用しています。

本機で使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC) の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。